2016.06

電キャビ

(2017)
トレーニングマニュアル
(入門編)
(AutoCAD/BricsCAD共通)

Alfatech

ご注意
本マニュアルの内容を全部または一部を無断で記載することは禁止されています。
本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
運用した結果についての影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

製品名は各社の商標です。

電キャビトレーニングマニュアル(入門編)目次

1 章. はじめに 1

1-1. 本マニュアルについて 2

1-1-1. 本マニュアルの内容 2

1-1-2. 本マニュアルの流れ 3

1-2. 電キャビとは 4

1-2-1. 電キャビについて 4

1-2-2. 電キャビの起動方法 4

1-2-3. 電キャビ初期画面 5

1-2-4. 電キャビの設定(階層設定) 5

1-2-5. 電キャビの画面設定例 7

1-2-6. 電キャビ画面と設定の関係について 8

1-2-7. まとめと注意点 9

2 章. 階層設定 11

2-1. 階層設定の表示と説明 12

2-1-1. 階層設定のボタン 12

2-2. 表示名 13

2-2-1. 表示名とは 13

2-2-2. 表示名の新規作成 13

2-2-3. 起動する製品環境の変更 15

2-2-4. 表示名の削除 16

2-3. [設定の編集]の内容 17

2-3-1. [フォルダ・ファイル]タブ 17

2-3-2. [図種・用紙]タブ 18

2-3-3. [スケール]タブ 18

2-3-4. [図枠転記]タブ 19

2-3-5. [選択リスト]タブ 19

2-3-6. [アプリケーション]タブ 20

2-3-7. 図枠に関連する設定 20

2-4. 起動製品(ACAD-DENKI)環境 21

2-4-1. 環境を選択して起動 21

2-4-2. 図枠登録 22
2-5. 設定の編集の変更 24
2-5-1. 階層・プロパティ項目の設定 24
2-5-2. 図種・用紙/スケールの設定 27
2-5-3. 図枠転記設定について 32
2-5-4. 表示名のコピー流用 35
2-6. 起動設定について 36
2-6-1. スクリプトについて 36
2-6-2. 起動設定の変更方法 36
2-7. データベース接続設定 38
2-7-1. データベースとは 38
2-7-2. マイデータベース設定 38
2-7-3. 共有データベースの設定 39
3 章. 管理図面庫の作成 43
3-1. 図面庫の作成 44
3-1-1. 図面庫フォルダの作成 44
3-1-2. ボリュームの作成 44
3-1-3. フォルダの新規作成 46
3-1-4. ファイルの新規作成 50
4 章. フォルダ・ファイル編集 53
4-1. ボリューム 54
4-1-1. ボリュームの追加 54
4-1-2. ボリュームのプロパティ 55
4-1-3. ボリュームの削除(階層設定の変更) 55
4-2. フォルダ 58
4-2-1. フォルダのコピー・貼り付け 58
4-2-2. フォルダのプロパティ 59
4-2-3. フォルダの新規作成 60
4-2-4. フォルダの削除 61
4-2-5. ごみ箱から元に戻す 61
4-3. ファイル 63
4-3-1. ファイルの新規作成 63

4-3-2. ファイルのコピー・貼り付け....65
4-3-3. ファイルのソート....66
4-3-4. プロパティ変更と図枠転記....67
4-3-5. ファイルを開く....68
4-3-6. 名前の一括変更....69
4-4. 検索....72
4-4-1. フォルダの検索....72
4-4-2. ファイルの検索....73
4-4-3. プロパティ情報の出力....75
5 章. インポート・連続印刷....77
5-1. インポート....78
5-1-1. フォルダのインポート....78
5-1-2. ファイルのインポート....79
5-1-3. プロパティ一括編集....81
5-2. 連続印刷....83
5-2-1. 印刷前のご注意....83
5-2-2. ファイルを選択して印刷....83
5-2-3. フォルダを選択して印刷....84
6 章. 補足....87
6-1. サンプル環境....88
6-1-1. サンプル環境について....88
6-1-2. 環境の更新インポート....88
6-1-3. インポートされた環境の確認....89

<<このページは白紙です。>>

1 章. はじめに

本マニュアルの内容と電キャビについて説明します。

1-1. 本マニュアルについて

本マニュアルの内容と流れについて説明します。

本マニュアルでは、電キャビ使用CADをACAD-DENKIと表現しております。他の製品(ACAD-DENKI以外)をご使用の場合、ご使用の製品名に置き換えてご参照ください。

製品の環境名称・環境の数についても一例です。ご使用の製品の環境に置き換えてご参照ください。
ご使用の製品と、本マニュアルのメニュー、設定内容が一致しない場合、弊社HPより該当製品の修正差分パッチをインストールしてください。

また、本マニュアルの画面ダンプはあくまでも一例です。実際の画面とは異なる場合があります。
本マニュアルのCAD部分の説明はBricsCADを使用しています。AutoCADをご使用の場合は、AutoCADと置き換えてご参照ください。

1-1-1. **本マニュアルの内容**

下記の項目の確認方法について説明します。

・電キャビについて確認します。
・電キャビの設定について確認します。
・電キャビの操作方法について確認します。
・電キャビとACAD-DENKIとの連動について確認します。

1-1-2. 本マニュアルの流れ

本マニュアルの流れをフローチャートでご紹介します。

1 章.はじめに

本マニュアルの内容と電キャビについて説明します。

↓

2 章.階層設定

電キャビを運用する前に必要な設定について説明します。

電キャビでは、ボリューム(基点フォルダ)ごとに[階層設定]を指定します。

↓

3 章.管理図面庫の作成

電キャビを運用するために必要な管理図面庫の構成を決め、フォルダの作成と設定を行います。

↓

4 章.フォルダ・ファイル編集

電キャビの画面上でボリューム・フォルダ・ファイルの編集作業を行います。

↓

5 章.インポート・連続印刷

外部ファイルを電キャビへインポートする方法と連続印刷について説明します。

1-2. 電キャビとは

電キャビについて説明します。

1-2-1. 電キャビについて

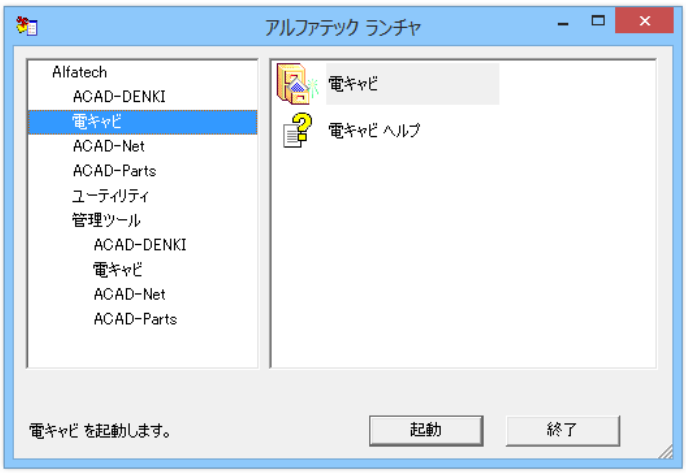
電キャビとは、DWG図面を管理するためのアプリケーションです。
ACAD-DENKI等と併用していただくと図面の図題情報を自動転記するなど、より便利な機能を使用していただくことができます。
ACAD-DENKI、その他の弊社商品の使用方法につきましては、各マニュアル、オンラインヘルプ、弊社HP(http://www.alfatech.jp)をご参照ください。

1-2-2. 電キャビの起動方法

・デスクトップの電キャビのアイコンから起動
デスクトップの電キャビアイコンをダブルクリックします。

大アイコン(中アイコン)表示　　小アイコン表示

・スタートから起動
Windows10、8.1、8 はアルファテックランチャーから起動します。
アルファテックランチャーの左ペインの[Alfatech]-[電キャビ]を選択します。



右ペインに実行プログラムが表示されます。「電キャビ」を選択し[起動]ボタンをクリックします。

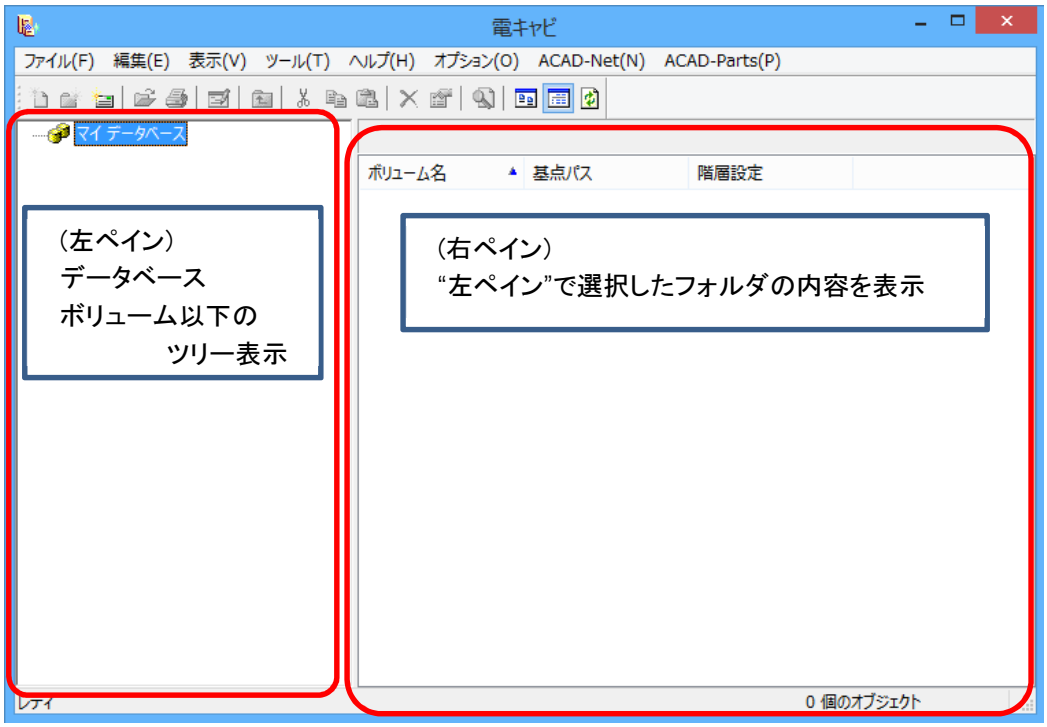
アルファテックランチャーの起動 Windows 10
[スタート]-[すべてのアプリ]-[A]-[Alfatech][アルファテック ランチャー]を選択します。
アルファテックランチャーの起動 Windows8/8.1
[スタート]-[アプリ]を表示します。Alfatech欄から[アルファテック ランチャー]を選択します。

Windows7はスタートメニューから起動します。
[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[電キャビ]-[電キャビ]を選択します。

※以降の本書のご説明はWindows8.1での説明となります。その他のOSをご使用の場合は、スタートメニューからの実行は上記説明を元にメニューを置き換えてご参照ください。

1-2-3. 電キャビ初期画面

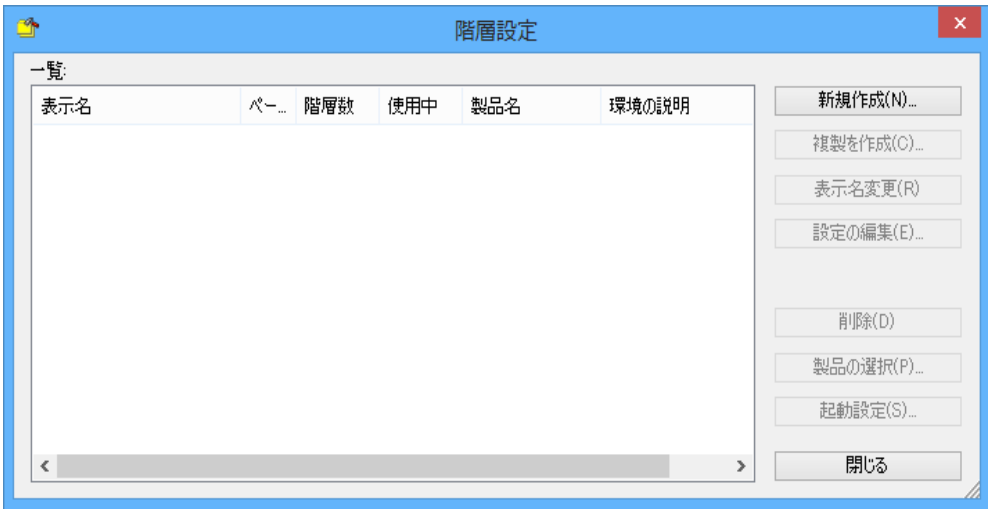
電キャビの初期画面です。管理をするフォルダ、図面の設定が行われていない状態です。



電キャビでは、”左ペイン”に図面・その他のファイルを管理するフォルダ階層を構成します。
そのために、どのようなフォルダ構成にするのかを電キャビの設定で登録します。
※ACAD-PartsはACAD-DENKIシリーズのオプション製品です。
オプション製品がインストールされていない場合、メニューは表示されません。

1-2-4. 電キャビの設定(階層設定)

電キャビの設定は、「階層設定」で行います。階層設定を起動します。
アルファテック ランチャーで[管理ツール]-[電キャビ]から[階層設定]を選択します。
階層設定ダイアログが表示されます。
電キャビ起動中は、階層設定を起動することはできません。電キャビを終了してから階層設定を選択してください。
（例：階層設定初期画面）

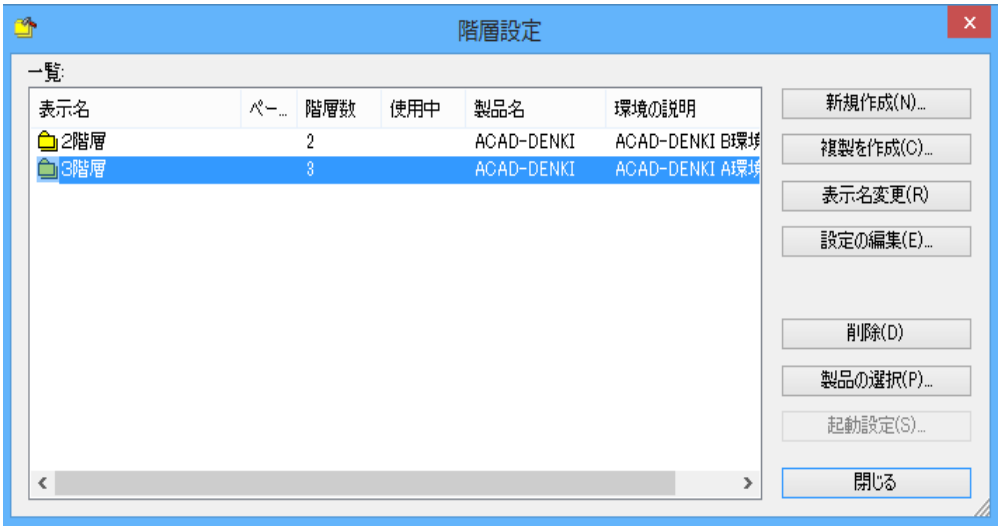


階層設定では、電キャビで管理する図面を、どのようなフォルダ構成で管理し、フォルダ・図面のプロパティにどのような情報を持たせるのかを設定します。

・”一覧: ”に表示するフォルダ階層の設定を作成します。

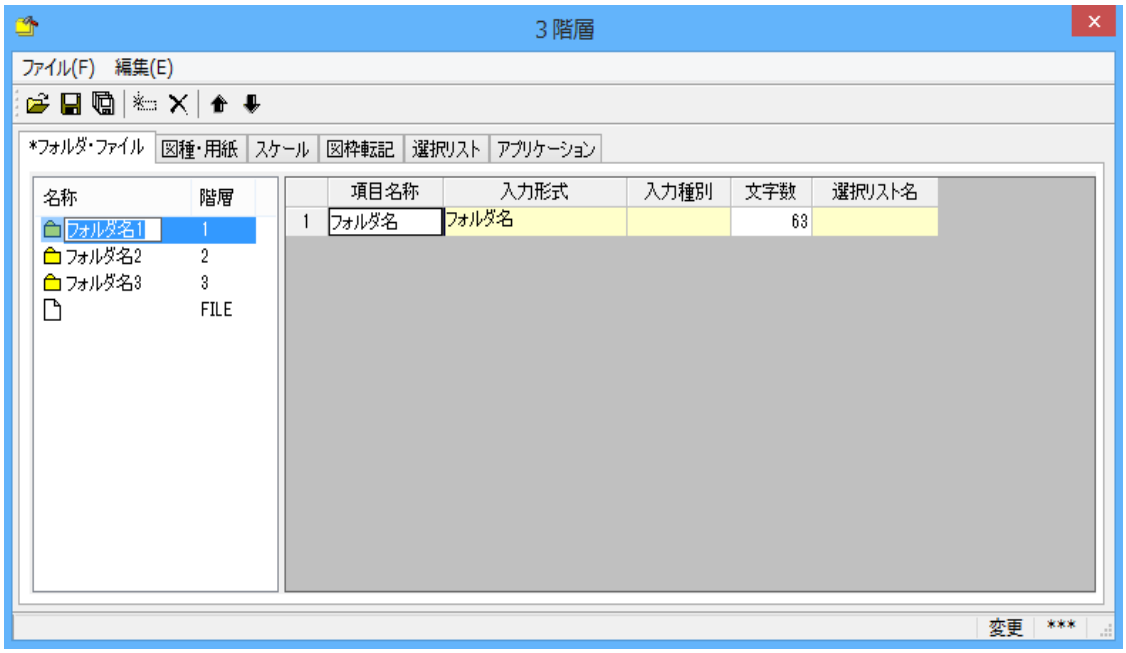
新規作成(N)... ボタンをクリックしてで表示名(フォルダ階層)を作成します。電キャビの設定は、この表示ごとに行います。

(例：3階層/2階層の種類の表示名を作成した例)



表示名を選択し、設定の編集(E)... ボタンをクリックすると選択表示名の設定ダイアログが表示されます。

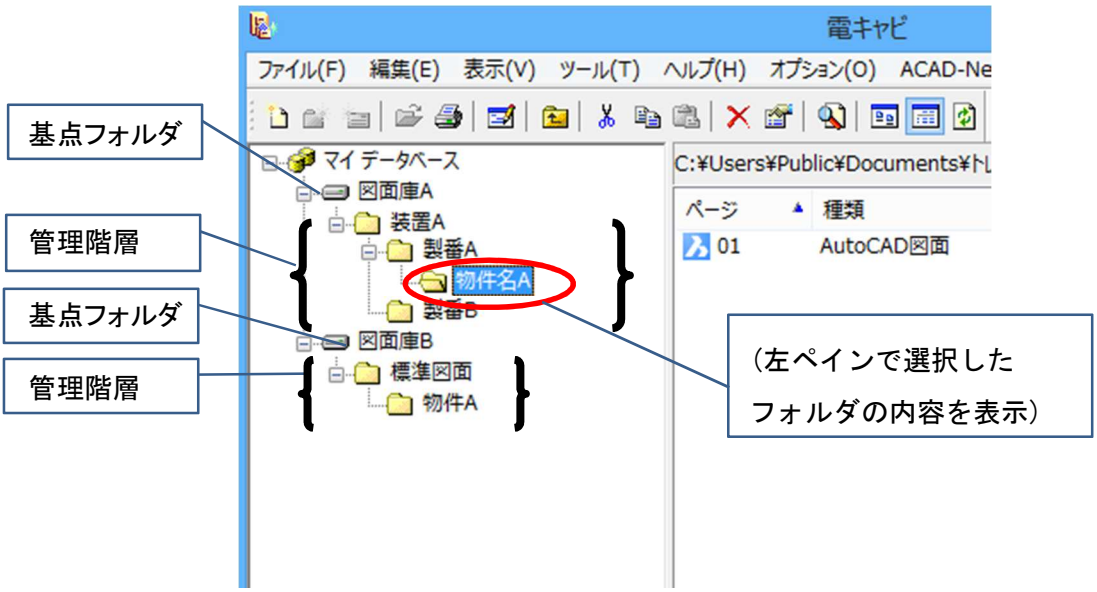
(例：表示名「3階層」を選択して、設定内容画面を表示した例)



・各階層フォルダのプロパティ項目を設定します。
・ファイルのプロパティ項目を設定します。
・その他の項目について設定します。

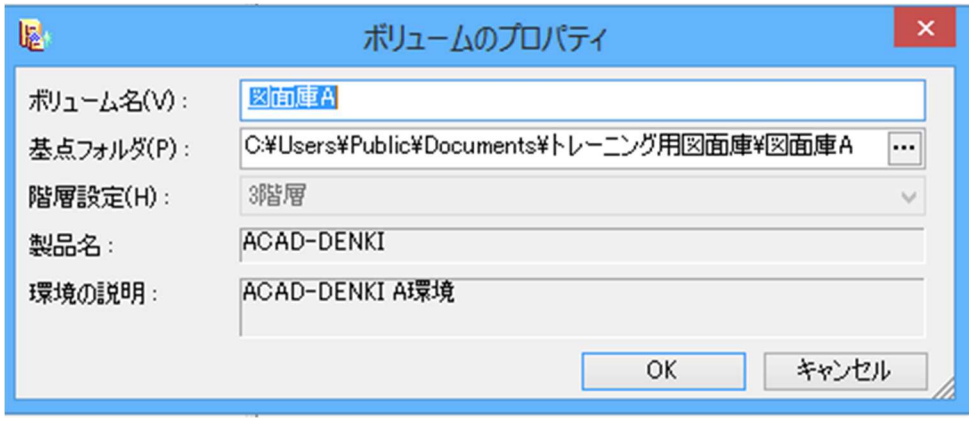
1-2-5. 電キャビの画面設定例

電キャビの基点フォルダ・管理階層・ファイルなど登録した場合の一例です。



表示画面の"左ペイン"に図面・その他のファイルを管理するフォルダ階層を構成します。

電キャビから図面を開くと、使用している階層設定のCAD環境を起動します。
（例：図面庫Aのプロパティ）
下図の場合は、図面庫A以下にある図面を開くと、環境「ACAD-DENKI A環境」のACAD-DENKIが起動し、図面の編集作業を行う流れになります。



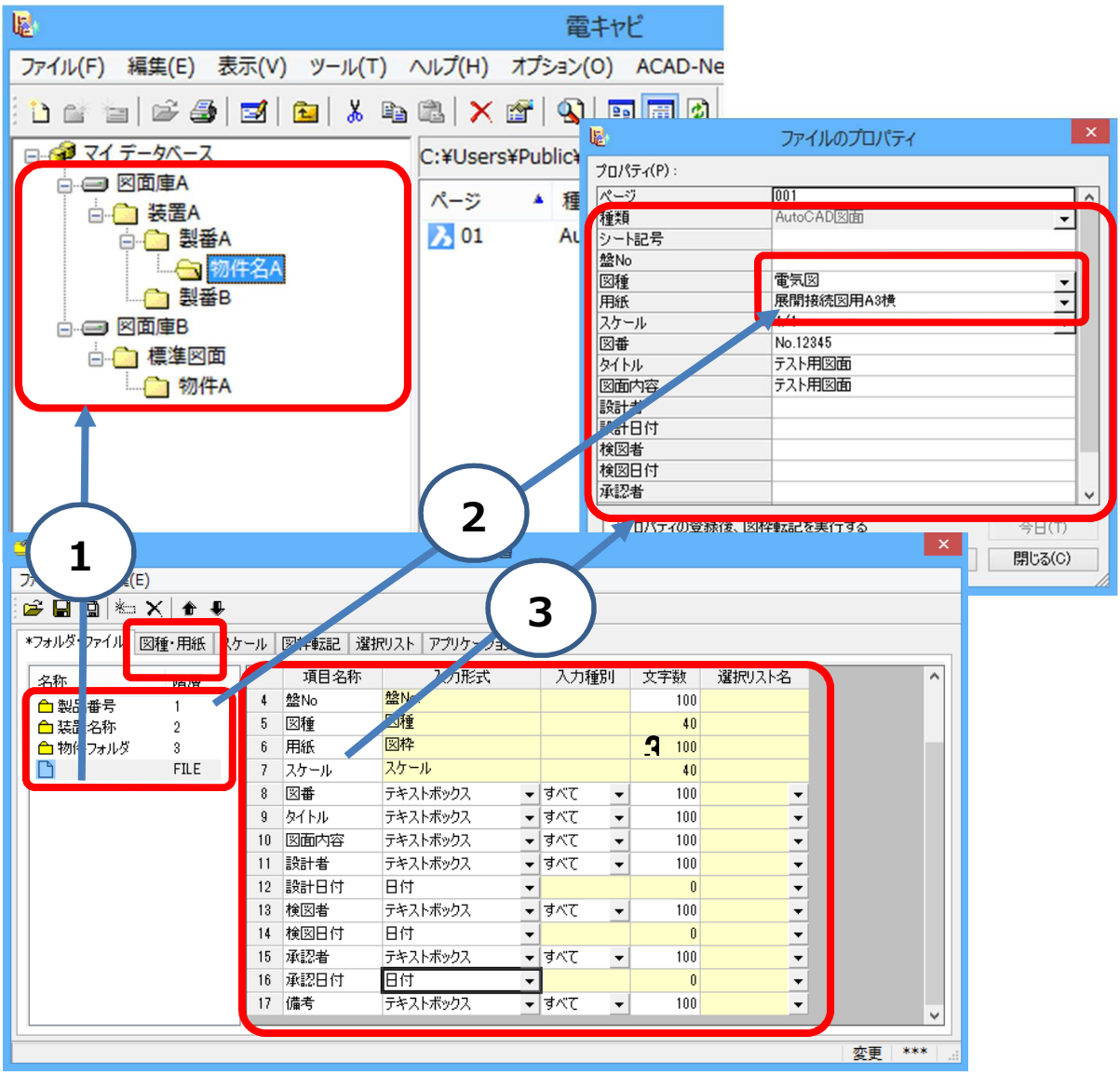
図面庫の作成方法については後章の「3-1.図面庫の作成」に説明しています。

※ご注意※
上記のダイアログは、ボリューム名・基点フォルダの変更権限があるユーザで表示した例です。
ボリューム名・基点フォルダの変更権限がない場合、項目はグレーアウト表示されます。

図面を開いた後に一旦電キャビを終了した場合、再度起動した電キャビから図面を開くと、新たにACAD-DENKIが起動して図面を開きます。
電キャビを起動する前のCAD上には図面が開かれませんのでご注意ください。

1-2-6. 電キャビ画面と設定の関係について

下図は電キャビのフォルダ構成例と設定画面の関係を図で表しています。
電キャビ本体画面



階層設定"3階層"ダイアログ

①電キャビ画面上のフォルダ階層の数と項目名称を管理します。
上図例の場合、基点フォルダ以下"3階層"のフォルダを管理し、最下位層に図面ファイルを管理するような設定になっています。
② 図種・用紙・スケールの選択肢を設定しています。
③ プロパティ項目の設定です。
上図の例では、ファイルのプロパティ項目の設定例です。

階層設定の設定方法については後章の「2章.階層設定」に説明しています。
※本章は説明のための画面ダンプです。
電キャビ本体と階層設定(上記"3階層")の同時起動はできません。

1-2-7. まとめと注意点

■電キャビを使用するための準備
・起動するCAD製品の環境
・管理ボリューム数の決定

■図面の管理運用をする為の必要考案内容
・管理フォルダ階層数
・プロパティ項目（図枠転記項目）

上記項目を準備・考案した上で、実際に電キャビ上に管理フォルダ（基点フォルダ以下の構成）を割り当ててください。

■印刷について
電キャビでは、図面プロパティ(情報)の管理・変更、図面のフォルダ・ファイル単位で連続印刷を行うことが出来ます。

■図面を開くときの注意点
電キャビの基点ボリュームに設定した製品名のCADで図面が開きます。
電キャビを起動して図面を開いた後に、電キャビだけを終了します。再度電キャビを起動して図面を開くと、ACAD-DENKIの多重起動になります。ご注意ください。

<<このページは白紙です。>>

2 章. 階層設定

電キャビを運用する前に必要な設定について説明します。

電キャビでは、ボリューム(基点フォルダ) ごとに[階層設定]を指定します。

この[階層設定]は大変重要です。階層設定の各設定が持つ情報の意味を確認し、理解しましょう。

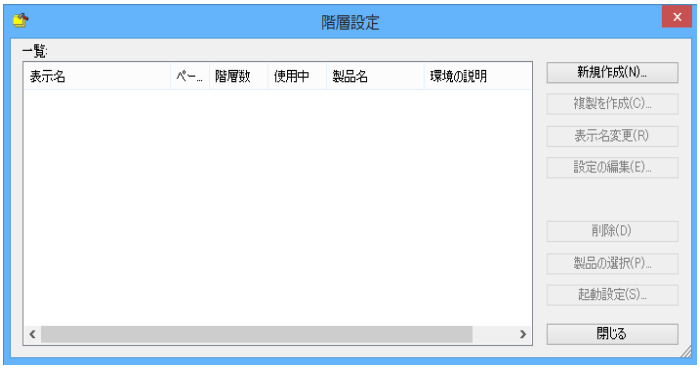
本章で説明に用いているACAD-DENKIの環境・名称は一例です。

2-1. 階層設定の表示と説明

ボリューム(基点フォルダ)ごとに階層構造を指定します。階層設定では、階層構造やフォルダ情報が異なるものをどのように管理するのかなどの管理体系(図面の管理方法)を決めて必要な階層を追加します。

2-1-1. 階層設定のボタン

1. アルファテック ランチャーで、[管理ツール]-[電キャビ]を表示し[階層設定]を選択します。
   階層設定ダイアログが表示されます。



[ボタンの説明]

新規作成(N)...

電キャビで使用する階層構造を設定します。
・表示名と階層数を設定します。
・図面をどのようなフォルダ構造で管理するのかを設定します。
※図面を管理するフォルダの設定です。設定前に管理体系(図面の管理方法)を決めてください。

複製を作成(C)...

既存の表示名をコピーして、新たな表示名を作成します。

表示名変更(R)

階層の表示名を変更することができます。

設定の編集(E)...

選択した表示名に対しての各設定(2-3.[設定の編集]の内容)を行います。
表示される設定(タブ)の内容は関連付けた製品の内容によって異なります。

削除(D)

一覧に表示されている"表示名"を削除します。電キャビで使用中の"表示名"は削除できません。
1度削除された"表示名"を復旧することは出来ません。

製品の選択(P)...

起動する製品種類(製品"ACAD-DENKI"など)の環境設定名を指定します。

起動設定(S)...

電キャビから図面を開くためのスクリプトを編集します。

2-2. 表示名

表示名の作成方法と編集方法について説明します。

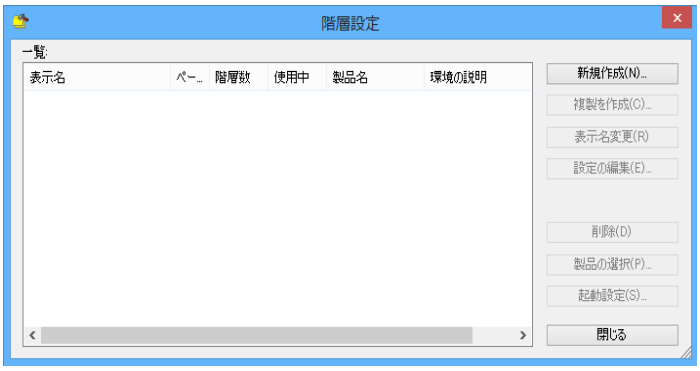
2-2-1. 表示名とは

表示名とは、電キャビのボリューム(基点フォルダ)に割り付ける環境名称です。
表示名に割り付けた階層数分を、電キャビ画面でボリューム(基点フォルダ)以下に構成します。
フォルダのプロパティ情報・ファイルのプロパティ情報、図面に使用する図枠・図枠グループと
図面転記情報など、詳細な設定は表示名ごとに分けられることになります。

2-2-2. 表示名の新規作成

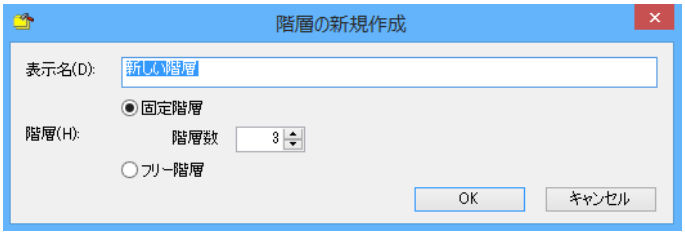
【操作説明】

1. アルファテック ランチャーを起動し[管理ツール]-[電キャビ]を表示し[階層設定]を選択します。
階層設定ダイアログが表示されます。



新規作成(N)... をクリックします。

2. 階層の新規作成ダイアログが表示されます。

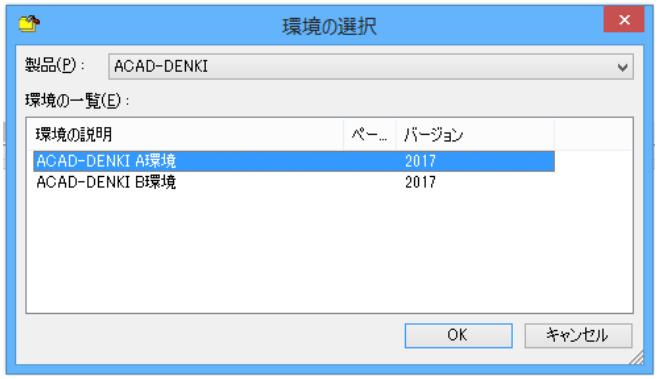


電キャビで使用する階層構造の表示名と階層数を設定します。

設定例　　表示名：3 階層
　　階層数：3

3. OK をクリックします。

4. .環境の選択ダイアログが表示されます。



表示名に対して関連付ける製品を追加・選択します。
製品：ACAD-DENKI
環境の一覧：ACAD-DENKI A 環境

OK をクリックします。

※説明
・「製品」の選択肢にはインストールされている製品の名称が表示されます。
・環境の説明は、「製品」に表示されている製品名(ここではACAD-DENKI) で作成した環境名が表示されます。
・バージョンは、各環境のバージョン情報が表示されます。

5. 表示名を追加作成します。

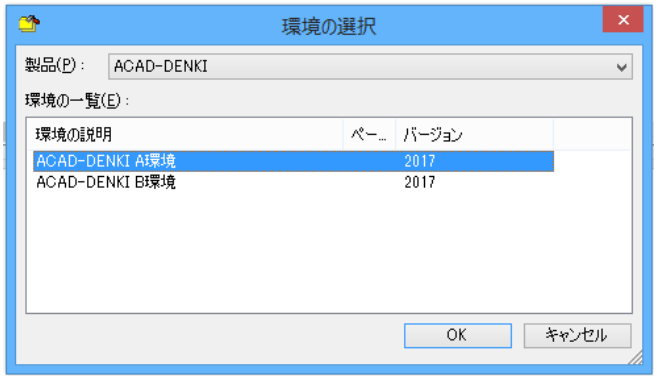
新規作成(N)... をクリックします。

6. 階層の新規作成ダイアログが表示されます。

電キャビで使用する階層構造の表示名と階層数を設定します。
設定例　表示名：2 階層
階層数：2

7. OK をクリックします。

8. 環境の選択ダイアログが表示されます。

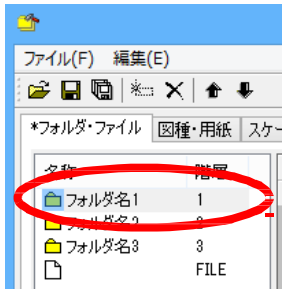


表示名に対して関連付ける製品を追加・選択します。
製品：ACAD-DENKI
環境の一覧：ACAD-DENKI A 環境
OK をクリックします。

新たに「2 階層」が作成されます。

※3階層から2階層に変更した場合など階層を減らした場合、
1階層目の設定が削除されます。
増やした場合、最上部(1階層目)に設定が追加されます。

削除される階層



2-2-3. 起動する製品環境の変更

1. 表示名「2 階層」を選択します。

製品の選択(P)... をクリックします。

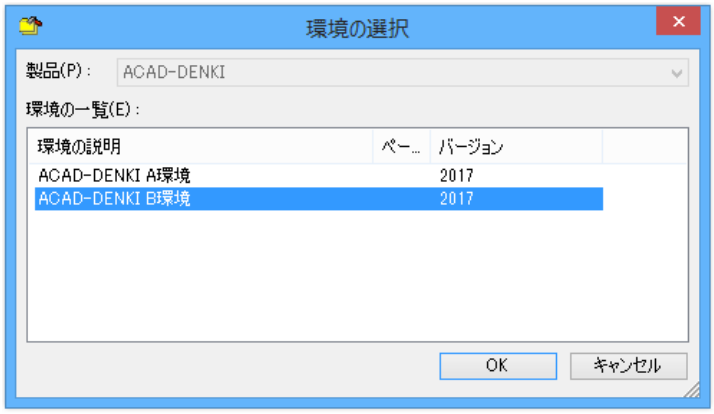
2. 製品の選択ダイアログが表示されます。
登録されている製品を変更します。

製品を選択し、変更(E) をクリックします。

3. 環境の選択ダイアログが表示されます。
変更する環境を選択します。

選択　ACAD-DENKI B 環境

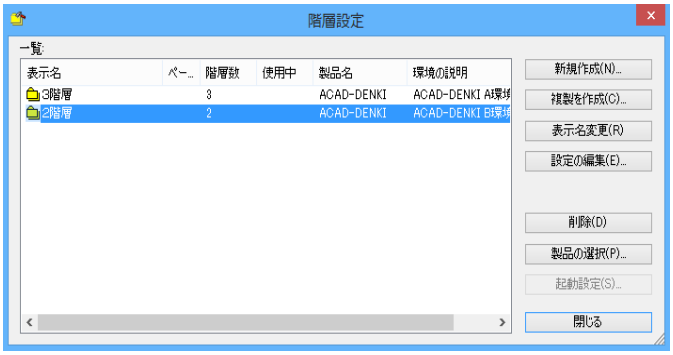
OK をクリックします。



4. 製品の選択ダイアログが表示されます。
変更された製品が製品名に表示されます。

閉じる(C) をクリックします。

5. 選択した表示名「2 階層」の製品が変更されたのが確認できます。



【製品の選択について】
起動するCAD(本例の場合はACAD-DENKI)の環境が1つしかない場合などは、製品の選択を行う必要はありません。

本例のように、流用した環境を別のCAD環境(ACAD-DENKI、他製品の環境)で起動したい場合に、本設定から追加・変更・削除を行います。

2-2-4. 表示名の削除

作成した「表示名」は以下の条件のときに削除できます。
・電キャビの階層名に使用されていない電キャビで使用中の階層設定の表示名は削除できません。
電キャビのボリュームで使用中の表示名を削除したい場合、該当するボリュームを電キャビ上で削除する必要があります。

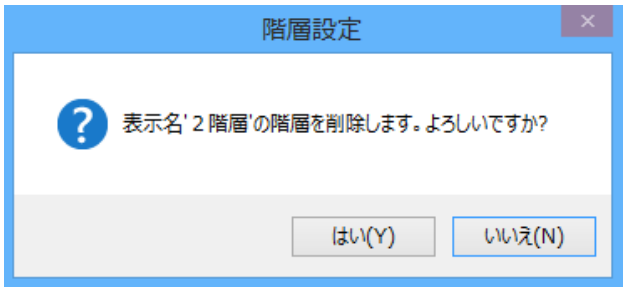
表示名を削除するということは、設定した環境を無効にするということですので、削除しても問題がないことを必ず確認してください。
本章では、設定を行っていない「2階層」を削除する例を説明します。

1. 「2 階層」を選択します。

削除(D) をクリックします。

2. 確認のダイアログが表示されます。

はい(Y) をクリックすると、選択した表示名が削除されます。



2-3. [設定の編集]の内容

設定の編集(E)... で設定する内容について説明します。
表示名には、起動する製品の環境を割り付けます。(ここではACAD-DENKI A環境)
割り付けた環境の設定にあわせて、電キャビの設定を行います。(例:図枠の選択、図題情報など)

2-3-1. [フォルダ・ファイル]タブ

各階層(フォルダ・ファイル)で、どのような情報を画面表示するか指定します。
表示名に割り付けた階層分のフォルダが表示されます。
(メニュー)
[ファイル]-[フォルダ名の変更]
(メニュー : すべての設定で共通)
[ファイル]-[設定の再読込み]
-[設定の保存]
-[すべての設定を保存]

/ /

[編集]

/ :項目の追加/削除

/ :項目を上へ移動/下へ移動

(説明)

設定の再読込み	: 変更中の設定を前回保存した内容に戻します。
設定の保存	: 表示中の設定画面を保存します。
すべての設定を保存	: 変更中の設定(変更中の印"*"がついているタブ)をすべて保存します。
フォルダ名の変更	: [名称]項目に表示されるフォルダ名を変更します。
項目の追加	: 右ペインの項目を追加します。
項目の削除	: 右ペインの項目を削除します。
項目を上へ移動	: 右ペインの選択項目行を上へ移動します。
項目を下へ移動	: 右ペインの選択項目行を下へ移動します。

2-3-2. [図種・用紙]タブ

ACAD-DENKI環境に登録された図枠をグループ分けして登録します。
図面の種類によって使用する図枠を指定します。

(メニュー)
[ファイル]-[図種の新規作成]
　　-[図種の変更]
　　-[図種の削除]
[ツール]-
　[プロットスクリプトテンプレート管理]

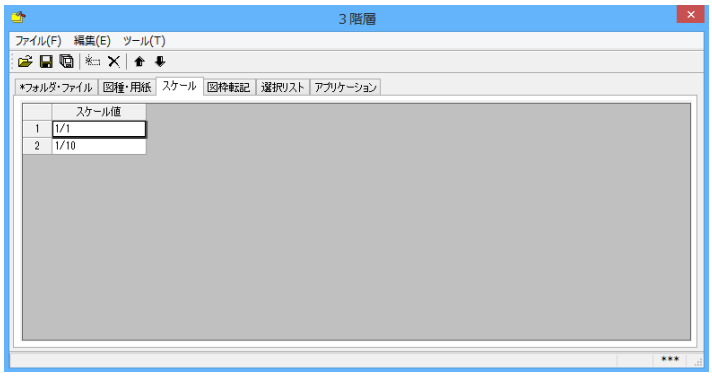
※用紙IDには関連付けられたACAD-DENKI (ここではACAD-DENKI A環境)に登録されている図枠が選択できます。

(説明)
　図種の新規作成　　：左ペインの図種を新規に作成します。
　図種の変更　　：左ペインの図種名を変更します。
　図種の削除　　：左ペインの図種を削除します。
※目次作成を行う場合、図種名に"目次"が含まれる目次専用の図種が必要です。

プロットスクリプトテンプレート管理：連続印刷用のスクリプトテンプレートを作成します。
※プロットスクリプトテンプレートの作成方法に関しましてはACAD-DENKIトレーニングマニュアルの印刷の章をご参照ください。

2-3-3. [スケール]タブ

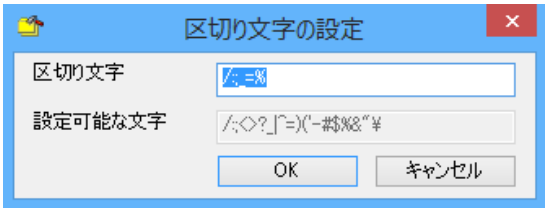
使用するスケール情報を登録します。
(メニュー)
[ツール]-[区切り文字の設定]



右図は、新規環境作成直後の表記です。
デフォルトは"/"(スラッシュ)です。

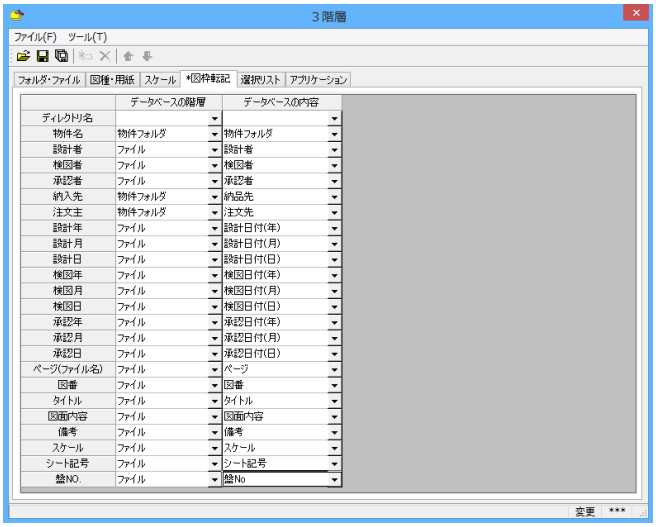
(説明)
「区切り文字の設定」について

スケールの分母と分子を区切る文字の設定です。
半角の記号で設定してください。
設定可能な文字は右図を参考にしてください。



2-3-4. [図枠転記]タブ

電キャビで変更したプロパティ情報を、実際の図面に反映するための設定を行います。
（右図は設定例です。初期値は空です）

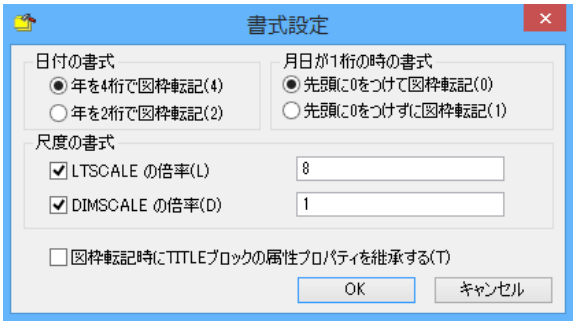


【図枠転記設定を行う前に!】
※ここで表示される図題項目は関連付けられた ACAD-DENKI(ここでは ACAD-DENKI A 環境) に登録されている情報です。

・図枠の図題に登録した情報を確認しておきましょう。
・画面設定で作成したフォルダの情報ファイルの情報を確認しておきましょう。

（メニュー）
[ツール]-[書式設定]
※[編集]メニューはありません。

（説明）
[書式設定]では以下の内容を設定します。
（ダイアログ右図参照）



日付の書式
：日付の表記桁選択

月日が1桁の時の書式
：月日1桁表記字に"0"を使用する/しないの設定

尺度の書式
：線重尺度・寸法尺度の設定

ロ図枠転記時の図題情報プロパティ表示選択

2-3-5. [選択リスト]タブ

コンボボックスで指定したいリストに登録します。

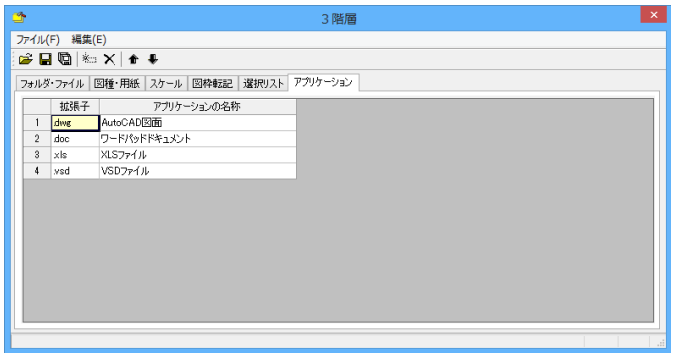
（メニュー）
[ファイル]-[リストの新規作成]
-[リストの変更]
-[リストの削除]

（説明）
リストの新規作成
：選択リストを新規に作成します。
リストの変更
：選択リストの名称を変更します。
リストの削除
：選択リストを削除します。

2-3-6. [アプリケーション]タブ

電キャビで管理するアプリケーションを登録します。

ここで登録した拡張子のファイルを、電キャビ上にインポートし管理することが出来ます。



(注)拡張子と起動アプリケーションの関連付けが必要な場合は、Windows のエクスプローラのメニュー[ツール]-[フォルダオプション]の[ファイルの種類]タブで行ってください。

OS により設定方法が異なります。

ご使用の OS のアプリケーションの関連付け方法をご確認ください。

2-3-7. 図枠に関連する設定

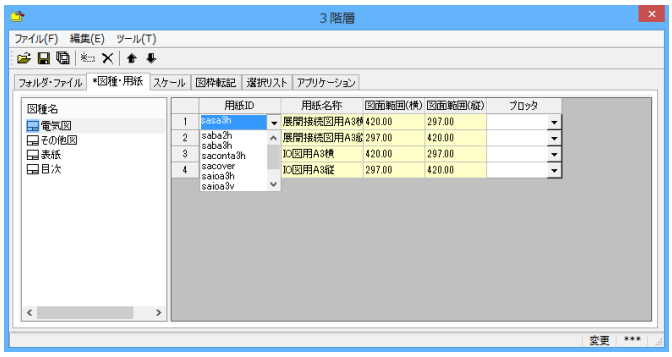
設定の編集(E)... の「図種・用紙」タブに設定する図枠は、関連付ける製品環境に登録されているものが選択肢にあがってきます。
ここでは、ACAD-DENKI環境を使用した例で、図枠の登録と設定について説明します。
本章では、ACAD-DENKIの環境が複数（2つ）ある場合を例としています。

図種・用紙タブ

ACAD-DENKI 環境に登録された図枠をグループ分けして登録します。

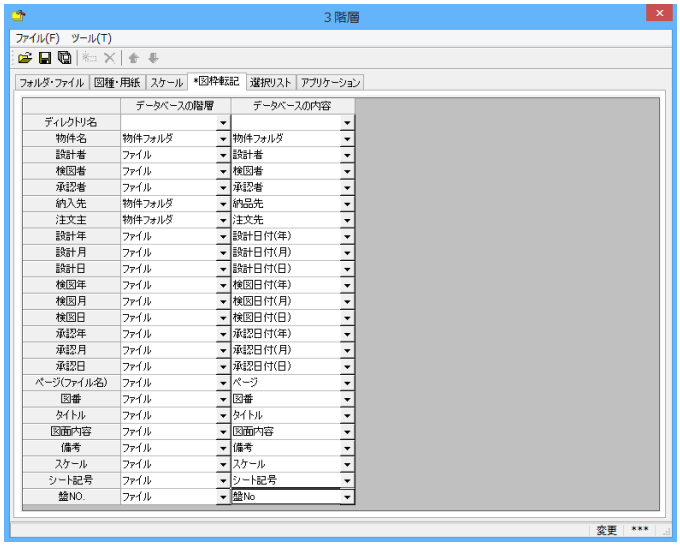
「ACAD-DENKI A 環境」は ACAD-DENKI 起動初期状態の環境です。

初期状態の場合、選択肢に表示されるのは、提供サンプルのみです。



図枠転記タブ

電キャビのフォルダ・ファイルプロパティ項目と、図枠に配置された図題項目を関連付けます。



確認後、「3 階層」と階層設定ダイアログを終了します。

2-4. 起動製品(ACAD-DENKI)環境

表示名に割り付けた起動環境に、図枠を登録する例を説明します。ここでは、環境が複数(2つ)ある場合を例とします。

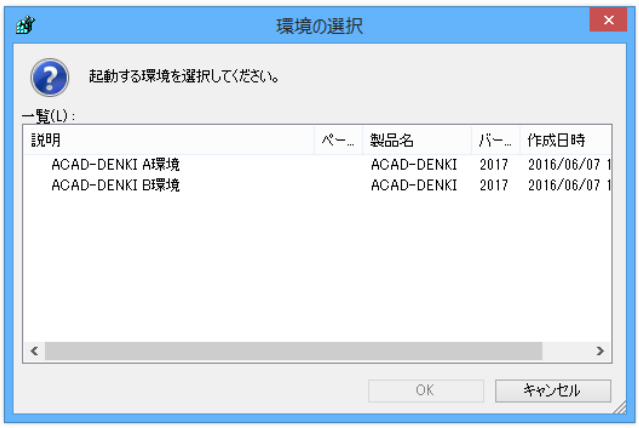
2-4-1. **環境を選択して起動**

【操作手順】

1. ACAD-DENKI を起動します。

※環境の選択が必要な場合は、デスクトップのアイコンを右クリックして、環境の選択ダイアログを表示させてください。

2. 環境が複数ある場合は、図のように「環境の選択」ダイアログが表示されます。
図枠を追加する環境(表示名に割り付けている環境)を選択し、OK をクリックします。

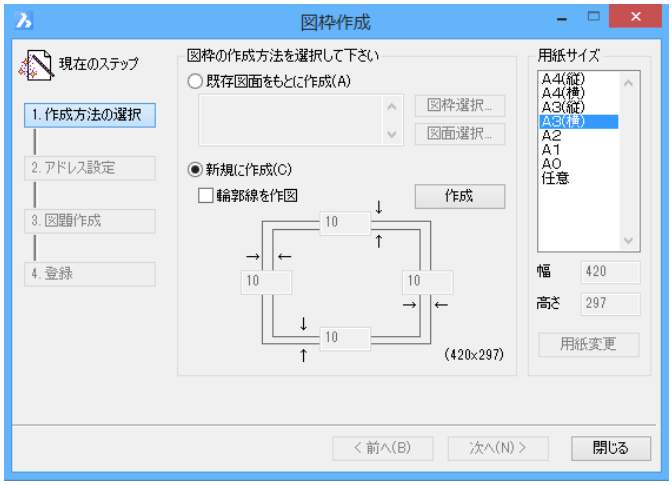


ACAD-DENKIの環境が1つしかない場合はこの選択ダイアログは表示されません。
選択した環境のACAD-DENKIが起動します。

2-4-2. 図枠登録

1.[シンボル]-[図枠作成・編集]を選択します。

図枠作成ダイアログが表示されます。
既存の図枠を流用し、図枠を新規作成します。

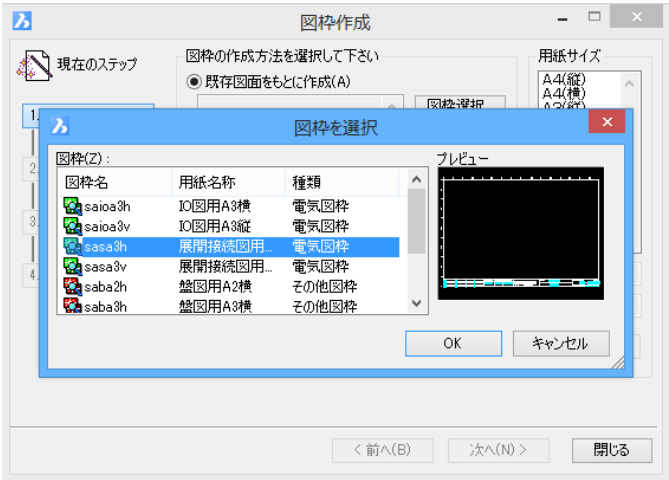


2.「既存図面をもとに作成」を選択します。

3. 図枠選択... をクリックします。

[図枠を選択]ダイアログが表示されます。
図枠を選択します。
選択図枠：sasa3h

4. OK をクリックします。



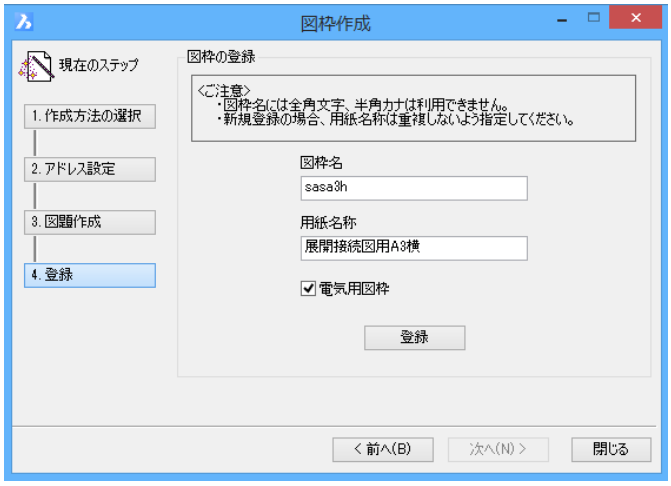
5. 選択した図枠がカレントウィンドウに開きます。
[3.図題作成]をクリックします。

選択した既存図枠に配置されている図題情報には が表示されています。

※ここで表示される図題項目はACAD-DENKIの[電気編集]-[ACAD-DENKI環境設定]の[図枠]-[図題情報]でチェックされた項目です。
図枠転記設定で表示される項目も同じです。
※図枠に配置した図題項目が図枠転記対象となります。
実際に自社用の図枠を作成する場合は、使用される図題項目を予めご検討いただく必要があります。

6. [4.登録]をクリックします。

選択した既存図枠の「図枠名」と「用紙名称」が表示されています。



7. 「図枠名」と「用紙名称」を変更します。

図枠名　：SAMPLE1

用紙名称：サンプル 1(電気図枠 A3)

※用紙名称が既存の図枠と重複しないようにご注意ください。本例の名称が重複する場合は、任意の用紙名称にご変更ください。

8. 登録 をクリックします。

9. 確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。

図枠作成が終了し、カレントウィンドウの図枠も閉じられます。

これで、新規に図枠が作成されます。

ACAD-DENKI は終了します。

※形状なども新規に作成する手順等はACAD-DENKIトレーニングマニュアルをご参考ください。
　または、ご使用製品のトレーニングマニュアルをご参考ください。

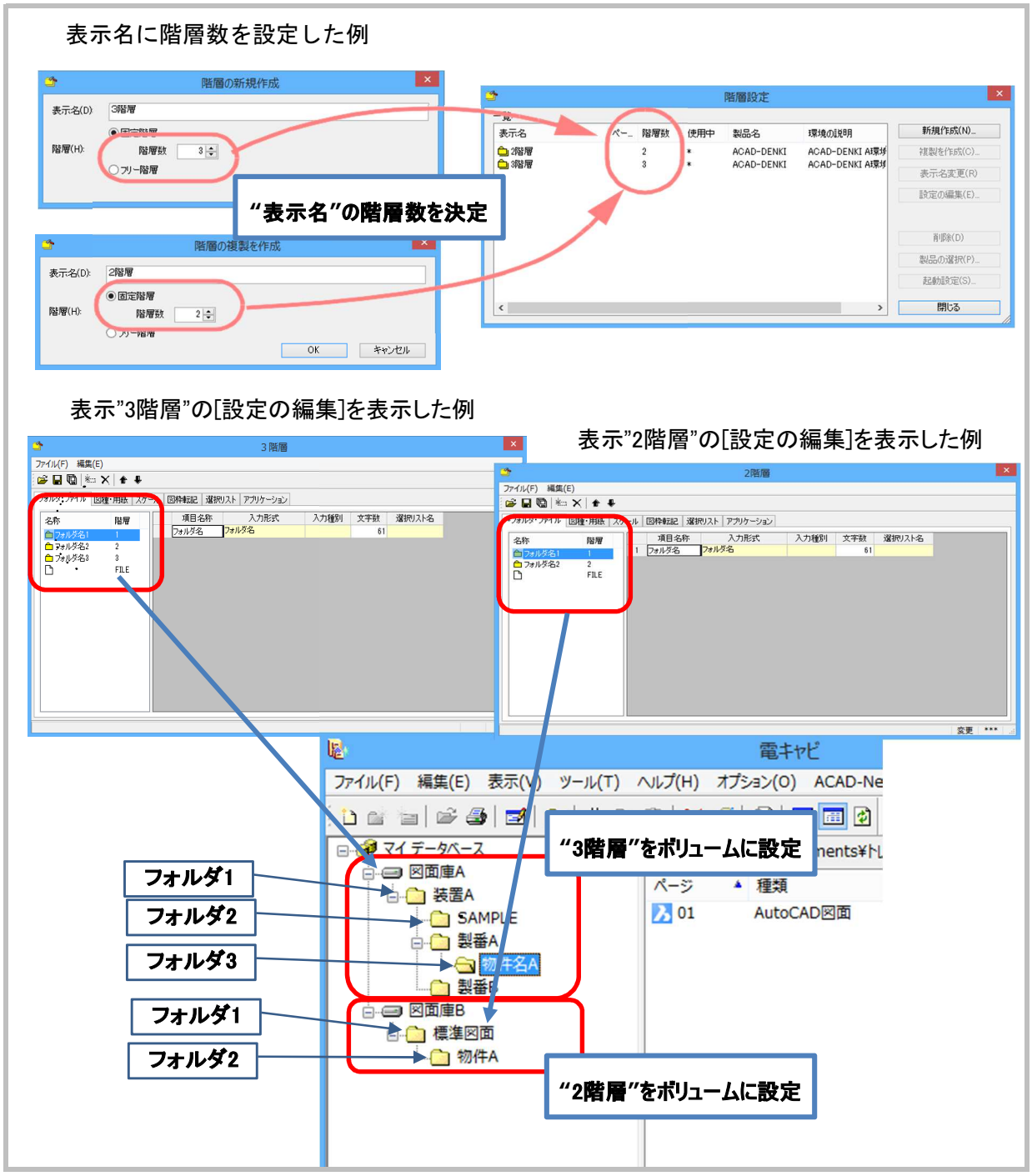
2-5. 設定の編集の変更

階層設定の表示名の「設定の編集」では、各階層(フォルダ・ファイル)ごとの情報(プロパティ)の[図種・用紙][スケール][選択リスト]の設定を行います。
設定する図枠は、前章「2-4.起動製品(ACAD-DENKI)環境」で作成した図枠を使用した例です。

2-5-1. 階層・プロパティ項目の設定

電キャビで管理するフォルダ階層・プロパティなどの設定を行います。

「2-2-2.表示名の新規作成」で作成した"3階層"と同様の手順で作成した"2階層"を例に各設定が電キャビのどの部分に反映されるのかを図解しています。

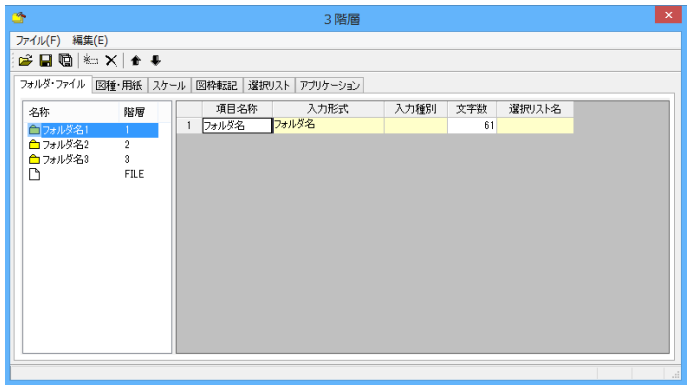


1. [スタート]-[アルファテック ランチャー]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[階層設定]を選択します。
階層設定ダイアログが表示されます。
表示名"3 階層"を選択します。

設定の編集(E)... をクリックします。

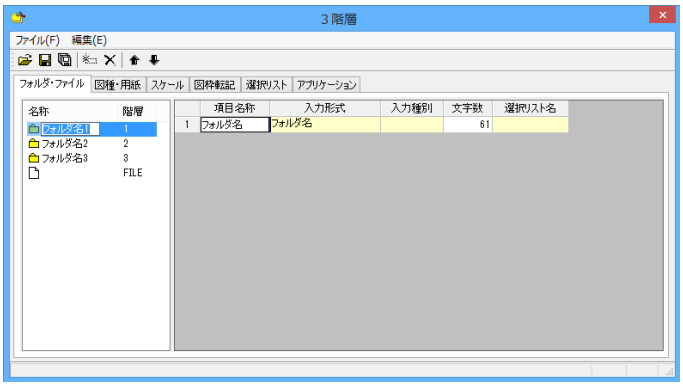
2.3 階層ダイアログが表示されます。
[名称 | 階層](左ペイン)に管理する階層が表示されます。

右図はデフォルトです。名称は"フォルダ名*"と表示されます。

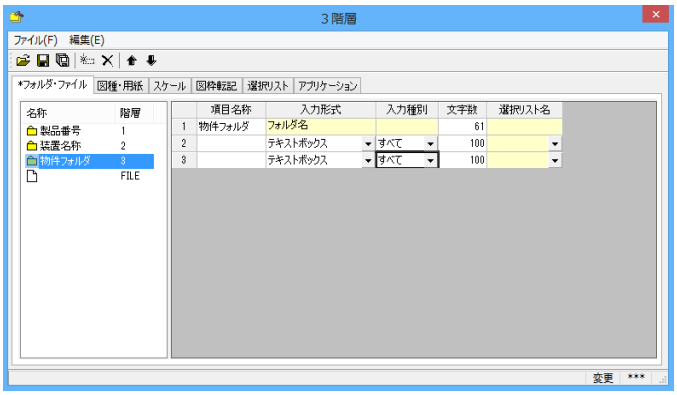


3.フォルダ名 1 を選択します。

[ファイル]-[フォルダ名の変更]を選択します。
名称を変更するモードになります。

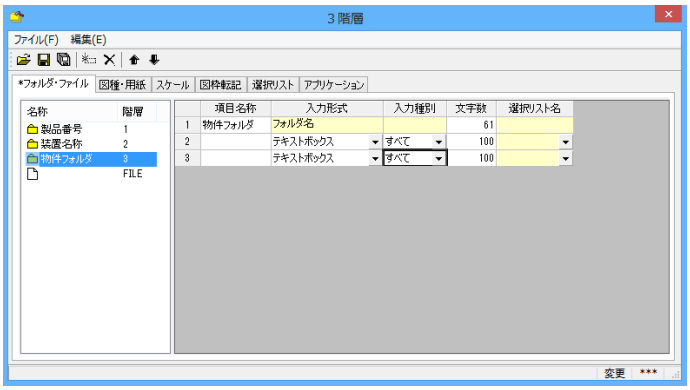


4.フォルダ名 1, フォルダ名 2, フォルダ名 3 を以下のように変更します。
(変更例)
フォルダ名 1 : 製品番号
フォルダ名 2 : 装置名称
フォルダ名 3 : 物件フォルダ



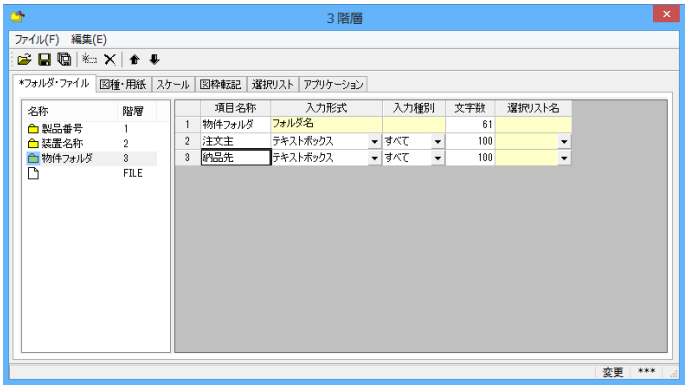
5. 物件フォルダ階層に項目を追加します。

物件フォルダを選択し を 2 回クリックします。
空行が 2 行追加されます。



6. 項目名称を変更します。

1 行目：物件フォルダ
2 行目：注文主
3 行目：納品先



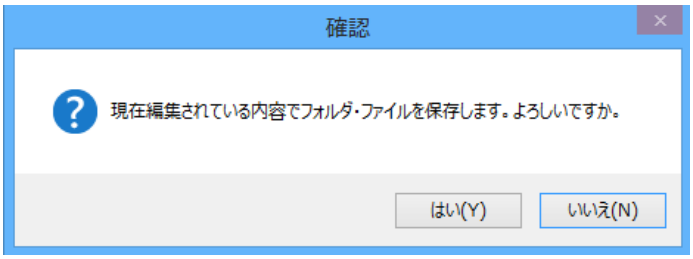
7. 同様の手順でページ項目を 10 行追加し、名称を変更します。

：項目名称：入力形式
8 行目　：図番
9 行目　：タイトル
10 行目　：図面内容
11 行目　：設計者
12 行目　：設計日付：日付
13 行目　：検図者
14 行目　：検図日付：日付
15 行目　：承認者
16 行目　：承認日付：日付
17 行目　：備考
18 行目　：更新日時
19 行目　：保存形式

8. をクリックします。
確認のダイアログが表示されます。

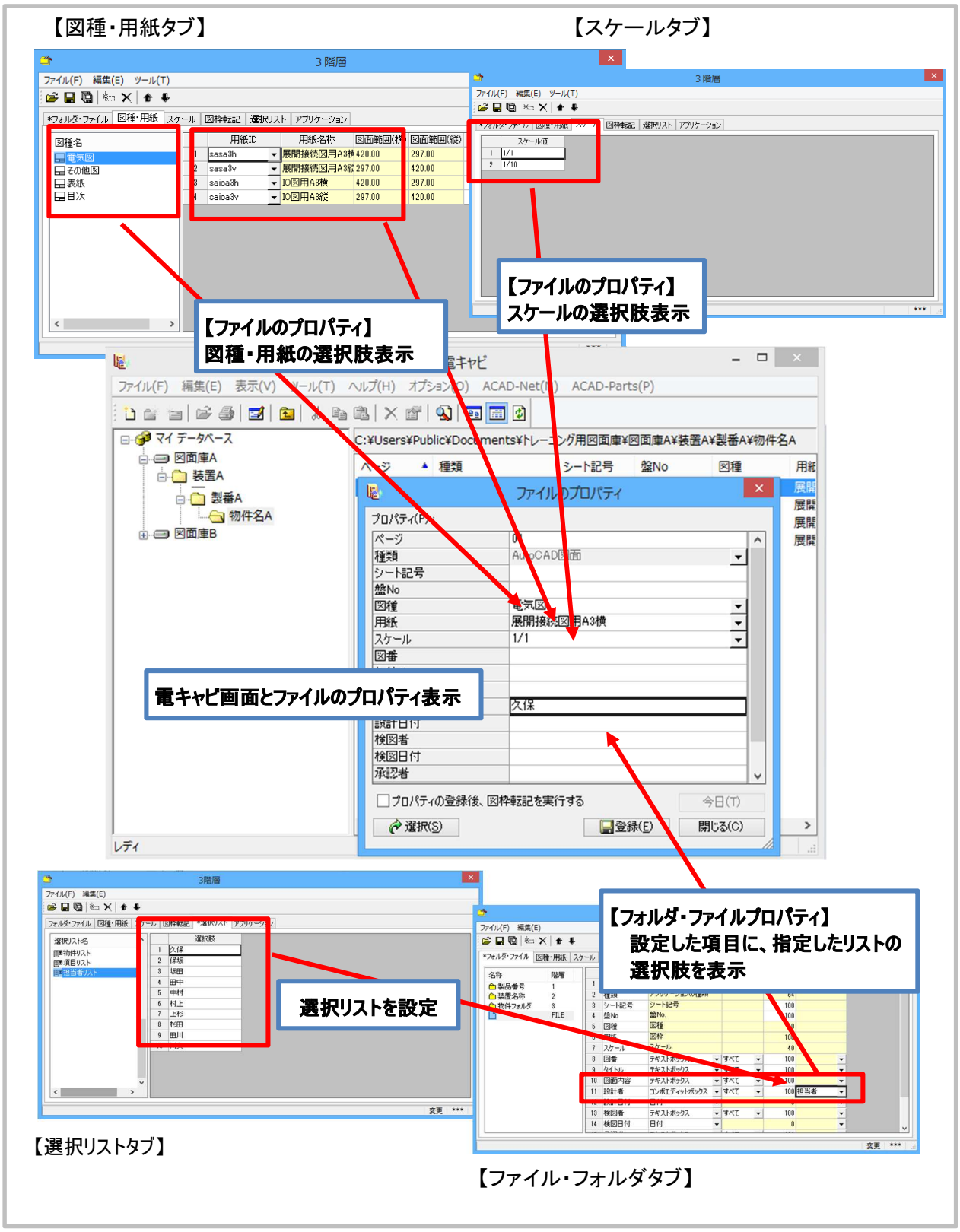
はい(Y) をクリックします。

「フォルダ・ファイル」タブの設定が保存されます。



2-5-2. 図種・用紙/スケールの設定

電キャビで管理する図種・用紙などの設定を行います。
各設定が電キャビのどの部分に反映されるのかを図解しています。

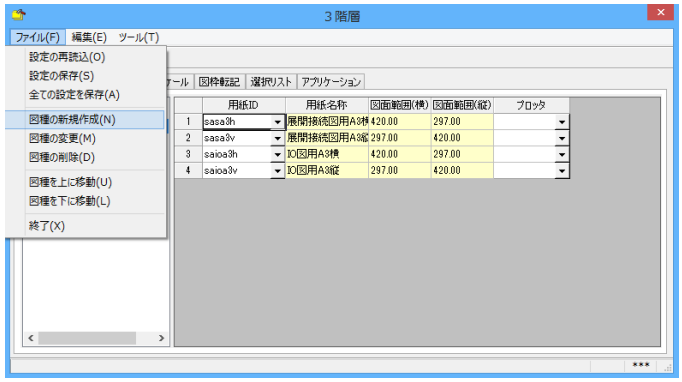


1. 図種・用紙タブをクリックします。

新規作成した環境はデフォルトで「電気図」「その他図」「表紙」「目次」の 4 図種に振り分けられ登録されています。

「2-4.起動製品(ACAD-DENKI)環境」で任意に登録した図枠については登録されていませんのでここで追加します。

[ファイル]-[図種の新規作成]を選択します。

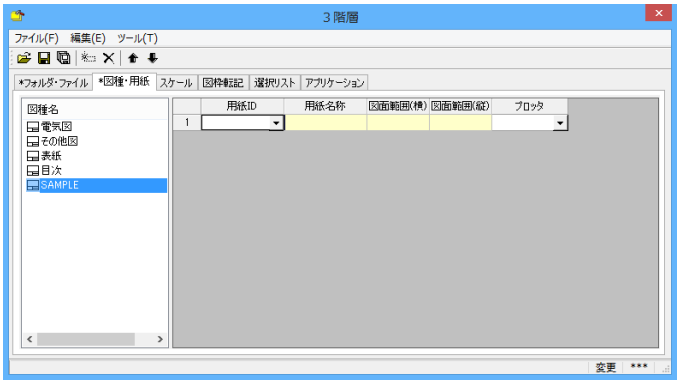


2. 図種名に「新しい図種」項目が追加されます。

名前を変更します。

(変更例)

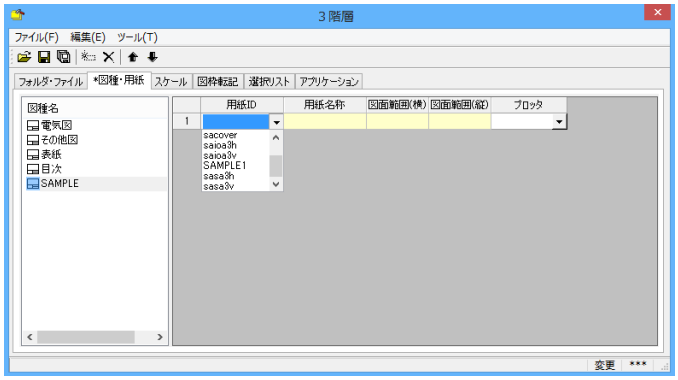
新しい図種 : SAMPLE



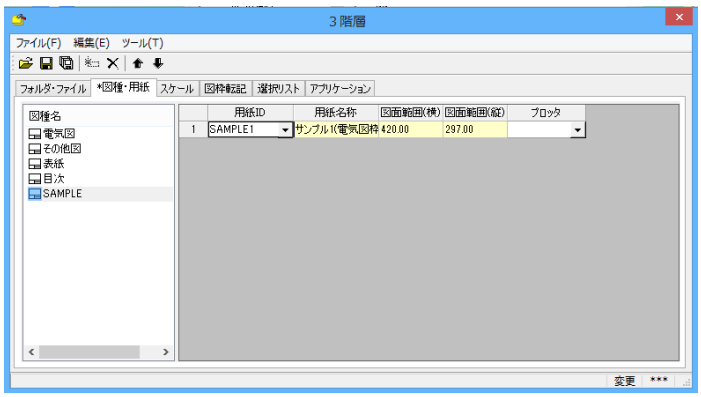
3. 図種名「SAMPLE」に用紙 ID(図枠)を追加します。

用紙 ID 欄の[▼]をクリックして選択します。

選択 : SAMPLE 1



4.「図種名：SAMPLE」に「用紙 ID：SAMPLE1」が追加されます。

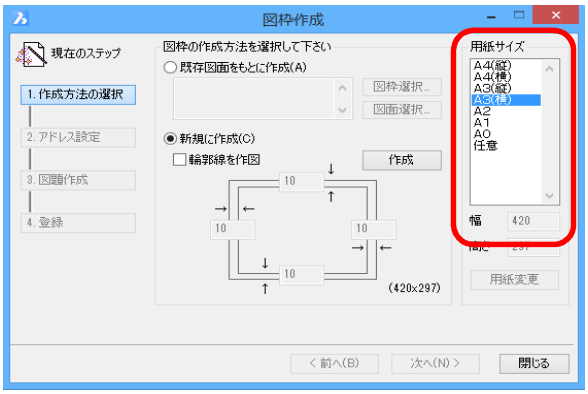


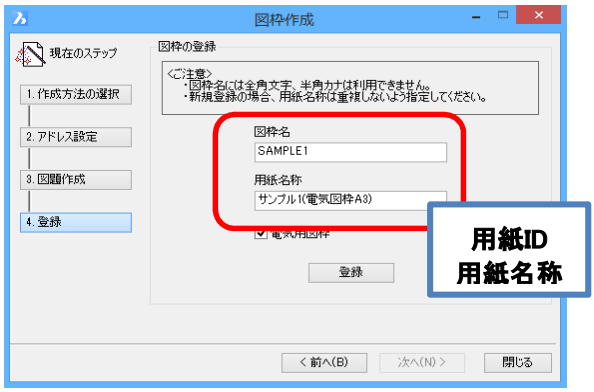
※下記の図は図枠作成のダイアログです。図種・用紙設定との名称の関係を確認してください。

【階層設定に設定される図枠の情報】

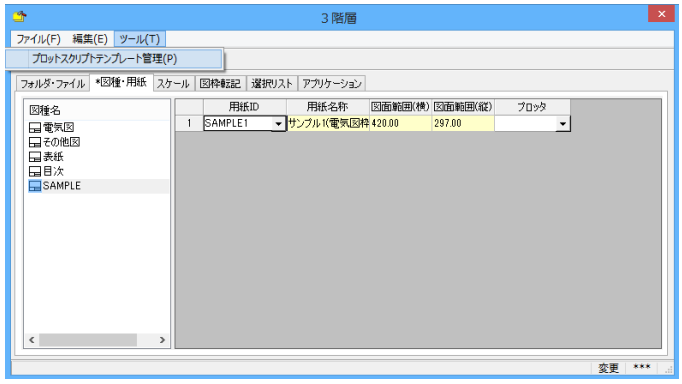
設定した項目に、指定したリストの選択肢を表示

用紙ID：SAMPLE1 / 用紙名称　：サンプル1(電気図枠A3)
図面範囲(横)：420 / 図面範囲(縦)：297



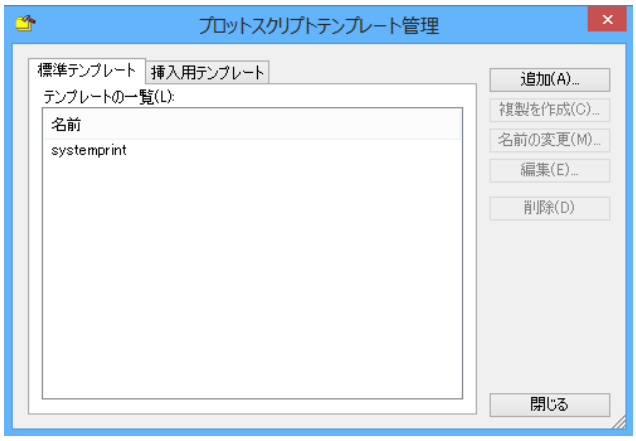


5. 図枠に、連続印刷用のスクリプトテンプレートを割り付ける場合はここで割り付けます。
[ツール]-[プロットスクリプトテンプレート管理]を選択します。



6. プロットスクリプトテンプレート管理ダイアログが表示されます。

追加(A)... をクリックします。



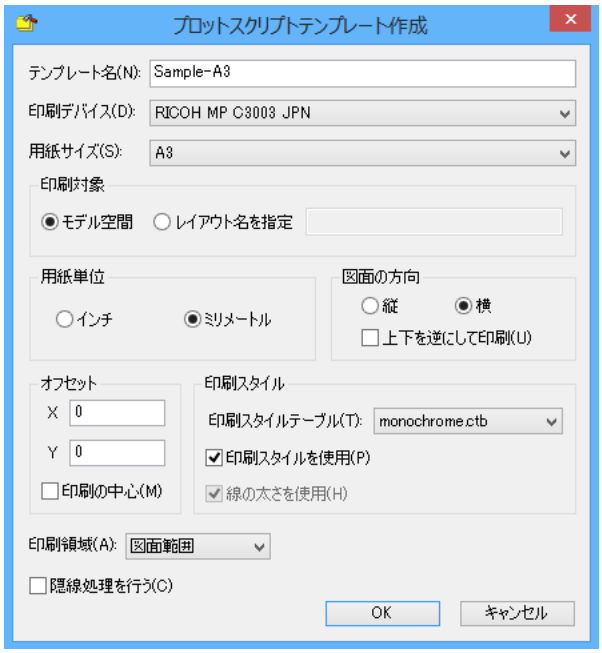
7. 標準テンプレート名を入力ダイアログが表示されます。

名前を入力します。

名前：Sample-A3(入力)

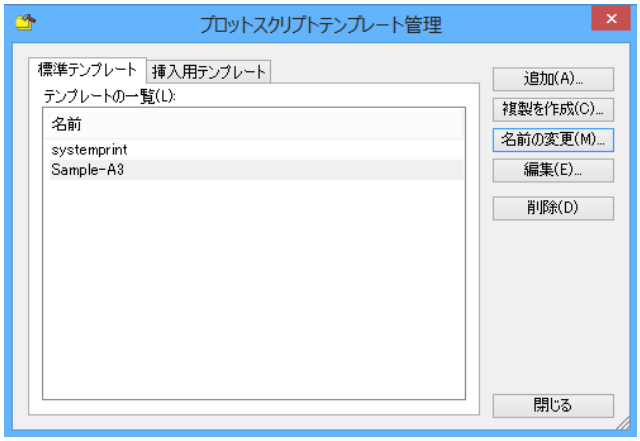
印刷デバイス/用紙サイズその他の項目を設定します。

OK をクリックします。

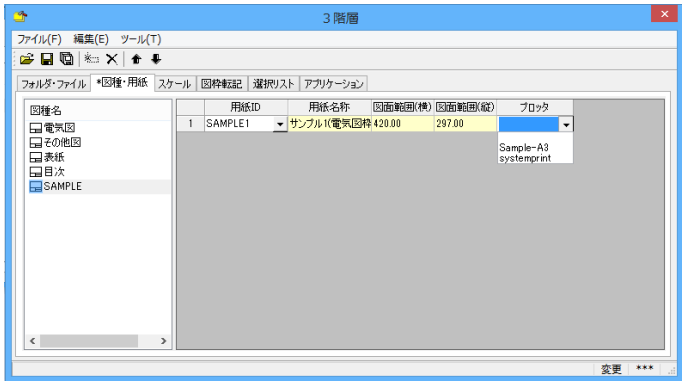


8. プロットスクリプトテンプレート管理ダイアログに"Sample-A3"が追加されます。

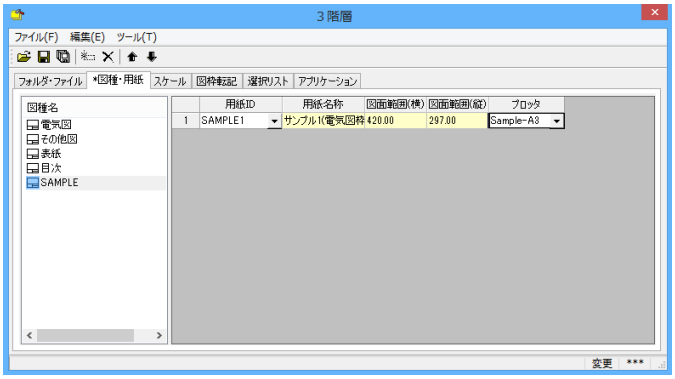
閉じる をクリックします。



9. 図枠"SAMPLE1"右側のプロッタ欄の　[▼]をクリックします。
追加したプロットスクリプトテンプレートファイルが選択できます。



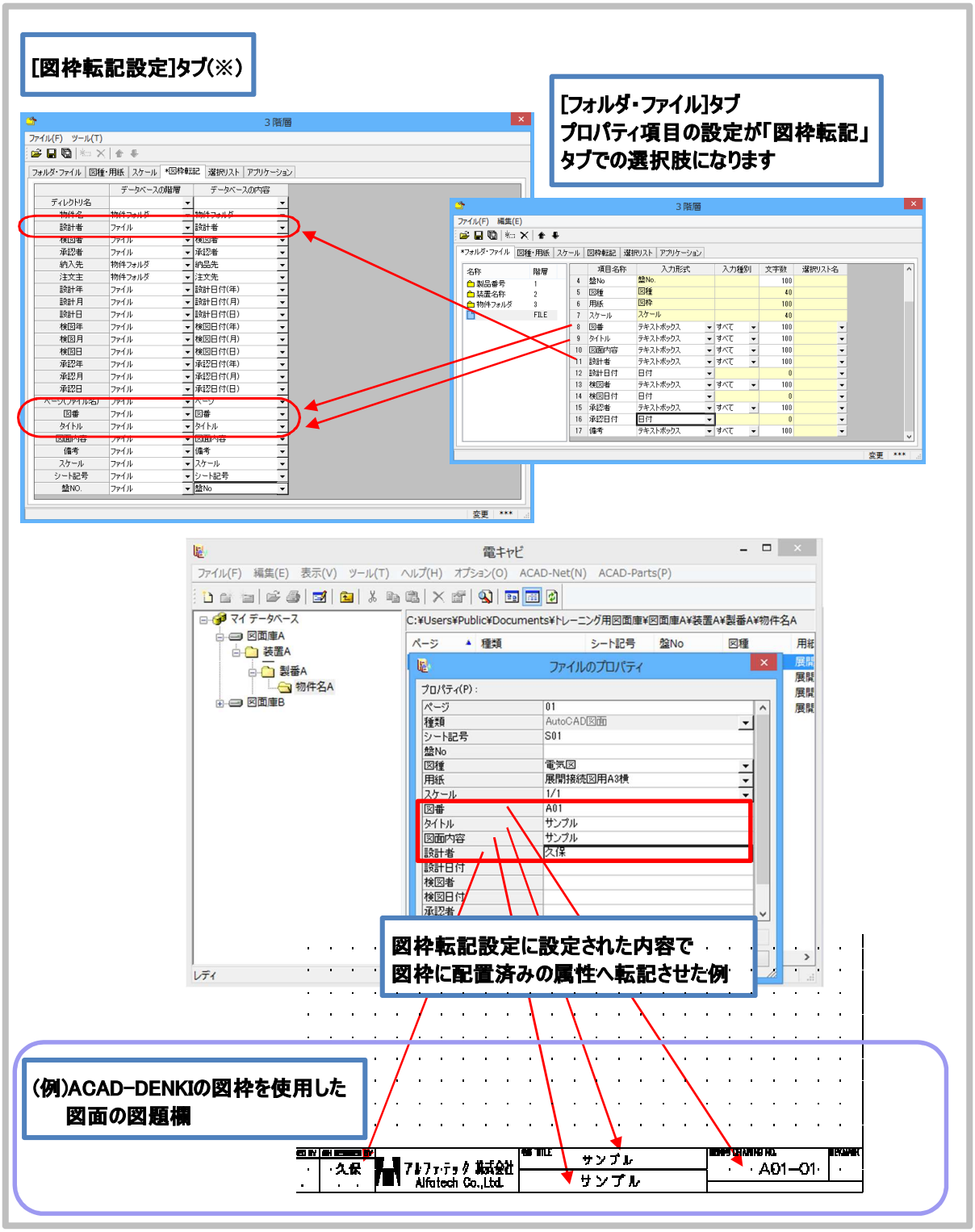
10. プロッタ欄に選択したプロットスクリプトテンプレートファイルが表示されます。



※プロットスクリプトテンプレートファイルは未設定でも登録することができます。
その場合は、電キャビから連続印刷を行うときに、図面個別にプロットスクリプトテンプレートファイルを指定します。

2-5-3. 図枠転記設定について

図面上のタイトル欄に、電キャビのどのフォルダ項目・ファイル項目の情報を転記させるのかの設定を行います。
「図枠転記設定<-->電キャビ画面<-->図面のタイトル部分」のどの部分に反映されるのかを図解しています。



※表示項目は、該当製品(例：ACAD-DENKI A環境)の[ACAD-DENKI環境設定]-[図枠]-[図題情報]の図題一覧でチェックされているものです。

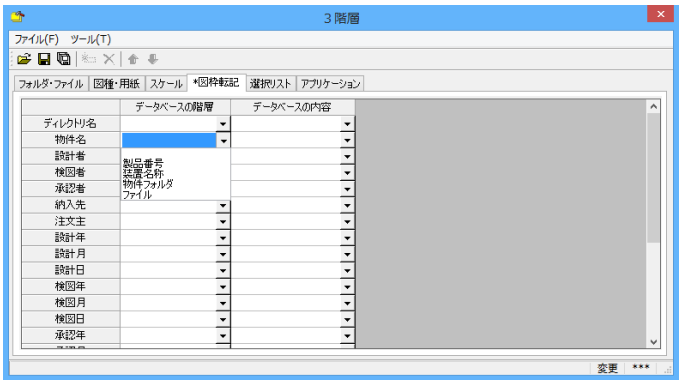
1. 図枠転記タブをクリックします。

図枠に配置済みの図題項目に転記するフォルダ・ファイルのプロパティの場所を設定します。

「物件名」行の「データベースの階層」欄の[▼]をクリックします。

階層フォルダ名・ファイルが表示されますので、転記させる項目のあるものを選択します。

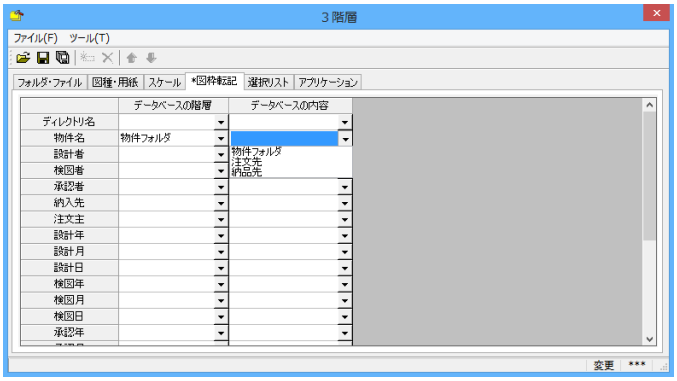
選択：物件フォルダ



2. 「物件名」行の「データベースの内容」欄の[▼]をクリックします。

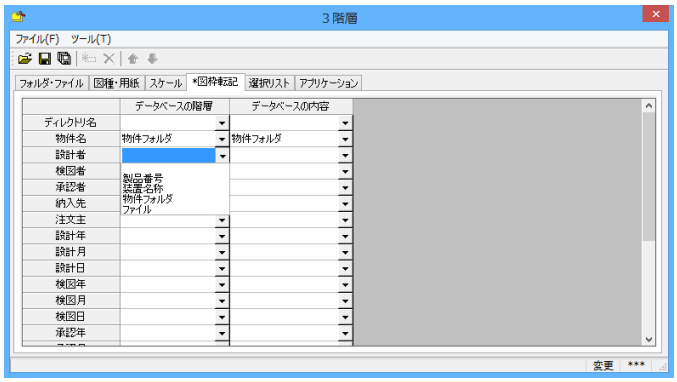
「データベースの階層」で選択した名称の設定項目一覧が表示されますので、転記させる項目を選択します。

選択：物件フォルダ



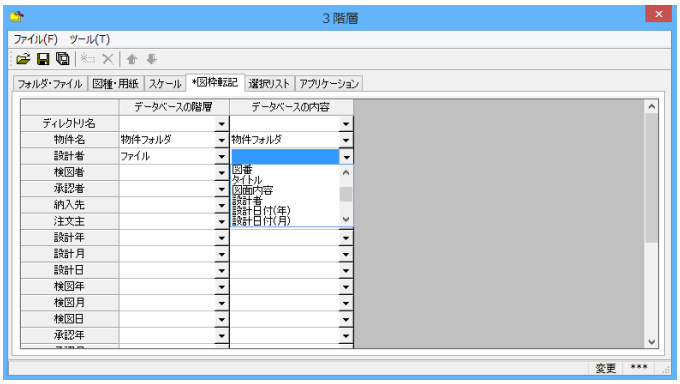
3. 「設計者」行の「データベースの階層」欄の[▼]をクリックします。

選択：ファイル



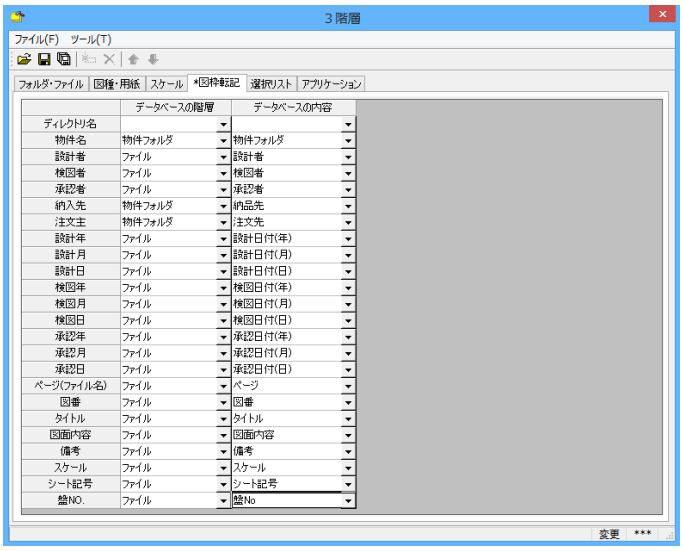
4. 「設計者」行の「データベースの内容」欄の[▼]をクリックします。

選択：設計者



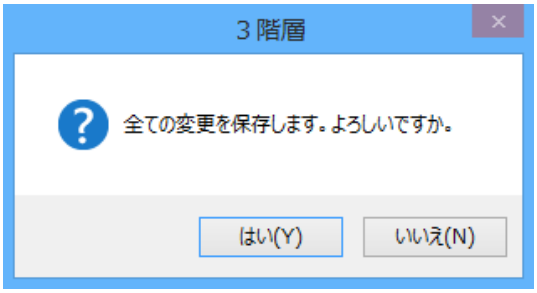
5. 同様の手順で移行の行についても
「データベースの階層」「データベースの内容」を
設定します。

[階層]　[内容]
検図者：ファイル　検図者
承認者：ファイル　：承認者
納入先：物件フォルダ：納品先
注文主：物件フォルダ：注文主
設計年：ファイル：設計日付（年）
設計月：ファイル：設計日付（月）
設計日：ファイル：設計日付（日）
検図年：ファイル：検図日付（年）
検図月：ファイル：検図日付（月）
検図日：ファイル：検図日付（日）
承認年：ファイル：承認日付（年）
承認月：ファイル：承認日付（月）
承認日：ファイル：承認日付（日）
ページ：ファイル：ページ
図番　：ファイル：図番
タイトル：ファイル：タイトル
図面内容：ファイル :図面内容
備考：ファイル：備考
スケール：ファイル：スケール
シート記号：ファイル：シート記号
盤 No：ファイル：盤 No



6. をクリックします。
確認のダイアログが表示されます。
はい(Y) をクリックします。

変更中の「図種・用紙」「図枠転記」タブの設定
が保存されます。



7. [ファイル]-[終了]をクリックして、3階層ダイアログを終了します。

2-5-4. 表示名のコピー流用

1. 表示名「3 階層」を選択します。

複製を作成(C)... をクリックします。

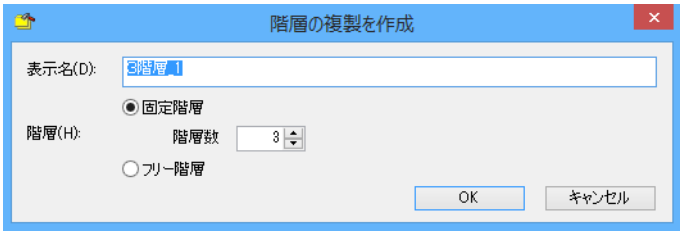
2. 階層の犠製を作成ダイアログが表示されます。

表示名と階層数を変更します。

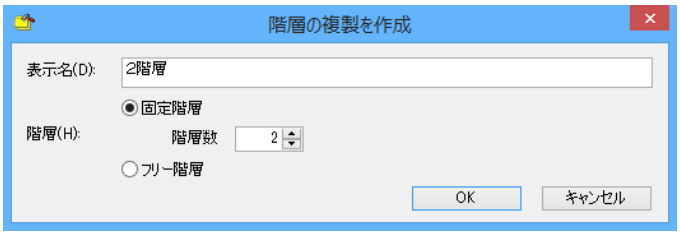
変更例

表示名「3階層_1」->「2階層」

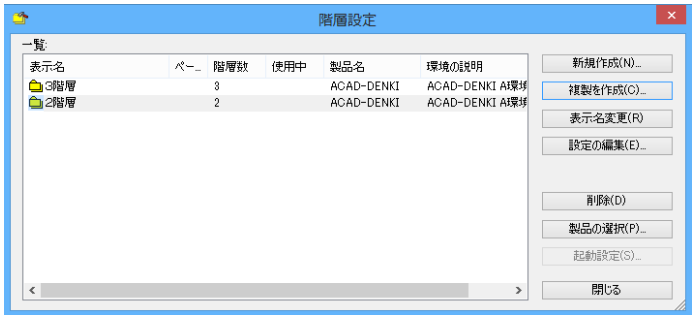
階層「3」->「2」



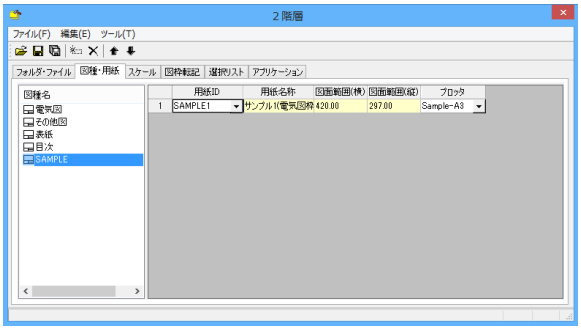
3. OK をクリックします。



表示名「2階層」が「3階層」から流用作成されました。



【2階層の[設定編集]表示した例】



2-6. 起動設定について

電キャビから図面を開いた時の初期表示を設定することが出来ます。
※本設定は、AutoCAD/BricsCADなどのベースCADのコマンドを熟知された方向けの設定です。

2-6-1. スクリプトについて

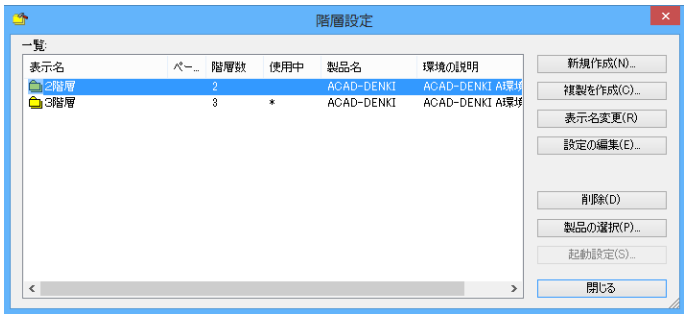
電キャビから図面を開く時に、起動製品環境(ACAD-DENKIの環境など)で図面を開くためのスクリプトを使用しています。

このスクリプトをカスタマイズすることで、電キャビから図面を開いた直後の表示を「オブジェクトの全体表示にする」/「図面範囲に表示にする」など、コントロールすることが出来ます。

スクリプトの変更を行う場合は十分にスクリプトの内容を確認し、記述に間違いがないかご注意ください。起動するためのスクリプトですので、誤記述がある場合、起動製品(ACAD-DENKIなど)が正常に起動しなくなる恐れがあります。

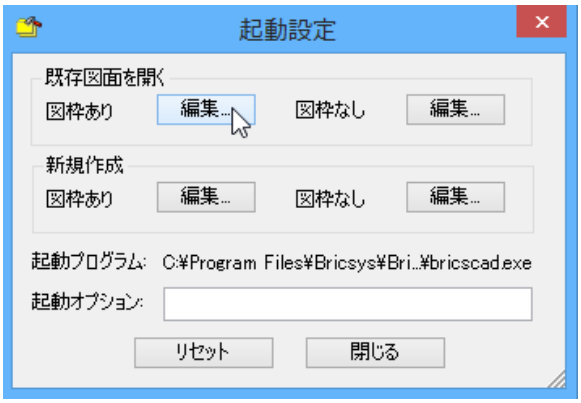
2-6-2. 起動設定の変更方法

1. 階層設定ダイアログの表示名を確認します。
起動設定を行う環境は、電キャビで使用中の環境になります。
使用中でない場合は右図のように
起動設定(S)... はグレーアウトされ選択できません。



2. 起動設定を行う表示名を選択します。
選択例：3 階層
起動設定(S)... をクリックします。

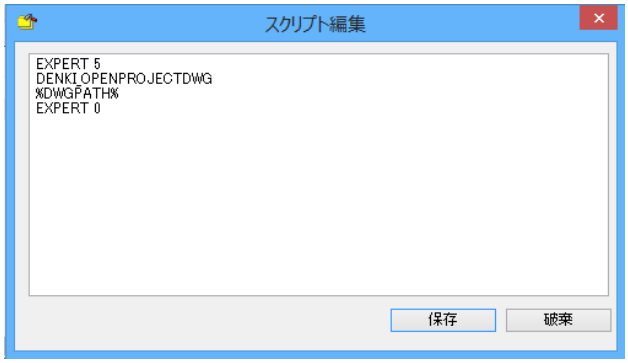
3. 階層設定ダイアログが表示されます。
「既存図面を開く」「図枠あり」の
編集... をクリックします。



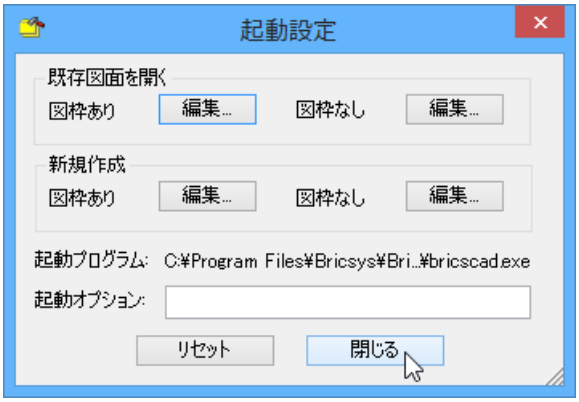
4. スクリプト編集ダイアログが表示されます。
編集する場合は、右記述の下の行からコマンドを記述していきます。
ここでは、確認のみです。

※スクリプトコマンドはAutoCAD/BricsCADに準拠した内容になります。

破棄 をクリックします。



5. 起動設定ダイアログが表示されます。
閉じる をクリックします。



【スクリプト編集内の記述について】
%DWGPATH% : 電キャビで選択した図面ファイルパスが代入される予約語です。

2-7. データベース接続設定

電キャビのデータベースについて説明します。

2-7-1. データベースとは

データベースとは、電キャビで表示される、フォルダ構成・フォルダプロパティ・
ファイルプロパティなどの情報を書き込むものです。
データベースには、PC1台だけで使用する"マイデータベース"と複数のPCで共有して使用する
"共有データベース"があります。
共有データベースを使用するには、先に共有サーバへデータベースのインストールと構築を行う必要
があります。

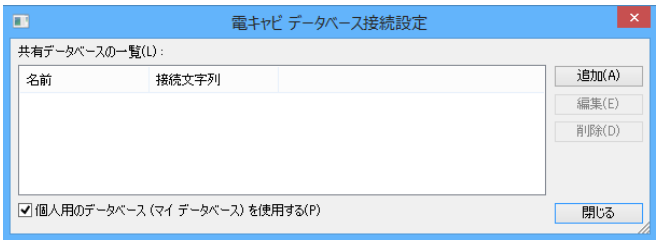
データベースのインストールが行われていない場合、また、電キャビ構成内容が正式に決まって
いない場合、「2-7-3._共有データベースの設定」は行いませんので、確認のみにしてください。

2-7-2. マイデータベース設定

マイデータベースとは使用パソコン1台だけで有効となるデータベースのことです。
※電キャビのインストール時に「マイデータベースをインストールする」選択があります。
インストール時に「マイデータベースをインストールする」を選択されている場合に
使用することができます。
マイデータベースは、同じ製品・環境をご使用の場合でも端末ごとに、個々の登録となります。

1. アルファテック ランチャーで[管理ツール]-[電キャビ]を表示し[接続設定]を選択します。
電キャビデータベース接続設定ダイアログが表示されます。

右図は初期値です。

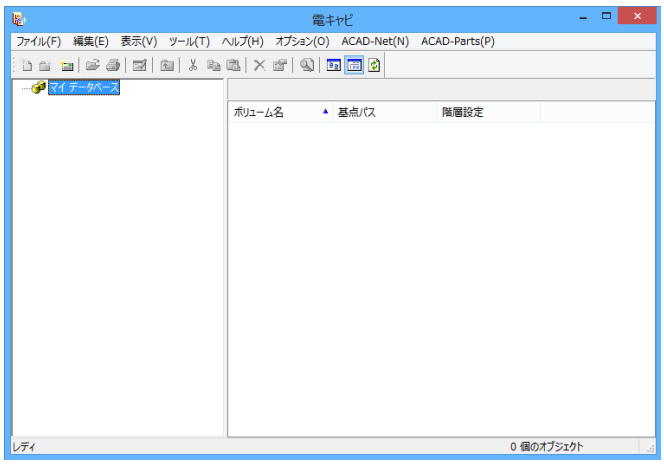


「個人用のデータベース(マイデータベース)を使用する」
・チェックON ：マイデータベースを使用します。
・チェックOFF：マイデータベースを使用しません。
共通のデータベースのみを使用する場合にチェックをはずします。
データベースを共有しない場合は、本設定を変更する必要はありません。
デフォルトでは、マイデータベースを使用する設定になっています。

2. 電キャビデータベース接続設定の
閉じる をクリックします。

3. 電キャビを起動します。

右図はマイデータベースを使用している場合の
電キャビの表示です。
左ペインには「マイデータベース」と表示されている
ことが確認できます。



2-7-3. 共有データベースの設定

共有データベースは、サーバなどで電キャビのフォルダ構成を一元管理する場合に使用します。

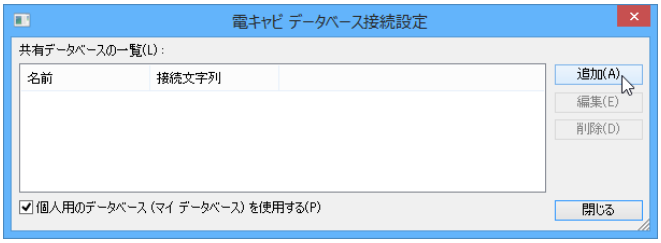
1. サーバにデータベースのインストールと構築を行います。
※データベースにつきましてはインストールガイド等をご参照ください。
共有データベースの設定には、データベースへのアクセス権限のあるユーザ・パスワードが必要です。事前に確認しておきます。

2. アルファテック ランチャーで[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]を表示し[接続設定]を選択します。

電キャビデータベース接続設定ダイアログが表示されます。

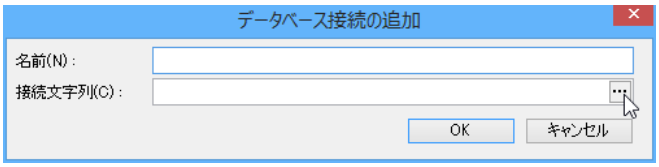
追加(A) をクリックします。

右図は初期値です。

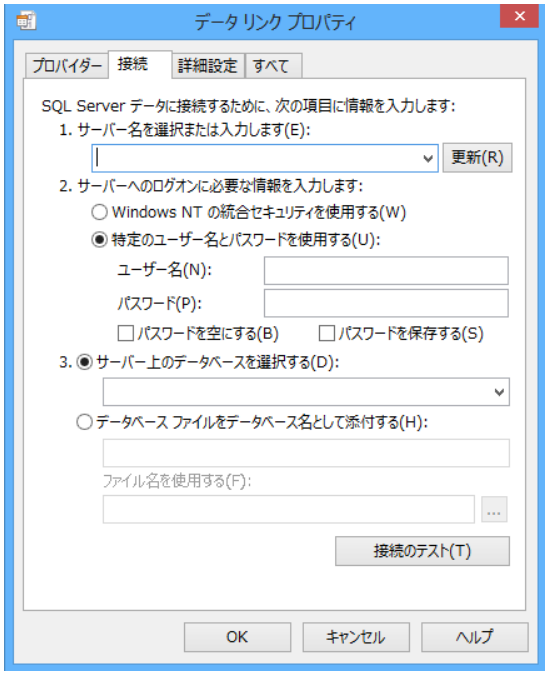


3. データベース接続の追加ダイアログが表示されます。

…をクリックします。



4. データリンクプロパティダイアログが表示されます。各設定を行います。
ここでの設定は、インストールされたデータベースにより異なります。
本例では"MSDE"を使用した場合です。
(プロバイダータブ : 選択)
: Microsoft OLE DB Provider for SQL Server
(接続タブ)
"1." : MSDE をインストールしたコンピュータ名
(選択 or 入力)
"2." : ユーザ名/パスワードを設定
DENKI_USER/DENKIDBPassV10
(入力)
パスワードを保存する
->チェック入力
"3." : "1."で指定したサーバに存在するデータベースファイルを選択します。
DENCABI8(選択)

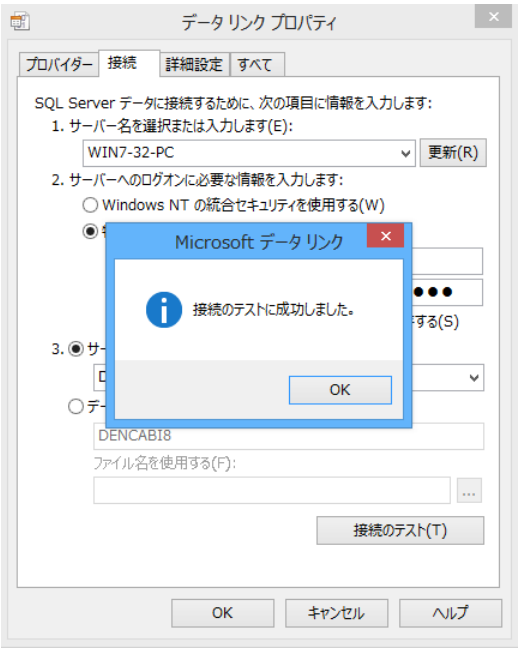


5. 接続のテスト(T) をクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。

※正常に認識されている場合の表示です。

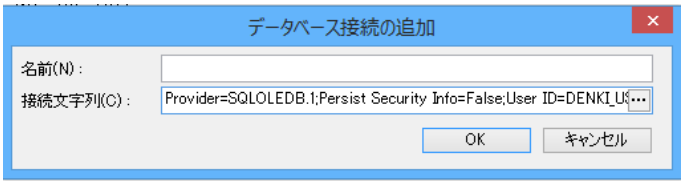


6. データリンクプロパティダイアログの

OK をクリックします。

7. データベース接続の追加画面に戻ります。

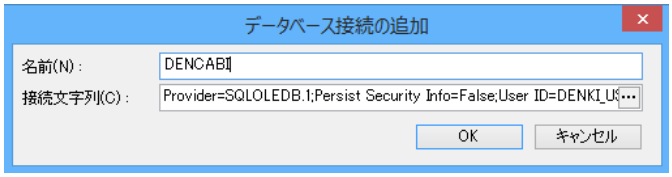
「接続文字」欄に接続設定の設定内容が表示されます。



共有データベースの名前を「名前」欄に入力します。

本例では"DENCABI"と入力します。

OK をクリックします。

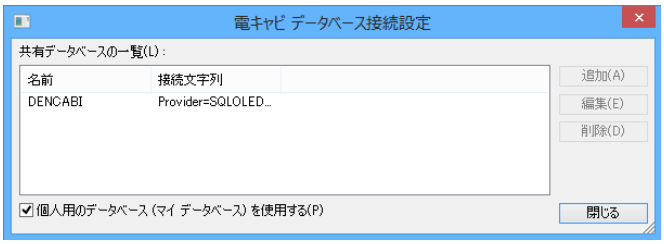


8. 電キャビデータベース接続設定ダイアログに戻ります。

共有データベースの一覧に、データベースの接続で追加した「名前」「接続文字」が表示されます。

「個人用のデータベースを使用する」のチェックを外します。

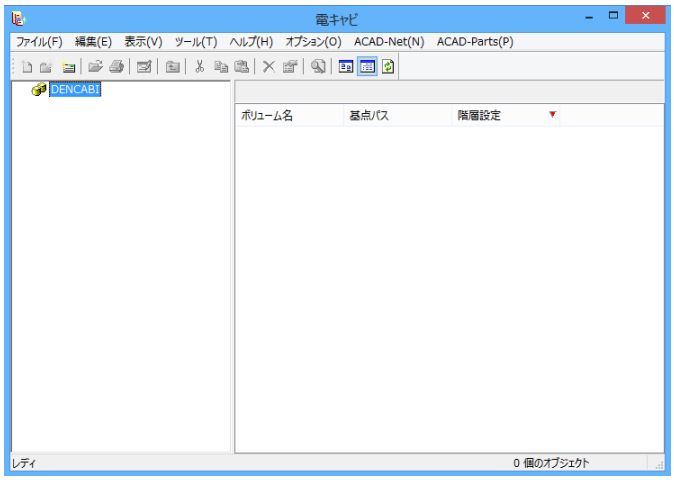
閉じる をクリックします。



9. 登録した共有データベースを確認します。

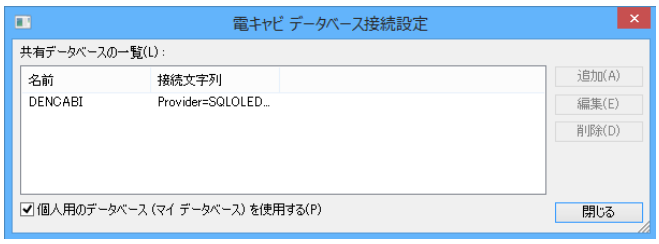
電キャビを起動します。

共有データベース"DENCABI"が追加されているのが確認できます。

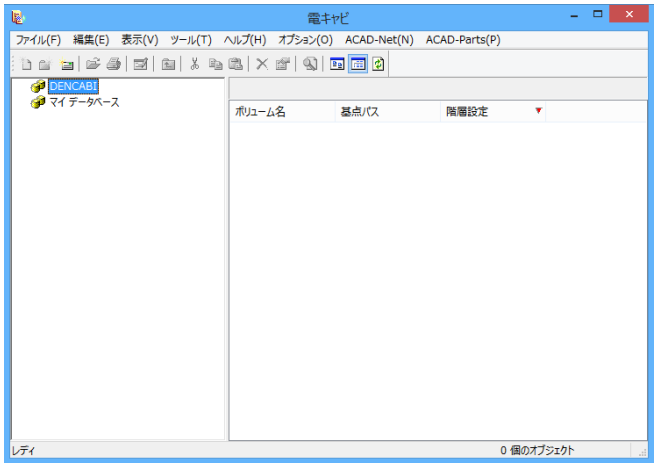


【補足】
通常、データベースは、「マイデータベース」もしくは「共有データベース」のどちらかで運用します。
サーバで共有する図面庫とローカルで編集する図面庫の2種類を使用する場合、
「マイデータベース」と「共通のデータベース」を併用することが出来ます。

共有データベースは「接続設定」を正常に行って、共有データベース接続設ダイアログの共有データベースの一覧に表示されていれば使用されることになります。



電キャビを起動して確認します。
電キャビの左ペインには共通のデータベースである「DENCABI」と「マイデータベース」が表示されています。
「マイデータベース」以下にローカルの図面庫を作成します。
「共有データベース」以下にサーバなど、共有個所にある図面庫を作成します。



※「マイデータベース」と「共有データベース」を併用される場合は、図面庫の更新ルールを決めるなど、運用方法にご注意ください。

<<このページは白紙です。>>

3 章.管理図面庫の作成

電キャビを運用するために必要な管理図面庫の構成を決め、フォルダの作成と設定を行います。

3-1. 図面庫の作成

図面庫(基点フォルダ)の作成方法について説明します。
本章では、「2-7-2.マイデータベース設定」で設定した内容を元に、マイデータベースを使用した方法で操作します。

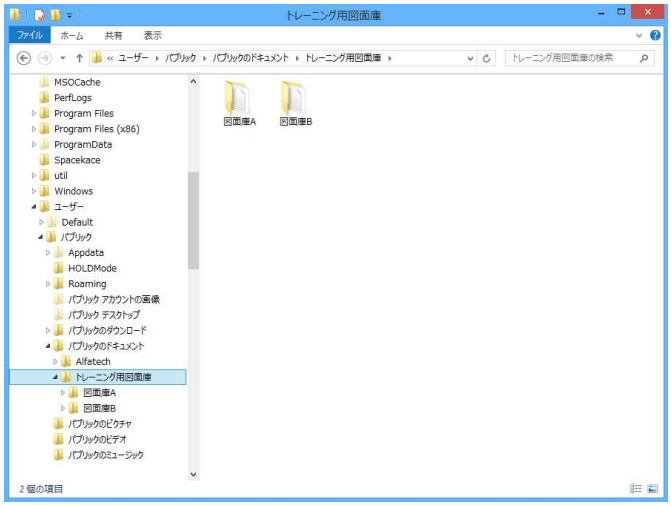
3-1-1. 図面庫フォルダの作成

電キャビに登録する図面庫のボリュームにあたる基点フォルダをエクスプローラで作成する例です。

【操作手順】

1. エクスプローラを起動します。
([スタート]-[右クリック]-[すべてのアプリ]-[エクスプローラ]で起動します。)
右図のように
C:¥Users¥Public¥Documents¥以下に「トレーニング用図面庫」フォルダを作成します。
C:¥Users¥Public¥Documents¥トレーニング用図面庫

トレーニング用図面庫以下に「図面庫 A」「図面庫 B」フォルダを作成します。



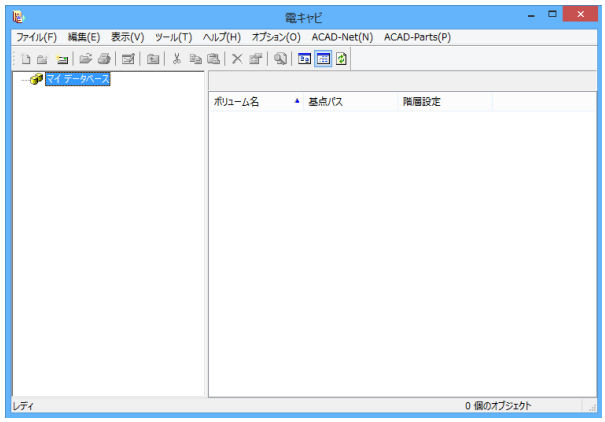
3-1-2. ボリュームの作成

電キャビ内にボリュームを作成します。
ボリューム(基点フォルダ)とは、電キャビで管理するフォルダ階層の最上階層のフォルダを表します。
本例では、マイデータベース以下に図面庫を作成します。図面庫の場所はローカルドライブ
″ C:¥Users¥Public¥Documents¥″以下としています。

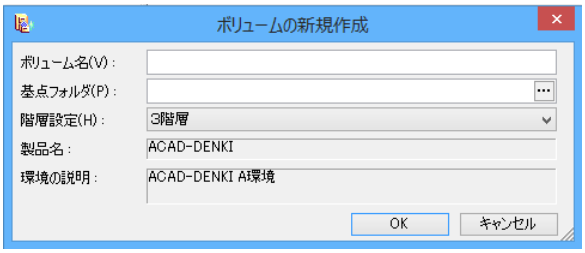
【操作手順】

1. デスクトップから電キャビのアイコンをダブルクリックして起動します。

2. [ファイル]-[新規作成]-[ボリュームの新規作成]を選択します。



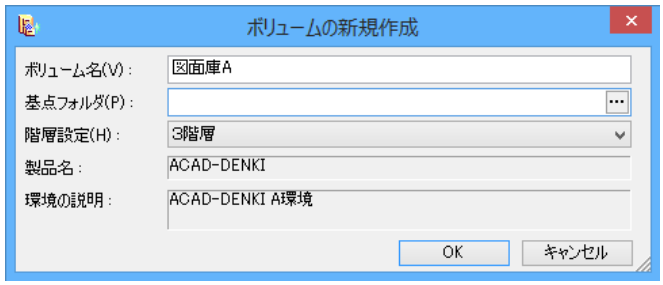
ボリュームの新規作成ダイアログが表示されます。



3. ボリューム名を入力します。

ボリューム名：図面庫 A

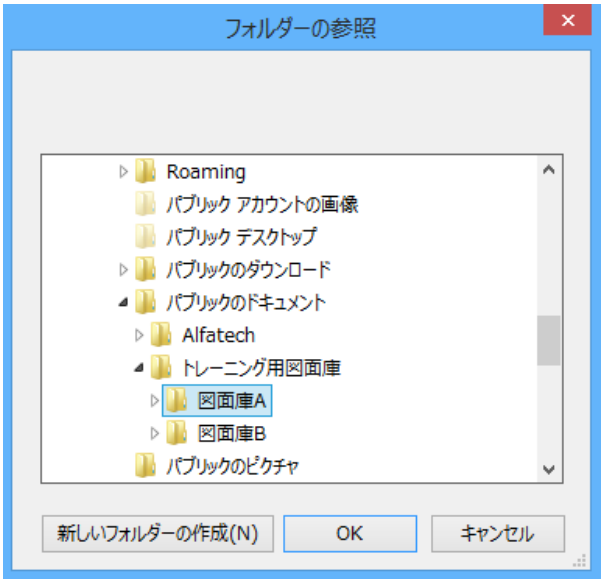
基点フォルダの ... をクリックします。



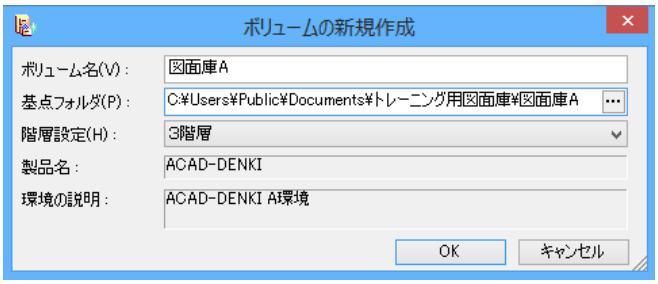
4. フォルダの参照ダイアログが表示されます。
先に作成したフォルダを選択します。

選択：C:¥Users¥Public¥Documents¥トレーニング用図面庫¥図面庫 A

OK をクリックします。

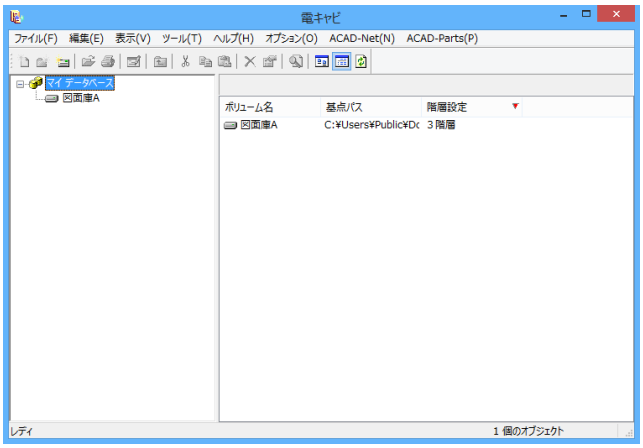


5. ボリュームの新規作成ダイアログに戻ります。
基点フォルダに選択したフォルダのパスが表示されます。
階層設定は"3 階層"を使用しますので変更しません。
(3 階層以外が表示されている場合は、3 階層に変更してください。)
OK をクリックします。



6. 電キャビ画面に戻ります。

マイデータベース以下にボリューム「図面庫 A」が作成されました。



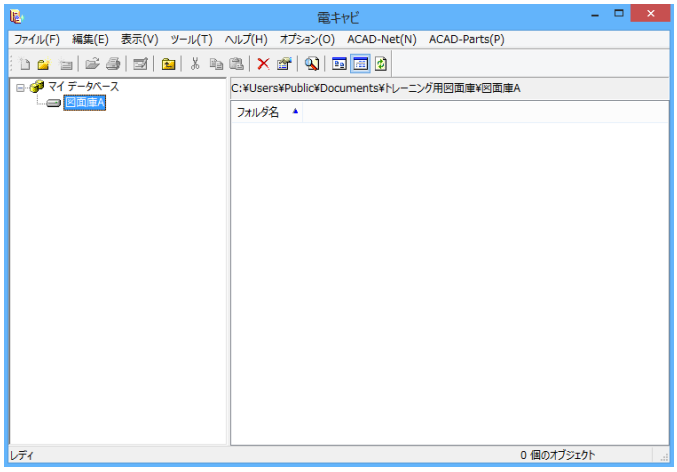
3-1-3. フォルダの新規作成

ボリューム以下に管理するサブフォルダを作成します。
ここでの階層は前章「2-1. 階層設定の表示と説明/2-5. 設定の編集の変更/2-5-1. 階層・プロパティ項目の設定」で設定した階層となります。

本章では、「3-1-2.ボリュームの作成」で階層名に設定した"3階層"に設定している3階層分のサブフォルダを作成していきます。

【操作手順】

1. 図面庫Aを選択します。



2. 1 階層目にあたるフォルダを作成します。
[ファイル]-[新規作成]-[フォルダの新規作成]を選択します。

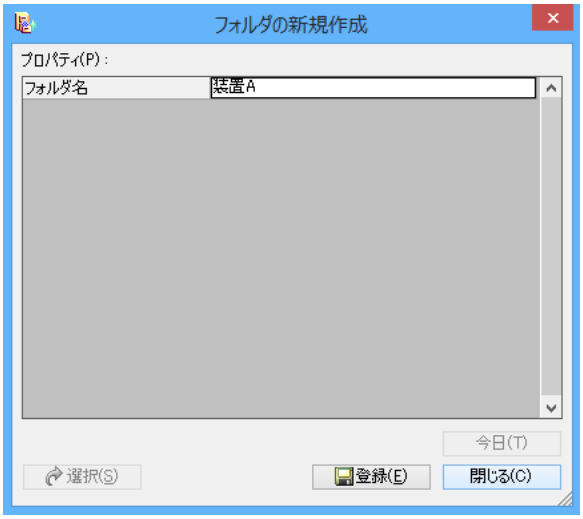
3. フォルダの新規作成ダイアログが表示されます。

※フォルダのプロパティの項目内容などは
「2-1.階層設定の表示と説明/2-5.設定の編集の変更/2-5-1.階層・プロパティ項目の設定」で設定します。

4. フォルダ名に名称を入力します。

フォルダ名：装置 A

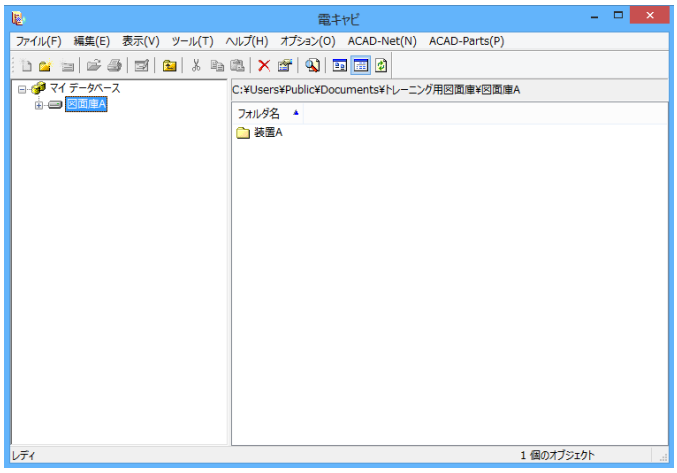
5. 登録(E) をクリックします。



6. 図面庫 A 以下に「装置 A」フォルダが作成されます。

「図面庫 A」の左側に表示されている[+]をクリックします。

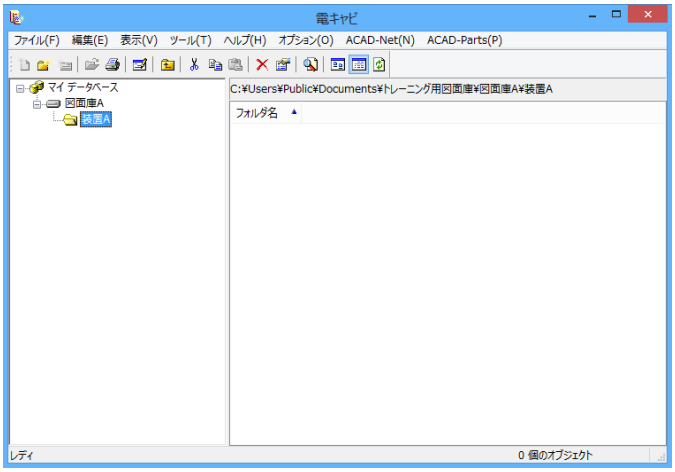
「装置 A」フォルダがツリー表示されます。



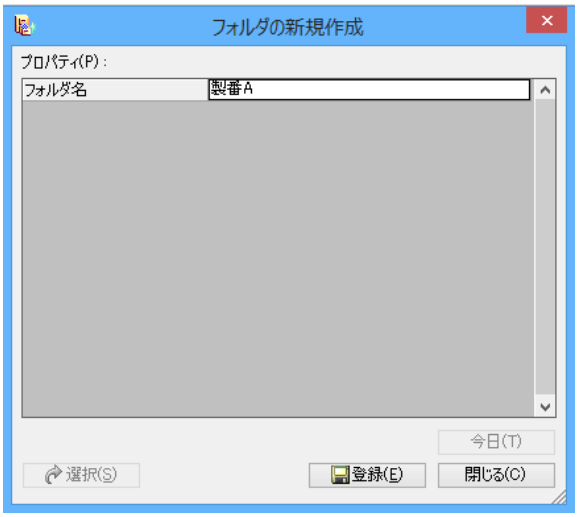
7. 2 階層目にあたるフォルダを作成します。

「装置 A」を選択します。

[ファイル]-[新規作成]-[フォルダの新規作成]を選択します。



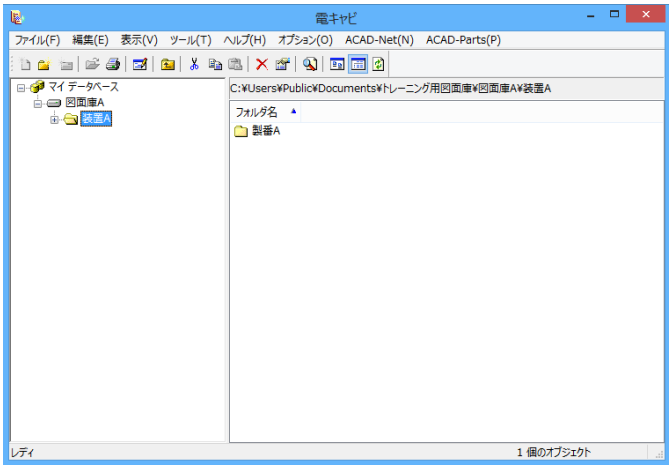
8. フォルダの新規作成ダイアログが表示されます。
フォルダ名を入力します。
フォルダ名:製番 A



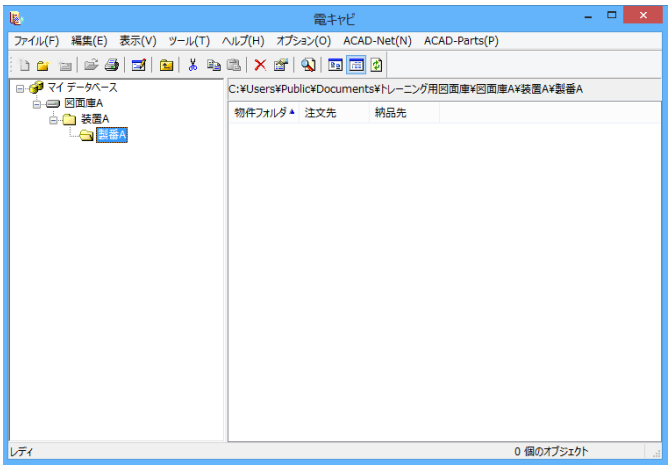
9. 登録(E) をクリックします。

10. 「製番 A」フォルダが作成されたことを確認してください。

「装置 A」の左側に表示されている[+]をクリックします。
「製番 A」フォルダがツリー表示されます。



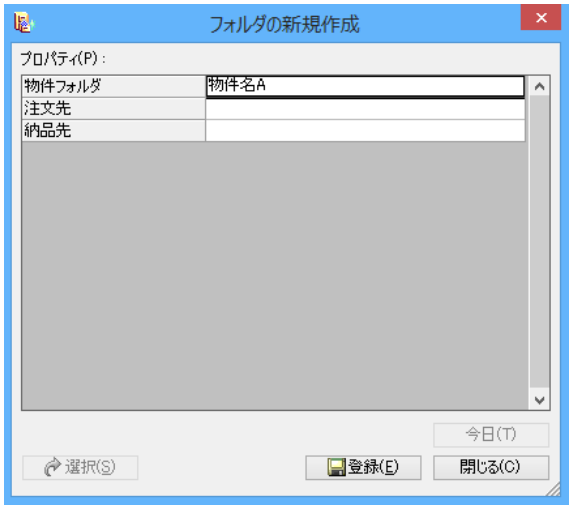
11. 3 階層目にあたるフォルダを作成します。
「製番 A」を選択します。



12. [ファイル]-[新規作成]-[フォルダの新規作成]をクリックします。

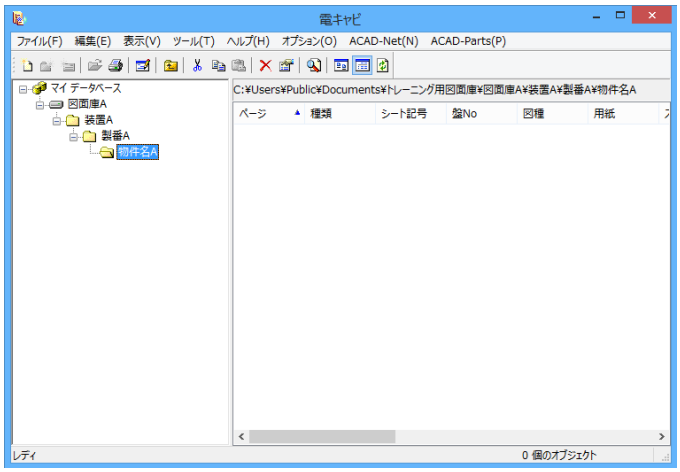
13. フォルダの新規作成ダイアログが表示されます。
フォルダ名を入力します。

物件フォルダ：物件名 A



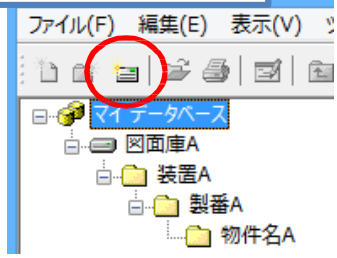
14. 登録(E) をクリックします。

15.「図面庫 A」(ボリューム)以下に管理階層分のフォルダが 3 階層作成出来たことになります。

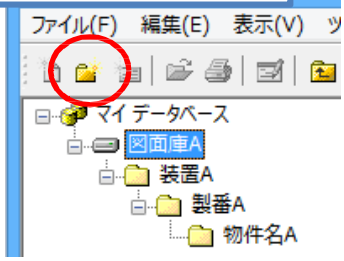


選択したフォルダ階層以下に作成できるものは決まっています。
「ボリュームの作成/フォルダの作成/ファイルの作成」などのメニューは選択フォルダ階層により選択状態・非選択状態が切り替わります。

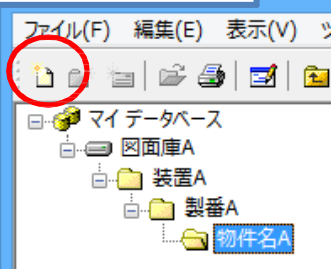
マイデータベースを選択（ボリューム作成が有効）



ボリューム・フォルダを選択（フォルダ作成が有効）



最下位フォルダを選択（ファイル作成が有効）



3-1-4. ファイルの新規作成

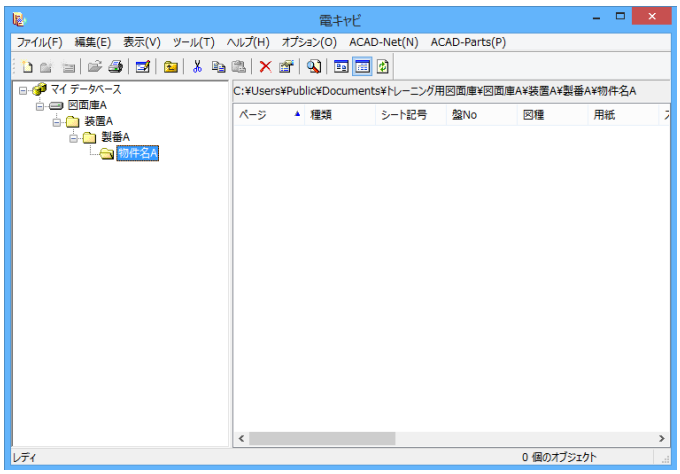
最下層のフォルダに新規ファイル(図面)を作成します。

【操作手順】

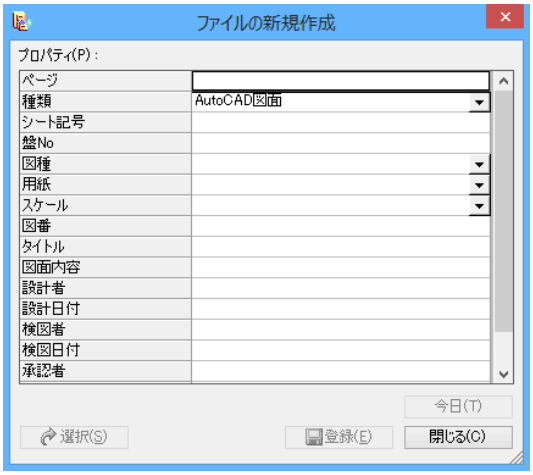
1. 最下層フォルダ"物件 A"を選択します。

[ファイル]-[新規作成]-[ファイルの新規作成]を選択します。

ファイルの新規作成に入力する情報は前章で確認した「2-1. 階層設定の表示と説明/2-5. 設定の編集の変更/2-5-1. 階層・プロパティ項目の設定」の設定です。

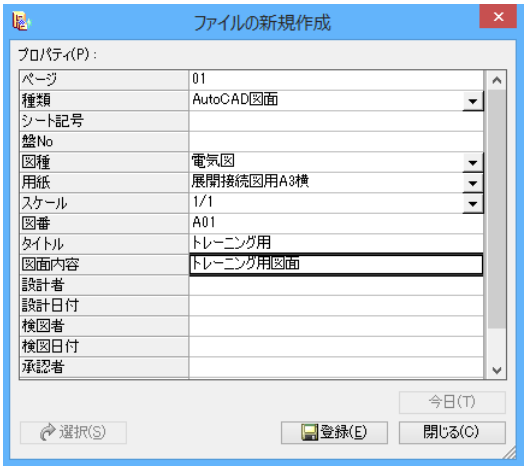


2. ファイルの新規作成ダイアログが表示されます。



3. プロパティの内容を以下のように入力・選択します。

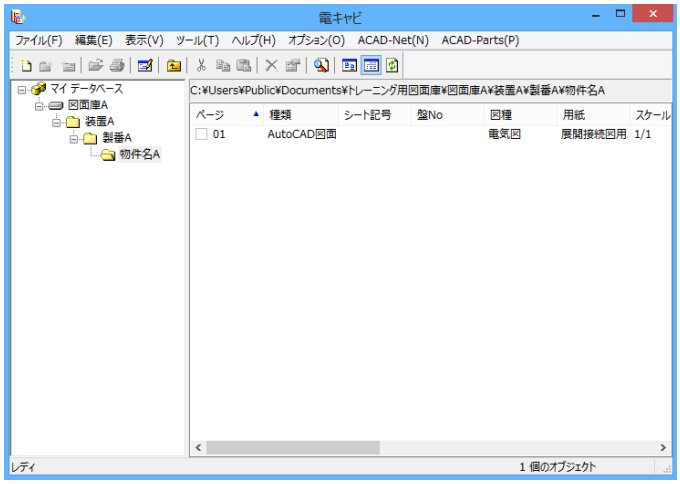
ページ(入力)：01
種類(選択)：AutoCAD 図面
図種(選択)：電気図
用紙(選択)：展開表接続図用 A3 横
スケール(選択)：1/1
図番:A01
タイトル:トレーニング用
図面内容:トレーニング用図面



4. 登録(E) をクリックします。

5. 新規ファイルが作成されたのが確認できます。

※電キャビで新規作成したファイルは、DWG としての実体はまだありません。
図面を開く操作を行って初めて DWG としての実体が作成されます。

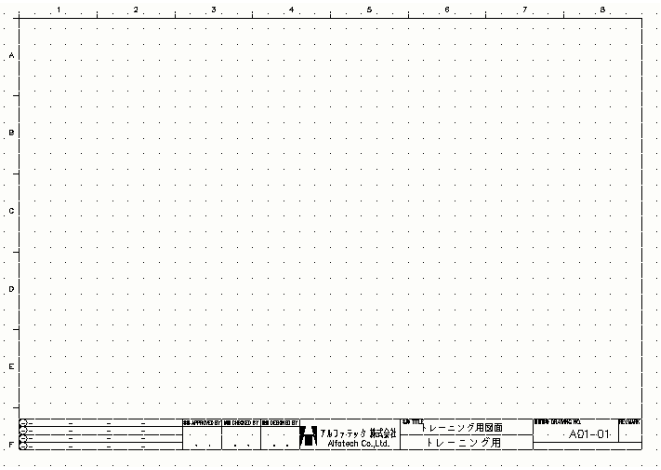


6. 作成したファイルを選択します。
[ファイル]-[開く]を選択します。

7. 関連付けられた製品環境が起動し、図面が開きます。

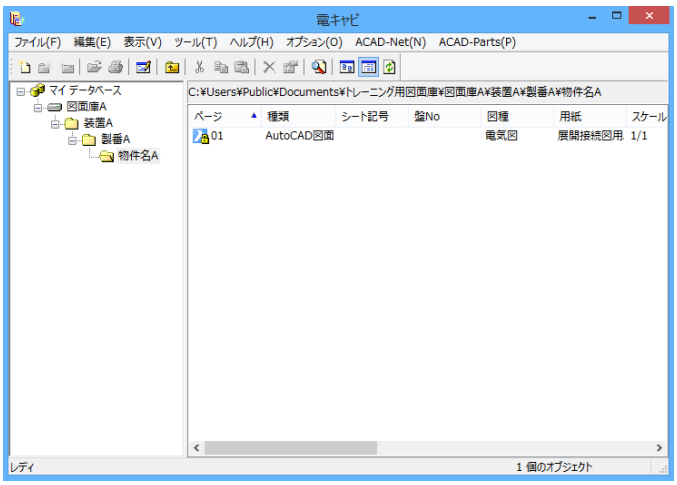
※先に AutoCAD などを起動していた場合でも、後から電キャビを起動し、図面を開くと、新規に AutoCAD を起動させ、図面を開きます。

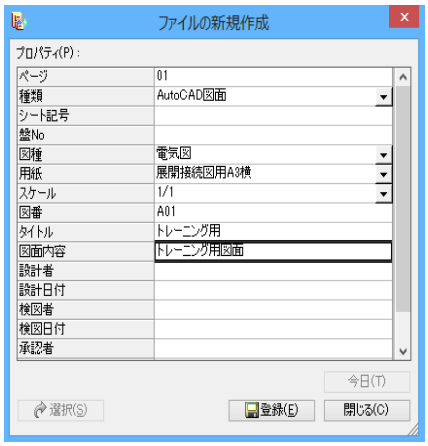
※電キャビを起動し、図面を開いた場合、電キャビを次に終了するまで、初回起動と同じ AutoCAD 画面内に図面が開かれます。



8. 電キャビに戻ります。

[表示]-[最新の情報に更新]を選択します。
アイコンが表示されます。





ページ　:図面ファイル名です。
種類　　:起動するアプリケーションの種類です。
種類は階層設定「アプリケーション」で設定します。
図種　　:図面の種類です。
用紙　　:図枠の選択です。
スケール：図面のスケールを選択します。

図種・用紙・スケールの選択表示は
「2-5-2.図種・用紙/スケールの設定」で設定します。

プロパティ項目は、ACAD-DENKIなどの図枠に登録された図題項目に対し、「階層設定」の「図枠転記設定」で設定した内容で図枠転記されます。

４章.フォルダ・ファイル編集

電キャビの画面上でボリューム・フォルダ・ファイルの編集作業を行います。

4-1. ボリューム

電キャビでファイル・フォルダを管理するための基本となるボリューム(基点フォルダ)について説明します。

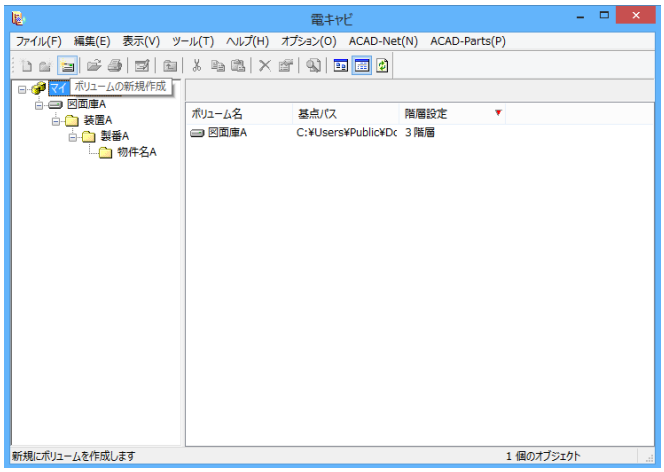
4-1-1. ボリュームの追加

【操作手順】

1. 左ペインの「マイデータベース」を選択します。

ボリュームの新規作成アイコン が選択できる状態になります。

をクリックします。



2. ボリュームの新規作成ダイアログが表示されます。

ボリューム名：図面庫 B

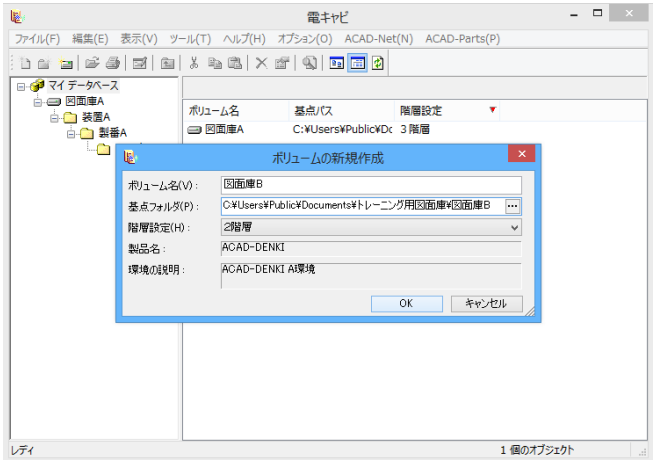
基点フォルダ：

C:¥Users¥Public¥Documents¥トレーニング用図面庫¥図面庫 B

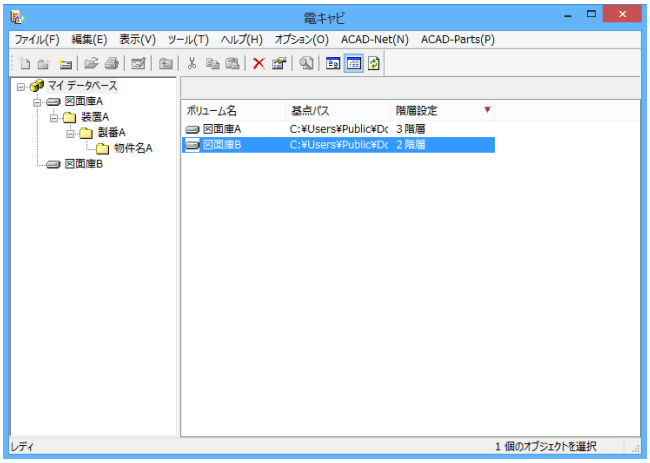
階層設定：2 階層

※「3-1-1. 図面庫フォルダの作成」で作成済みフォルダを選択します。

OK をクリックします。



3. 新しいボリューム「図面庫 B」が作成されたのが確認できます。



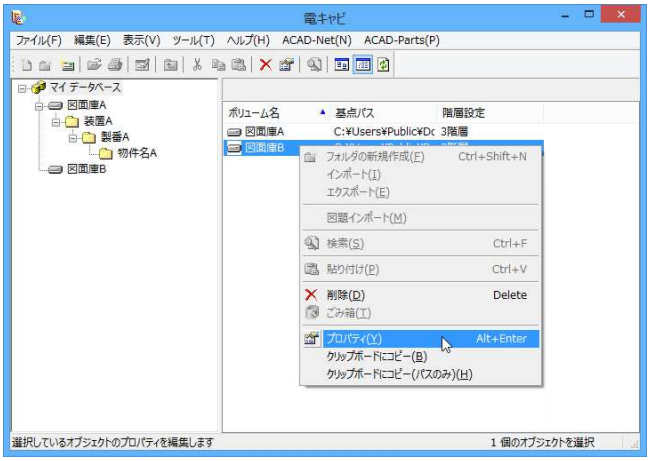
4-1-2. ボリュームのプロパティ

ボリュームのプロパティを表示します。ボリュームのプロパティでは電キャビ上で表示するボリュームの名称を変更することが出来ます。
本章では確認のみです。

1.「図面庫 B」を選択します。

右クリックして表示されるメニューからプロパティを選択します。

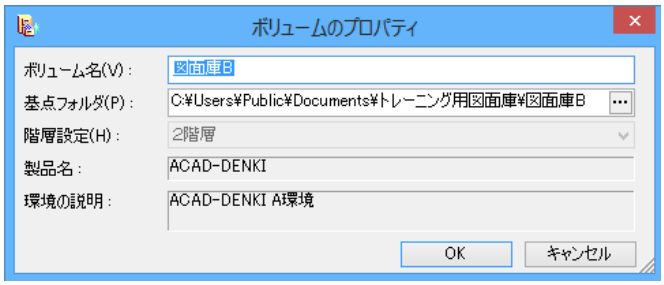
※図面庫 B を選択し、[ファイル]-[プロパティ]を選択でも同じです。



2. ボリュームのプロパティダイアログが表示されます。

※右図例は、ボリューム名・基点フォルダの変更ができるユーザでの表示です。
変更権限がない場合はグレーアウト表示になります。
階層設定の変更は出来ません。
ここでは確認のみします。

OK をクリックします。



4-1-3. ボリュームの削除(階層設定の変更)

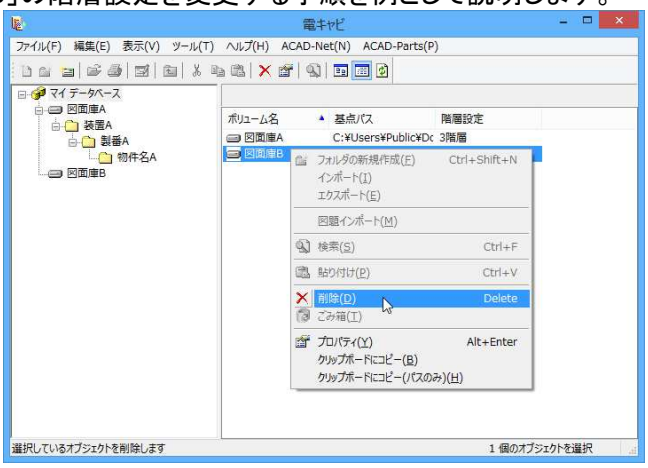
基点フォルダの設定・階層設定を変更する場合、ボリュームを削除・新規作成を行います。
作成したボリュームの階層設定を変更することはできません。変更する場合は、既存のボリュームを削除して、新たにボリュームとして登録するときに正規の階層設定を指定します。

本例では、前章で作成したボリューム「図面庫B」の階層設定を変更する手順を例として説明します。

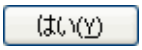
1.「図面庫 B」を選択します。

右クリックして表示されるメニューから削除を選択します。

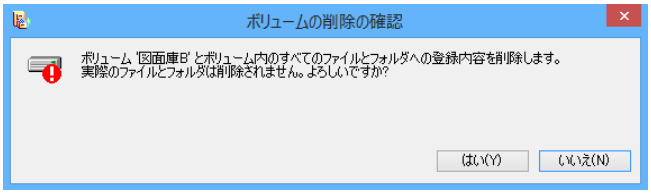
をクリックしても同じです。



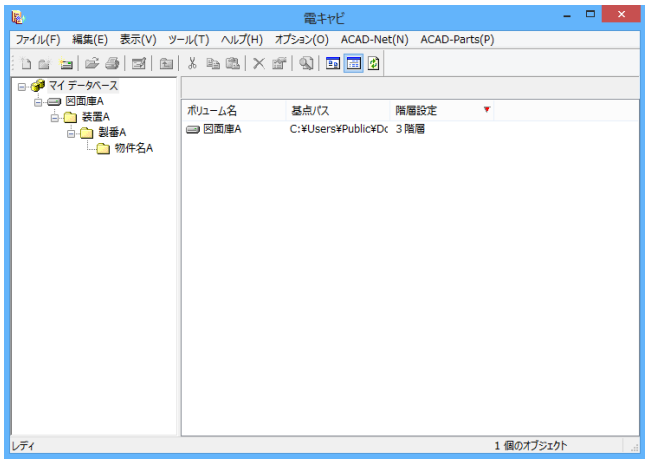
2. ボリュームの削除確認ダイアログが表示されます。



をクリックします。

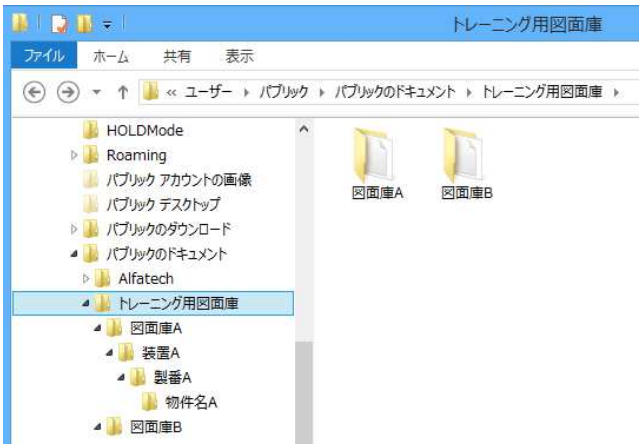


3. ボリューム「図面庫 B」が削除されたのが確認できます。



※右図は、エクスプローラを表示した例です。

※電キャビ上でボリュームを削除しても、電キャビ上の表示から削除されるだけで、ボリュームに割り付けていた実際のフォルダは削除されません。



4. (ボリュームの新規作成)をクリックします。

ボリュームの新規作成ダイアログが表示されます。

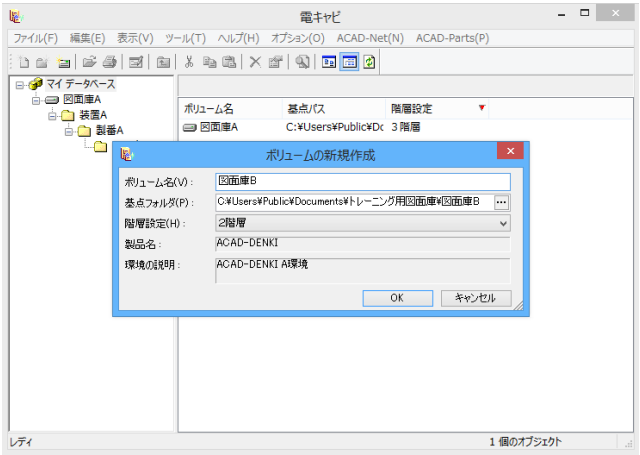
ボリューム名：図面庫 B

基点フォルダ：

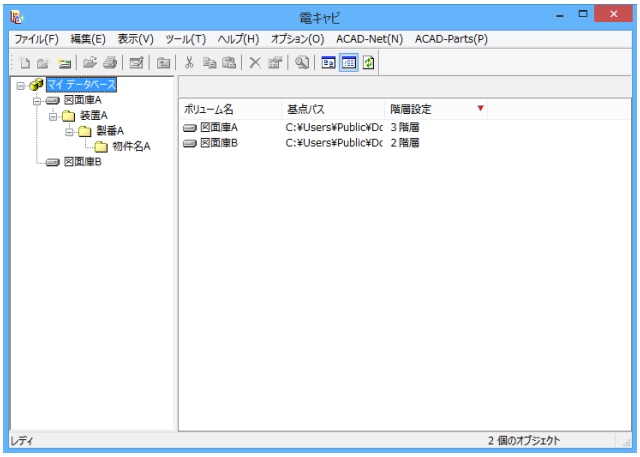
C:¥Users¥Public¥Documents¥トレーニング用図面庫¥図面庫 B

階層設定：2 階層

をクリックします。



5. これで、ボリューム「図面庫 B」の階層設定が「2 階層」で再設定されました。



※ボリュームを削除した場合、"元に戻す"操作はできません。
再作成となります。

4-2. フォルダ

ボリューム以下に管理されるフォルダに対しての編集作業を行います。

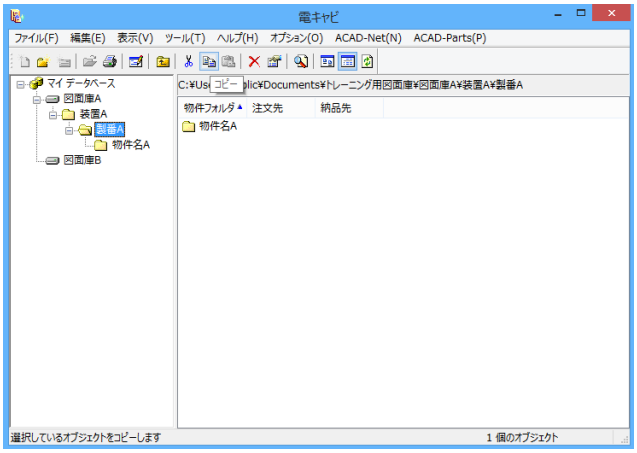
4-2-1. フォルダのコピー・貼り付け

同じボリューム内のフォルダ間でコピー・貼り付けを行います。

【操作手順】

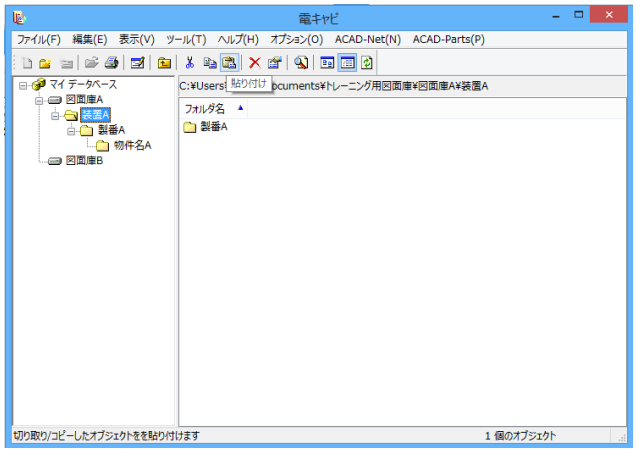
1. ボリューム「図面庫 A」の 2 階層目にあたる「製番 A」を選択します。

(コピーアイコン)をクリックします。



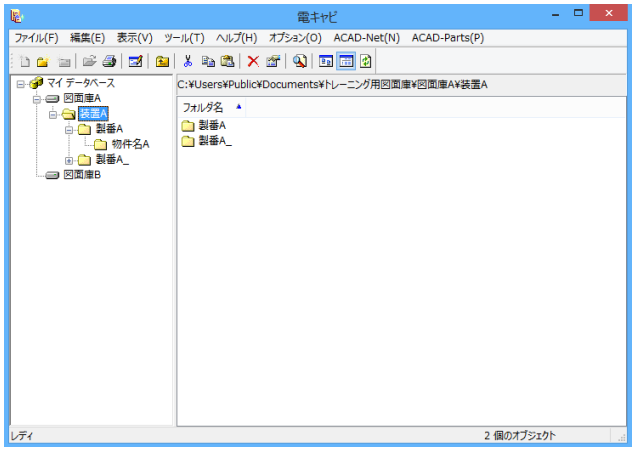
2. ボリューム「図面庫 A」の 1 階層目にあたる「装置 A」を選択します。

(貼り付けアイコン)をクリックします。



3. 「装置 A」以下に「製番 A」以下のフォルダが張り付いたことが確認できます。

※コピー先に同名のフォルダがある場合は、フォルダ名に"_(アンダーバー)"がつきます。

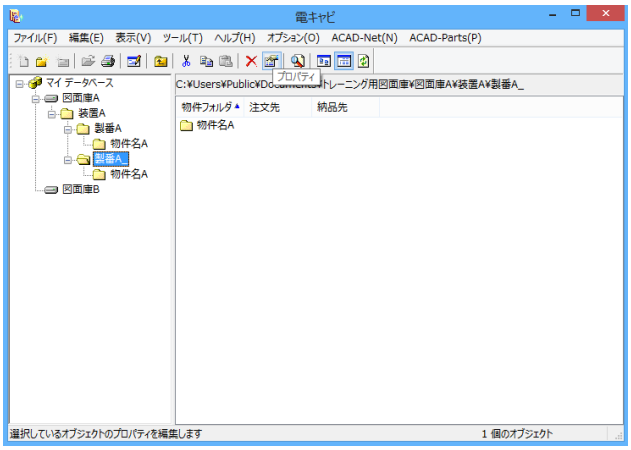


4-2-2. フォルダのプロパティ

フォルダのプロパティ情報を変更します。

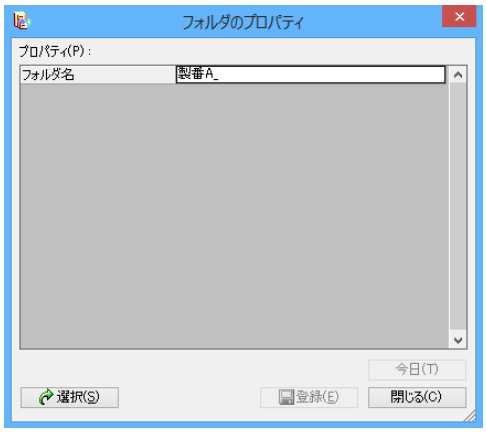
1. 前章でコピー・貼り付けした「製番 A_」フォルダを選択します。

(プロパティアイコン)をクリックします。

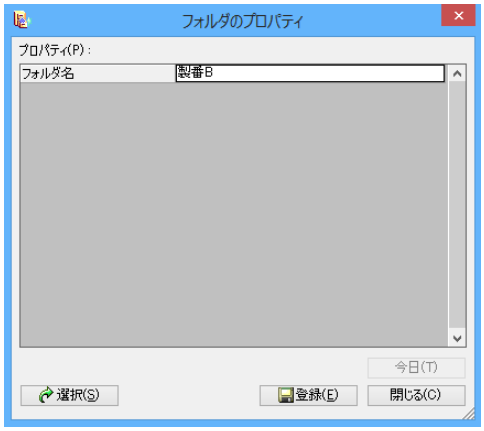


2. フォルダのプロパティダイアログが表示されます。
フォルダ名を変更します。

製番 A -> 製番 B

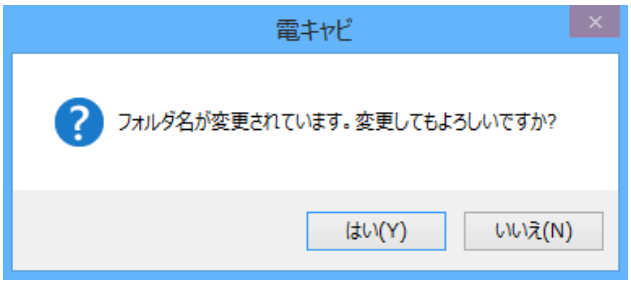


3. 登録(E) をクリックします。



4. 確認のダイアログが表示されます。

はい(Y) をクリックします。

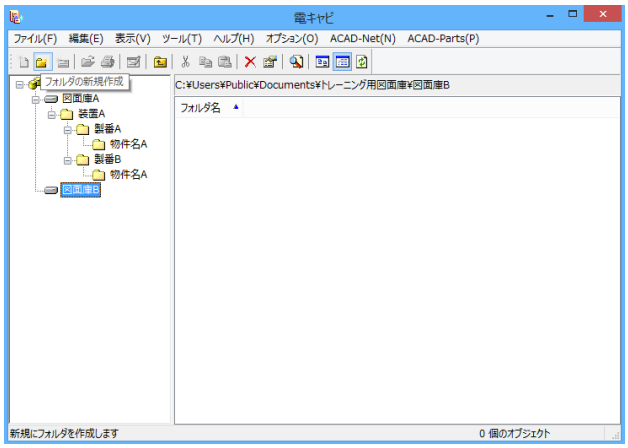


4-2-3. フォルダの新規作成

ボリューム以下に管理するフォルダを新規作成します。

1. 図面庫 B を選択します。

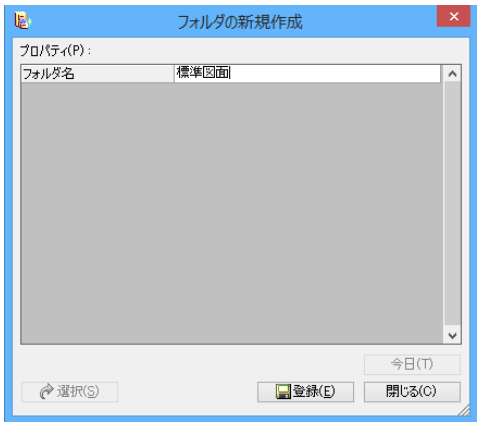
(フォルダの新規作成)をクリックします。



2. フォルダの新規作成ダイアログが表示されます。
フォルダ名に管理する名称を入力します。

フォルダ名：標準図面

登録(E) をクリックします。

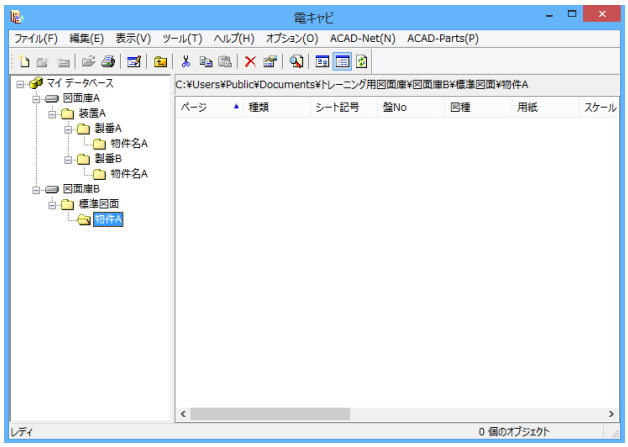


3. 同様の手順で、「標準図面」の後に、「物件 A」フォルダを作成します。

右図は、「図面庫 B」-「標準図面」の下に「物件 A」フォルダを作成した例です。

※「図面庫 B」は"2 階層"設定にしていますので、ファイルを登録・管理するフォルダは「物件 A」フォルダの階層になります。

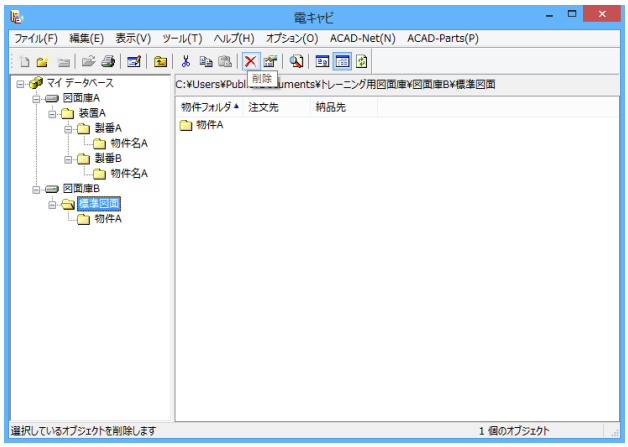
※違う階層設定間のボリューム以下にあるフォルダのコピーはできません。
本例の場合、「図面庫 A」以下にあるフォルダを"コピー"して、「図面庫 B」以下に"貼り付け"ることはできません。



4-2-4. フォルダの削除

1. 「図面庫 B」の「標準図面」以下を削除します。
「標準図面」フォルダを選択します。

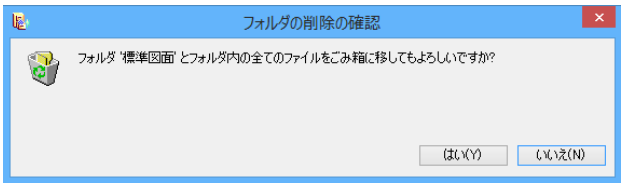
(削除)をクリックします。



2. 確認のダイアログが表示されます。

(はい(Y)) をクリックします。

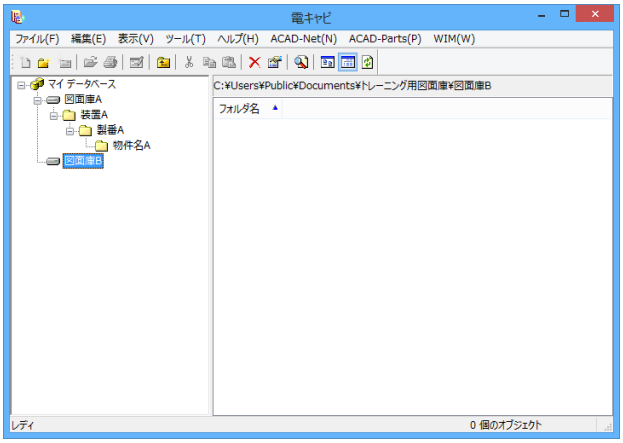
選択したフォルダ以下の階層がごみ箱に移動されます。



※電キャビ上で削除されたフォルダ・ファイルは、各ボリューム以下にあるごみ箱フォルダに移動します。ごみ箱フォルダ($Trash{*})は電キャビ上には表示されません。

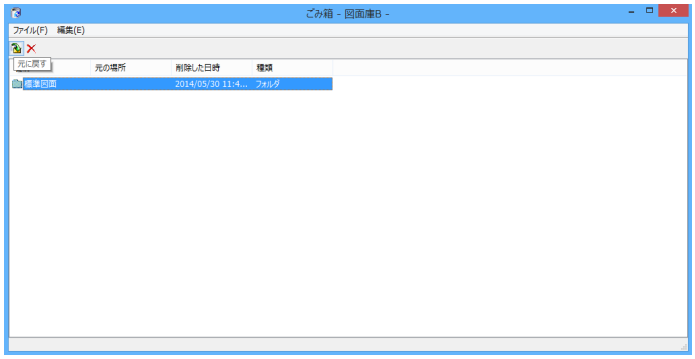
4-2-5. ごみ箱から元に戻す

1. 「図面庫 B」を選択します。
[ツール]-[ごみ箱]を選択します。



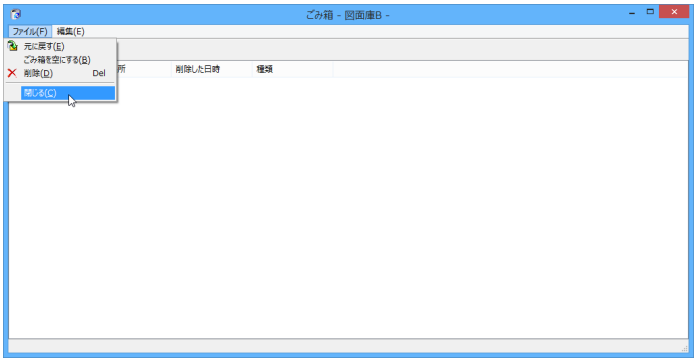
2. ごみ箱-図面庫 B-ダイアログが表示されます。
元に戻す「標準図面」フォルダを選択します。

(元に戻す)をクリックします。

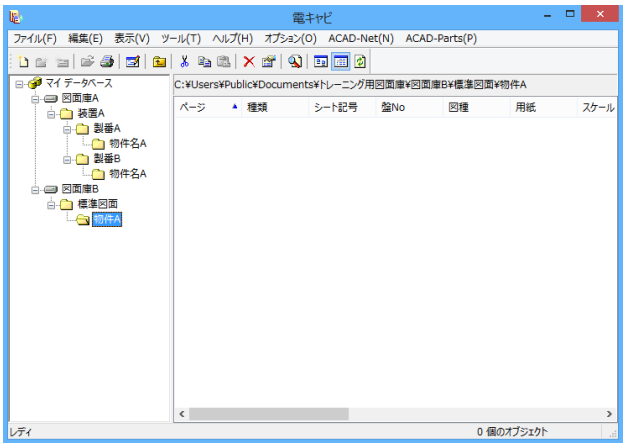


3. ごみ箱が空になります。
[ファイル]-[閉じる]を選択します。

ごみ箱ダイアログが終了します。



4. 削除した「標準図面」以下のフォルダが元の場所に戻ったことが確認できます。



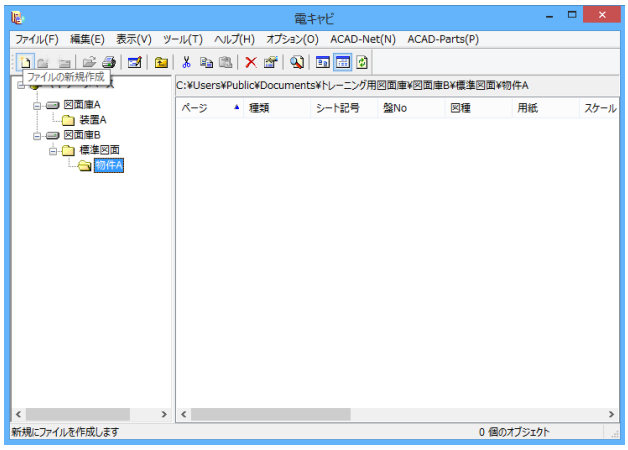
4-3. ファイル

ファイルを管理・登録する場所は、各ボリュームの最下位層フォルダになります。
"3階層"設定を指定している「図面庫A」では3階層目のフォルダになります。
また、"2階層"設定を指定している「図面庫B」では、2階層目のフォルダになります。
ファイルを管理・登録するフォルダにファイルの新規作成、コピー/貼り付け、その他の編集を行います

4-3-1. ファイルの新規作成

1. 「図面庫 B」-「標準図面」-「物件 A」フォルダを選択します。

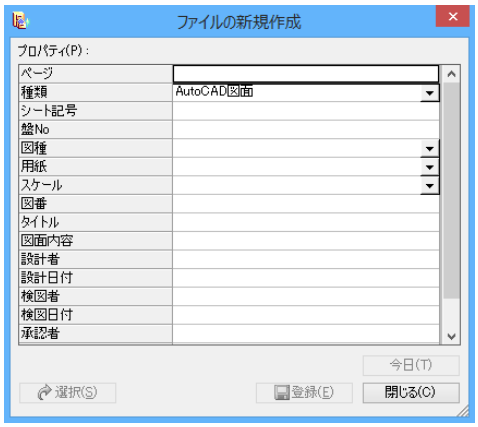
(ファイルの新規作成)をクリックします。



2. ファイルの新規作成ダイアログが表示されます。

それぞれの項目を入力・選択します。

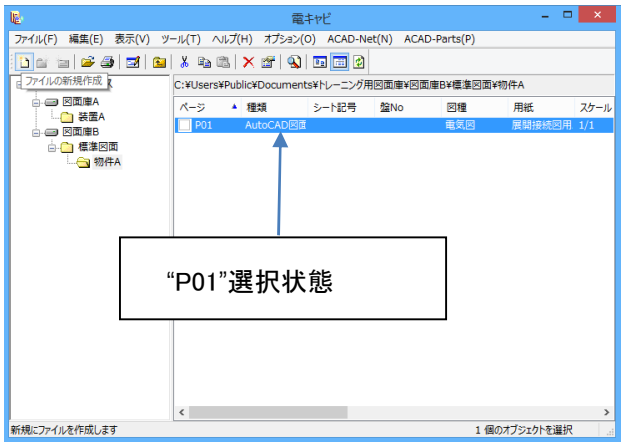
ページ : P01(入力)
図種　: 電気図(選択)
用紙　: 展開接続図 A3 横(選択)
スケール : 1/1(選択)



3. 登録(E) をクリックします。

4. "P01"ファイルが作成されたことが確認できます。
右ペインの"P01"を選択した状態にします。

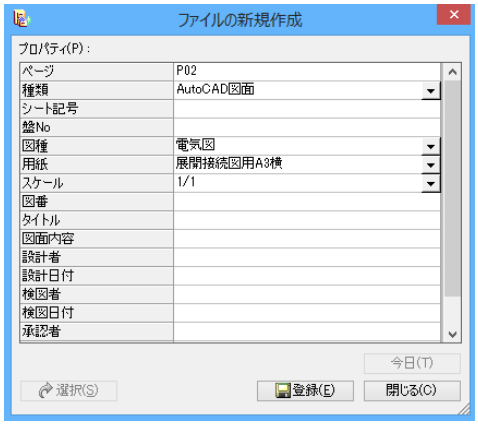
(ファイルの新規作成)をクリックします。



5. ファイルの新規作成ダイアログが
表示されます。
"P01"を選択した状態で新規作成していますので、"P01"のプロパティ情報がページ以外すべて引き継がれています。

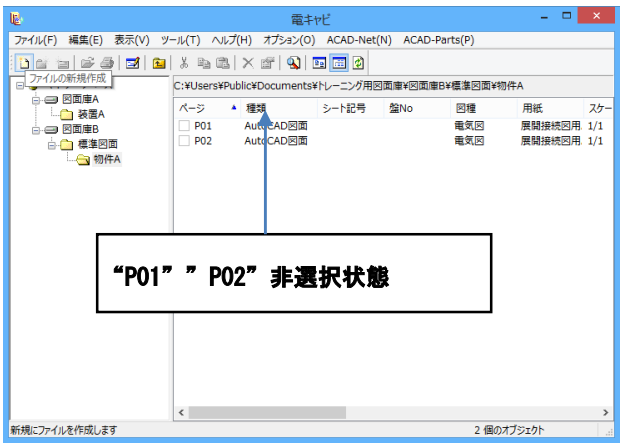
ページ項目を入力します。
ページ：P02(入力)

登録(E) をクリックします。



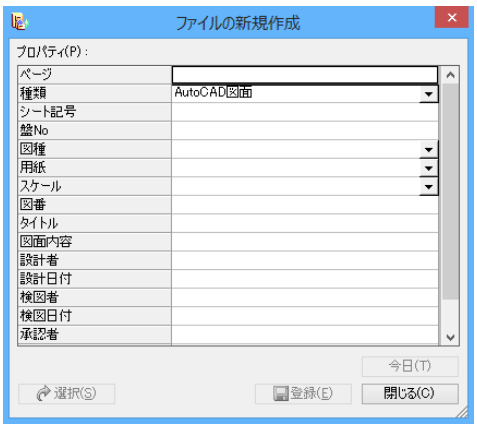
6. "P01""P02"が選択されていない
状態にします。

(ファイルの新規作成)をクリックします。



7. ファイルの新規作成ダイアログが
表示されます。

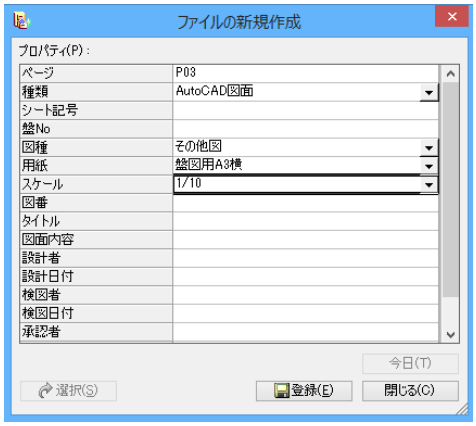
ファイルを選択せずに「新規作成」していますので、プロパティ情報は空の状態です。



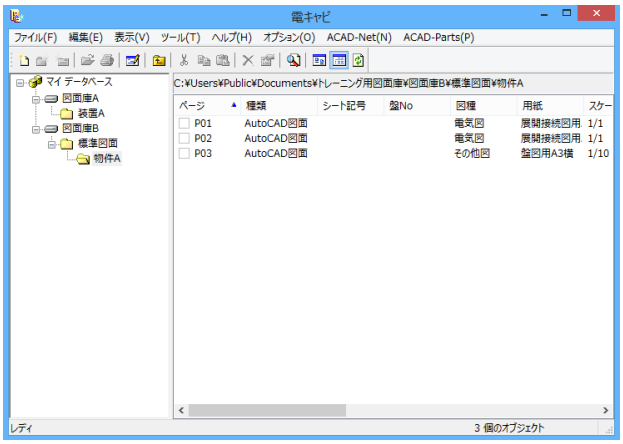
8. プロパティ項目を入力・選択します。

ページ　：P03(入力)
図種　　：その他図
用紙　　：盤図用 A3 横
スケール：1/10

登録(E) をクリックします。

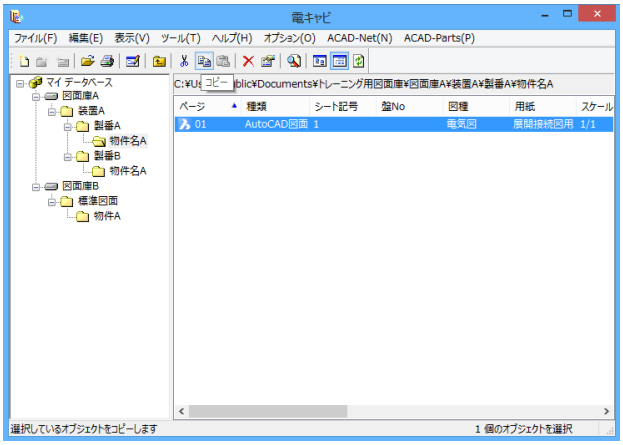


9. ″P03″ファイルが作成されたことが確認できます。



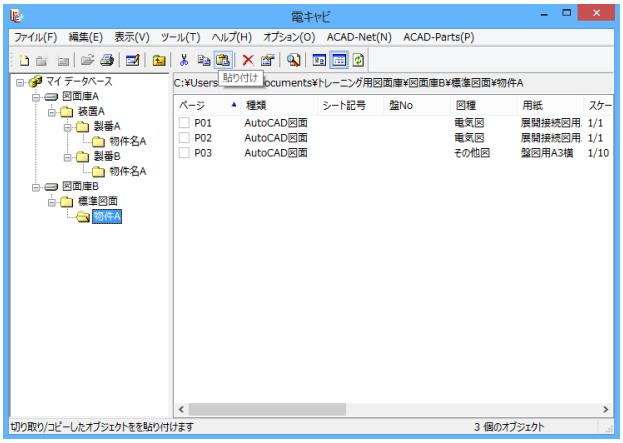
4-3-2. ファイルのコピー・貼り付け

1. 「図面庫 A」-「装置 A」-「製番 A」-「物件 A」フォルダを選択します。
右ペインに表示される″01″を選択します。
(コピー)をクリックします。

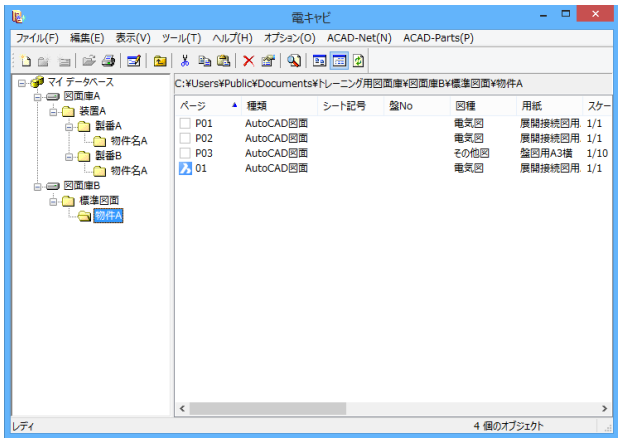


2. 「図面庫 B」-「標準図面」-「物件 A」フォルダを選択します。

(貼り付け)をクリックします。



3. ″01″ファイルがコピーされたことが確認できます。



【補足】

■ページの左横に表示されるアイコンの種類について■

（アイコンが表示されない状態）
:プロパティ情報のみが保存され、DWGファイルは未作成の表示です。
ファイルを電キャビで「新規作成」した場合や、DWGファイルをエクスプローラなどで削除した場合にアイコンが表示されない状態になります。

（図面アイコンが表示されている状態）
:通常の表示です。図面ファイルが存在し、電キャビで編集可能な状態の時の表示です。

（図面アイコンに鍵マークが表示されている状態）
:図面がAutoCADで開かれている、または、「読取専用」などで編集が出来ない時の表示です。

※図面アイコンの形状・色はご使用のOSでDWGに関連付けられたアプリケーション(ベースCAD /等）に準拠します。

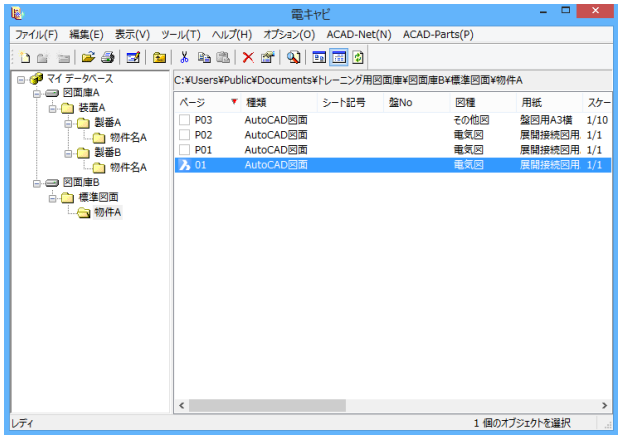
■ボリューム間のファイルのコピーについて■
違う階層設定を使用しているボリューム間でも、ファイルのコピー・移動は可能です。
ファイルを異階層設定フォルダ間で、コピー・移動したときは、プロパティ情報の必須項目(ページ、種類、シート記号、盤No.、図種、用紙、スケール)のみがコピー・移動され、任意に追加した項目は空白表示になります。
※違う階層設定を使用しているボリューム間ではフォルダのコピー・移動は出来ません。

4-3-3. ファイルのソート

1. [ページ]項目をクリックします。

クリックした場所でソートされます。

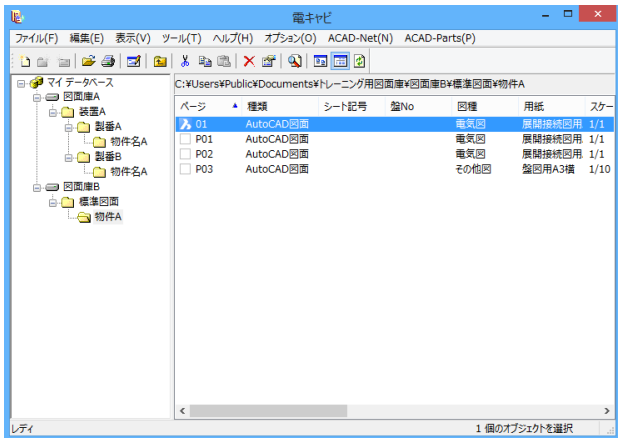
ソート項目に（降順)が表示されているのが確認できます。



2. 再度[ページ]項目をクリックします。

クリックした場所でソートされます。

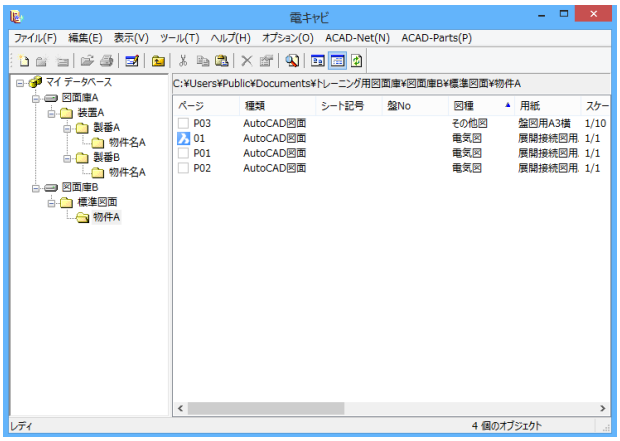
ソート項目に（昇順)が表示されているのが確認できます。



3. [図種]項目をクリックします。

クリックした場所でソートされます。

ソート項目に (昇順)が表示されているのが確認できます。

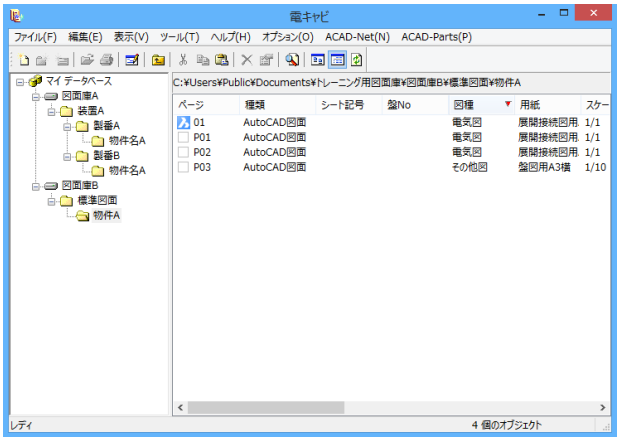


4. 再度[図種]項目をクリックします。

クリックした場所でソートされます。

ソート項目に (降順)が表示されているのが確認できます。

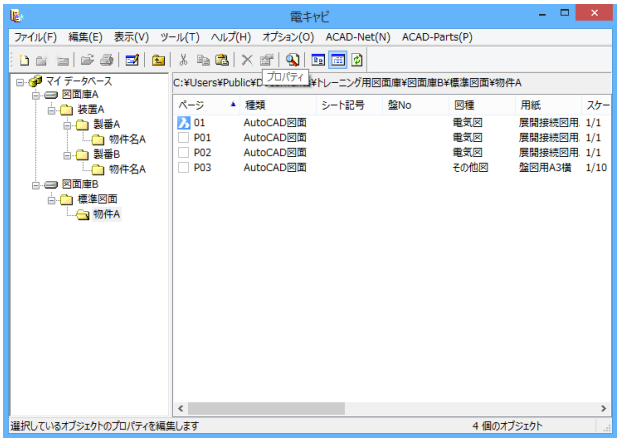
※ファイル名のソートは、表示されている項目のどこでも行えます。



4-3-4. プロパティ変更と図枠転記

1. ″01″を選択します。

(プロパティ)をクリックします。



2. ファイルのプロパティダイアログが表示されます。

シート記号などを入力します。

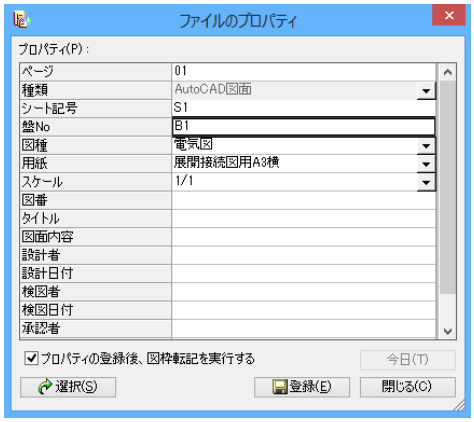
3. プロパティを下記のように変更します。

シート記号：S1

盤 No　　：B1

「プロパティの登録後、図枠転記を実行する」にチェックを入力します。

登録(E) をクリックします。



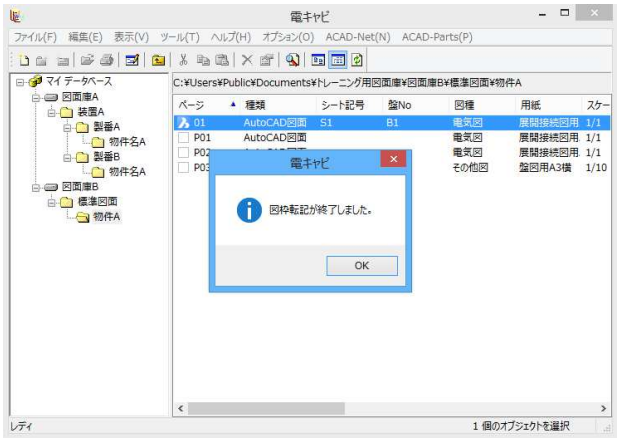
※図枠の図題欄に転記する情報がある場合に「プロパティの登録後、図枠転記を実行する」にチェックを入力しておくと、プロパティ登録と同時に図枠転記を実行することが出来ます。

※個別で行う場合は、電キャビ上でファイルを選択し、[ツール]-[図枠転記]を実行します。

4. ファイルのプロパティダイアログが終了します。

図枠転記が実行され、終了確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。



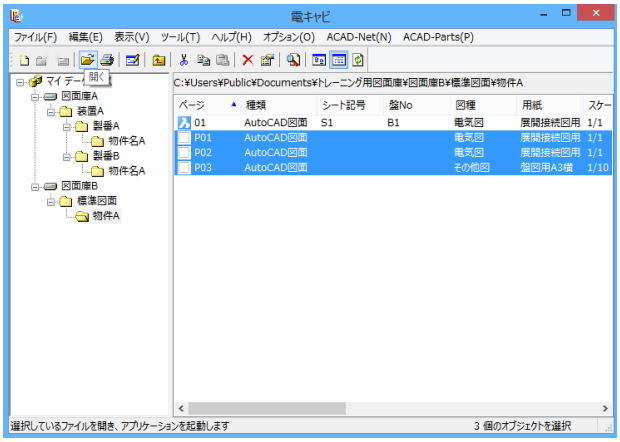
4-3-5. ファイルを開く

1. 複数ファイルを 1 度に開きます。

開くファイルを選択します。

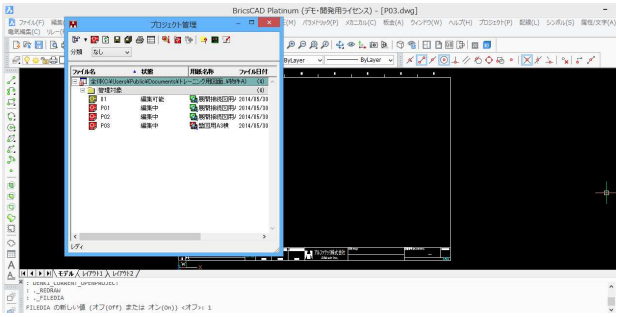
右図では、P01，P02，P03 を選択しています。

をクリックします。

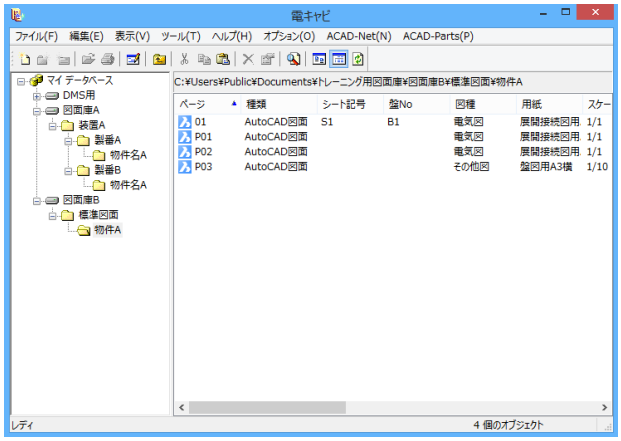


2. 関連付けている環境の製品で
図面が開きます。
右図は ACAD-DENKI で起動した例です。
図面を開いた後、[プロジェクト]-[カレントページで開く]を実行し、プロジェクトを表示させている例です。

確認後、ACAD-DENKI を終了します。



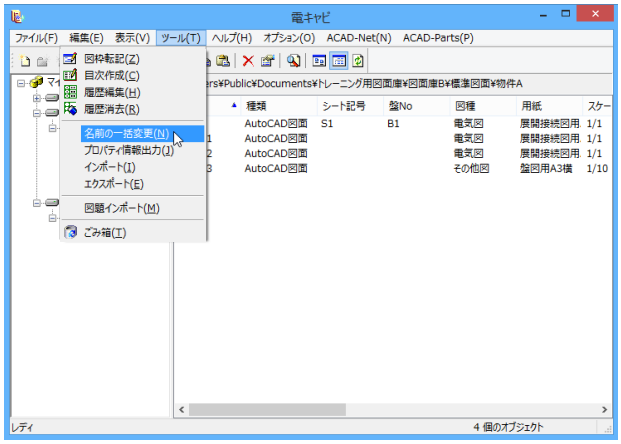
3. をクリックします。
ページの左側に表示されるアイコンが、に更新されます。



4-3-6. 名前の一括変更

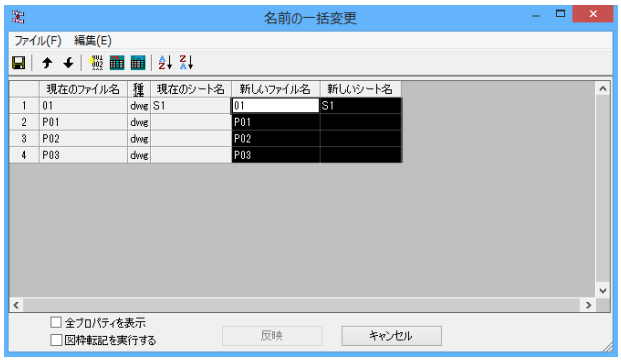
1. 物件 A フォルダ内にあるファイルのシート名を変更します。
「物件 A」フォルダを選択します。
[ツール]-[名前の一括変更]を選択します。

名前の一括変更ダイアログが表示されます。



2. シート名を変更する行を選択します。
右図を参考に 4 行すべてを選択します。

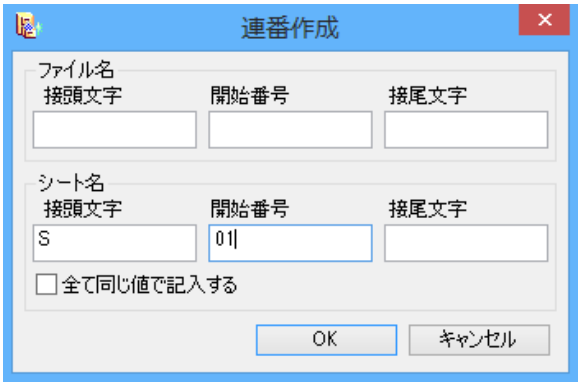
をクリックします。



3. 連番作成ダイアログが表示されます。
シート名を入力します。

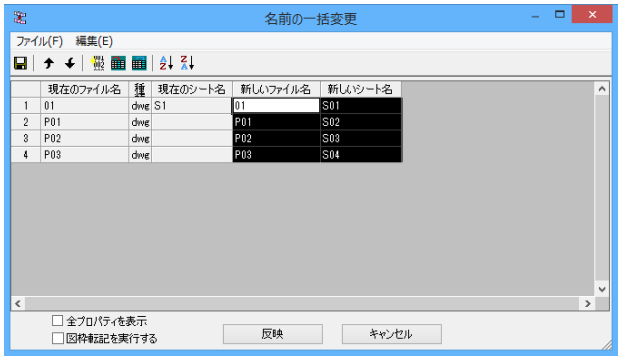
接頭文字：S
開始番号：01

OK をクリックします。



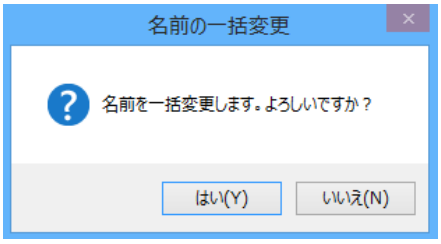
4. シート名が連番に変更されたのが確できます。

反映 をクリックします。



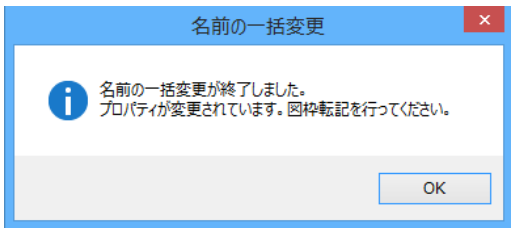
5. 確認のダイアログが表示されます。

はい(Y) をクリックします。



6. 確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。



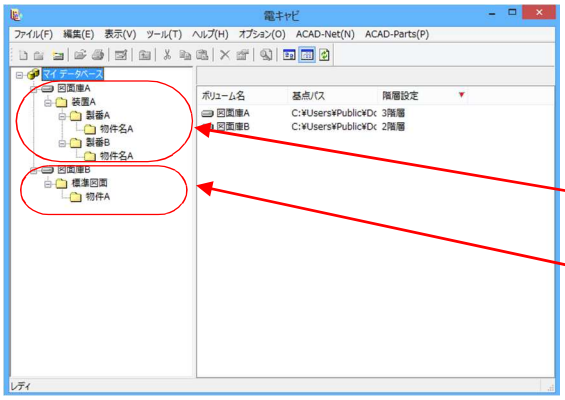
7. 名前の一括変更ダイアログが表示されます。

キャンセル をクリックします。

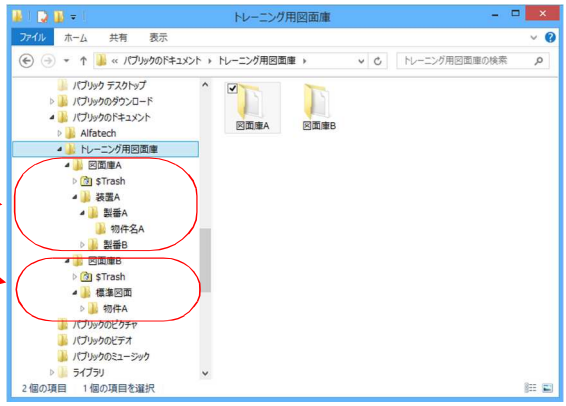
名前の一括変更ダイアログが終了します。

※電キャビでボリューム以下に作成したフォルダはエクスプローラにも同じ名称で作成されます。
以下はその対比です。

電キャビ画面



エクスプローラ画面



※エクスプローラで表示されている$Trash{*}フォルダは電キャビのごみ箱フォルダです。
$Trash{*}を削除されると、ごみ箱が空になります。

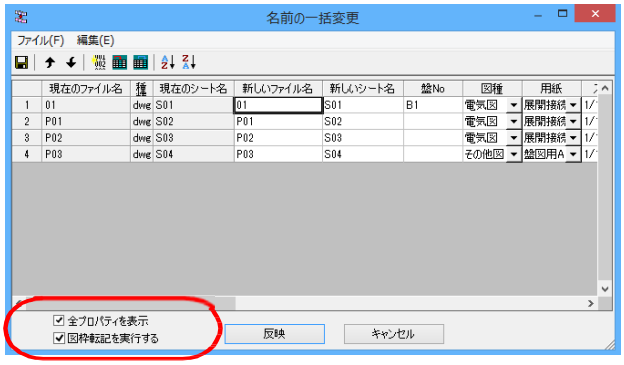
※ご注意

電キャビでフォルダ名称を変更するとエクスプローラ上でも変更されていますが、エクスプローラでフォルダ名称を変更した場合は電キャビには反映されません。
これは、電キャビのフォルダ構造-設定がデータベースに登録-管理されているからです。
エクスプローラから電キャビで使用しているフォルダの削除、または名称の変更は行わないでください。
必ず電キャビからフォルダの削除や名称変更を行ってください。

（補足）

□全プロパティを表示
□図枠転記を実行する

本設定にチェックを入力した場合、右図のような表記になります。



□全プロパティを表示

名前の一括変更ダイアログ内のファイル名すべてのプロパティを表示します。
ここで編集することも可能です。

□図枠転記を実行する

[反映]と同時に図枠転記が実行されます。
「新しいファイル名」「新しいシート名」
プロパティ情報などが図枠転記されます。

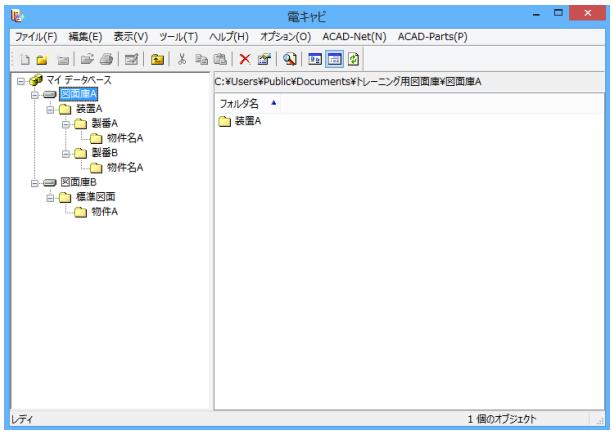
4-4. 検索

電キャビで管理するフォルダ内から検索項目を指定して図面を検索します。

4-4-1. フォルダの検索

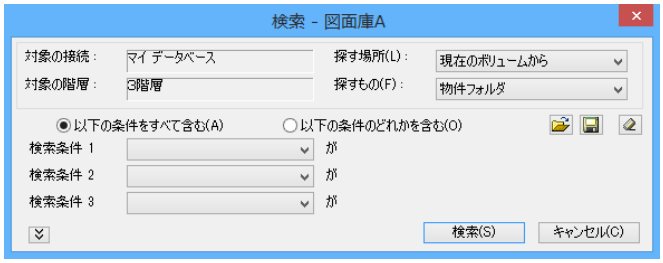
1. [検索]を実行するボリュームを選択します。
右図では"図面庫 A"を選択しています。

[編集]-[検索]を選択します。



2. 検索ダイアログが表示されます。
検索条件を指定します。

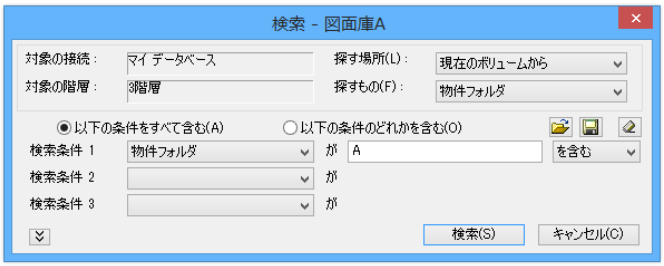
探す場所 :現在のボリュームから(選択)
探すもの :物件フォルダ(選択)
検索条件 1 :物件(選択)



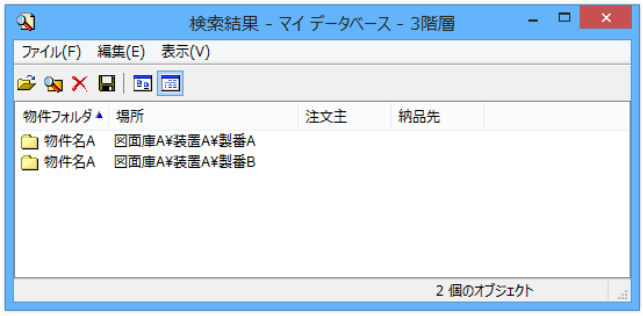
3. 検索条件を指定するとテキストを入力する項目が表示されます。

条件 : A(入力)
[を含む](選択)

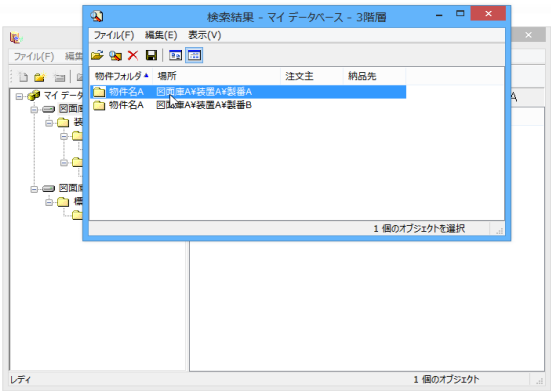
検索(S) をクリックします。



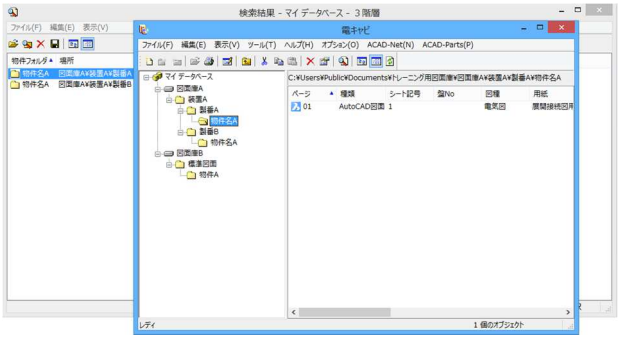
4. 検索結果ダイアログが表示されます。



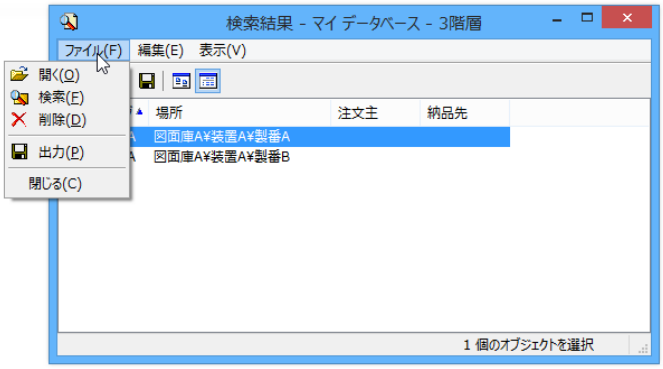
5. 1 行目に表示されている「物件 A」を選択します。
ダブルクリックします。



6. 電キャビが表示され、検索元フォルダに選択がジャンプします。

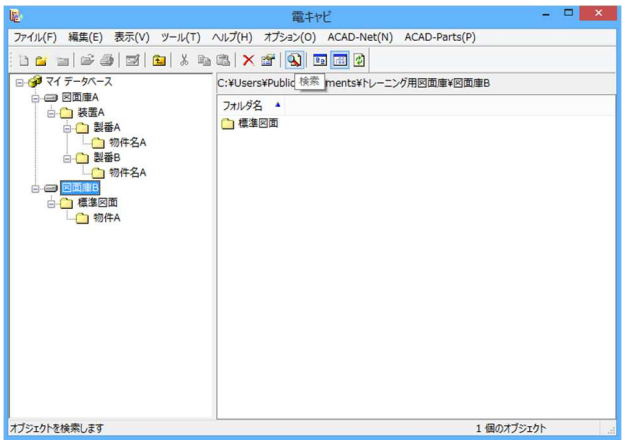


7. 検索結果ダイアログに戻ります。
[ファイル]-[閉じる]を選択します。
検索が終了します。



4-4-2. ファイルの検索

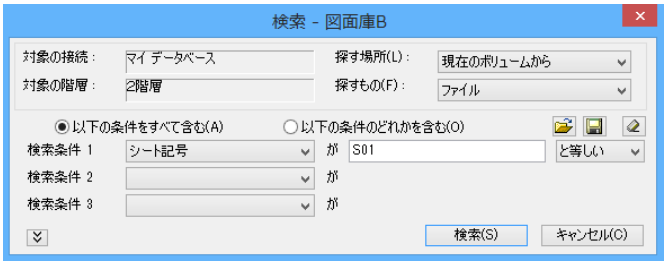
1. ″図面庫 B″を選択します。
をクリックします。



2. 検索ダイアログが表示されます。
検索内容を設定します。

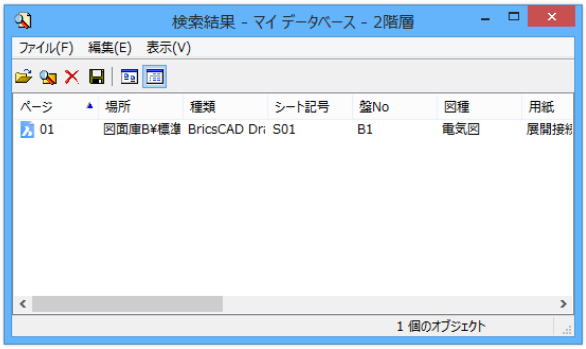
探す場所：現在のボリュームから
探すもの：ファイル
検索条件：[シート記号]が“S01”[と等しい]

検索(S) をクリックします。



3. 検索結果ダイアログが表示されます。

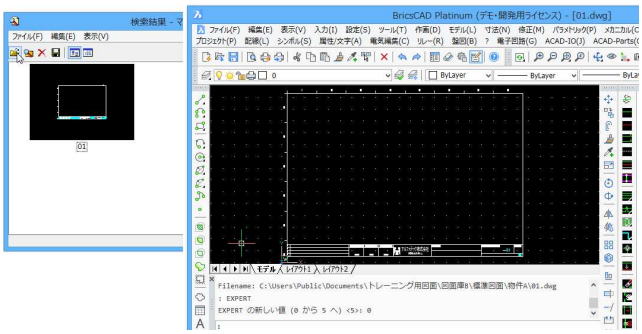
検索条件に該当するファイルが表示されます。



4. 「大きいアイコン」ボタンをクリックするとファイルリストがイメージ表示に変わります。

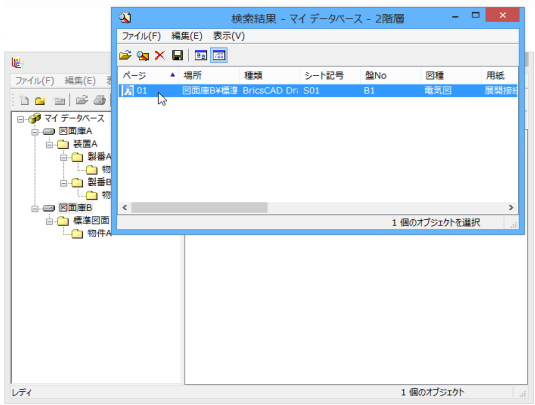
5. 任意のファイルを選択した上で

をクリックすると、アプリケーションが起動され、ファイルが開かれます。
※図面ファイルの場合は ACAD-DENKI が起動されます。



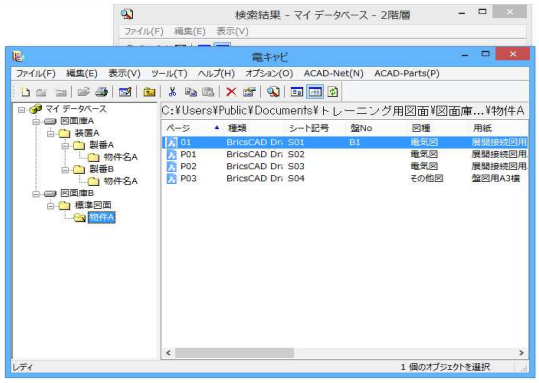
6. 検索結果ダイアログに表示された"01"を選択します。

ファイルをダブルクリックします。



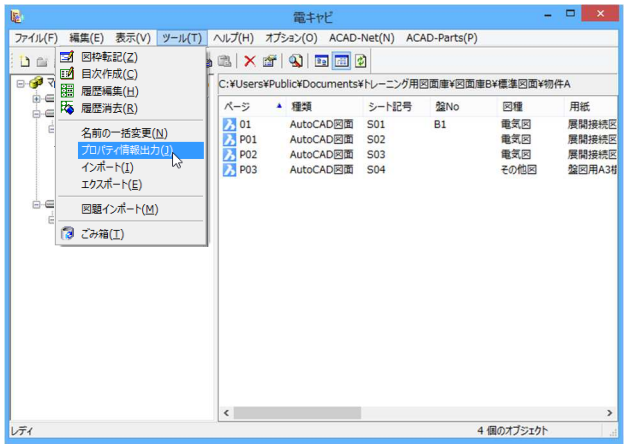
7. 電キャビが前面に表示され、該当フォルダにあるファイルが選択状態になります。

検索結果ダイアログ閉じます。



4-4-3. プロパティ情報の出力

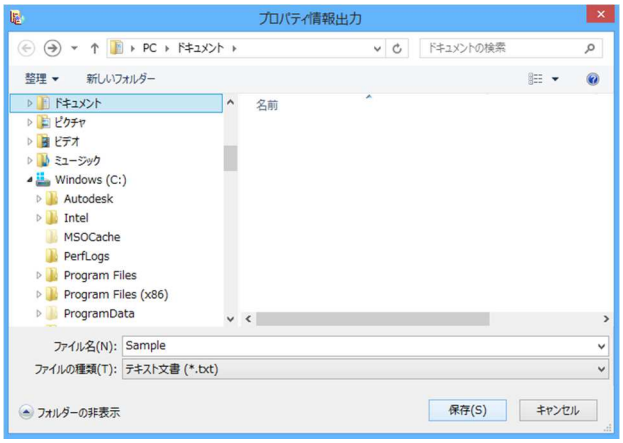
1. 「物件 A」フォルダを選択します。
[ツール]-[プロパティ情報出力]を選択します。



2. プロパティ情報出力ダイアログが表示されます。
ファイル名を入力します。

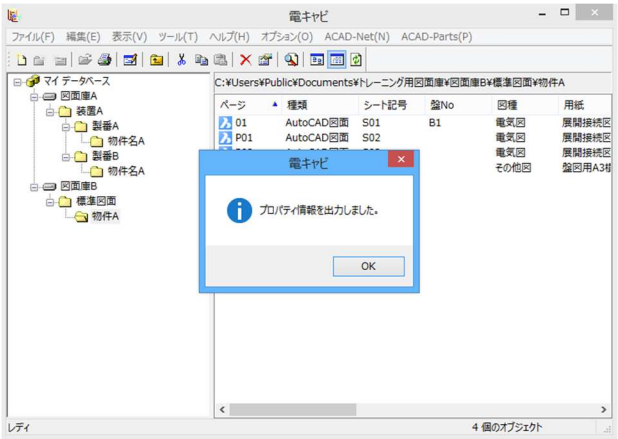
ファイル名：Sample(入力)

保存場所は任意の場所にしてください。
保存(S) をクリックします。



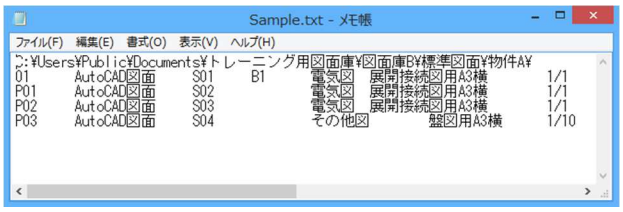
3. 確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。



4. 右図は保存した SAMPLE.TXT をメモ帳で開いた例です。

ここでは確認のみです。メモ帳は終了します。



5 章.インポート・連続印刷

外部ファイルを電キャビへインポートする方法と連続印刷について説明します。

5-1. インポート

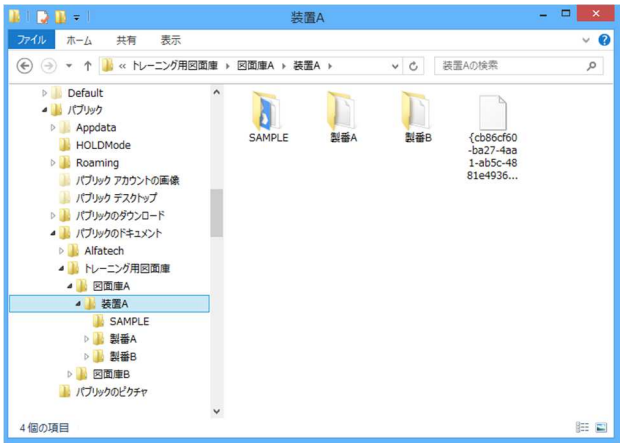
電キャビで管理していない、外部のフォルダ-図面を電キャビで管理できるように
インポートを行います。

5-1-1. フォルダのインポート

【操作手順】

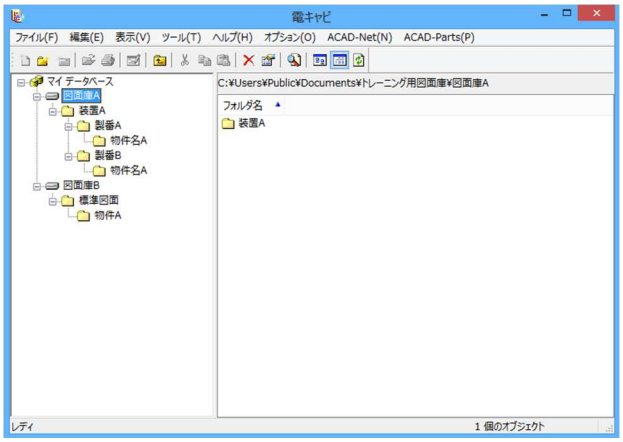
1. エクスプローラなどで電キャビに登録したいフォルダを電キャビの管理図面庫以下にコピーします。
右図は、「図面庫 A」-「装置 A」以下に「SAMPLE」-「sample」フォルダをコピーした例です。

※「sample」フォルダは ACAD-DENKI の提供 sample 図面フォルダです。



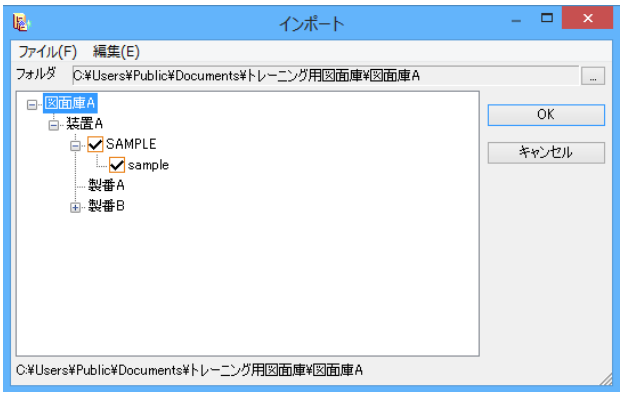
2. 電キャビを起動します。
「図面庫 A」を選択します。
※エクスプローラでコピーしただけでは、「装置 A」以下にある「SAMPLE」-「sample」フォルダは電キャビ上に表示されていません。

3. [ツール]-[インポート]を選択します。



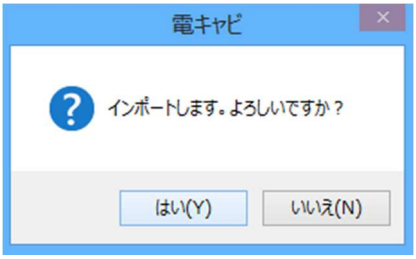
4. インポートダイアログが表示されます。
電キャビに登録されていないフォルダには「口」チェックボックスが表示されます。
チェックボックスはデフォルトで"ON"の状態です。
電キャビに登録しないフォルダは任意にチェックを外してください。

本例ではすべて登録します。
OK をクリックします。



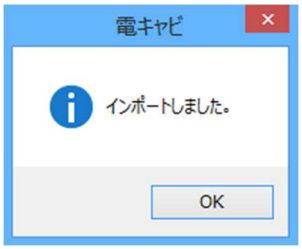
5. 確認のダイアログが表示されます。

はい(Y) をクリックします。



6. 確認のダイアログが表示されます。

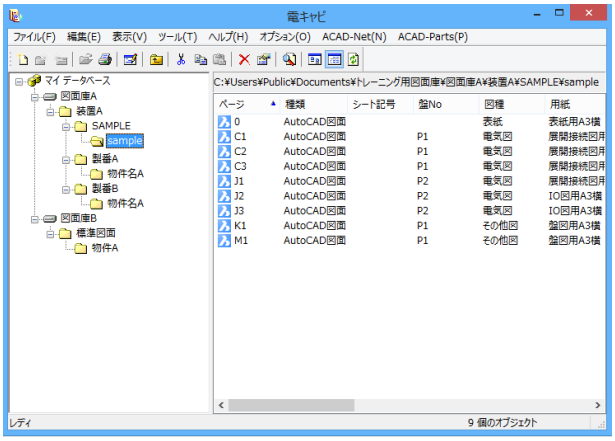
OK をクリックします。



7. 電キャビの画面に戻ります。

「図面庫 A」-「装置 A」以下に

「SAMPLE」-「sample」と最下位層にある図面が電キャビに登録されているのが確認できます。

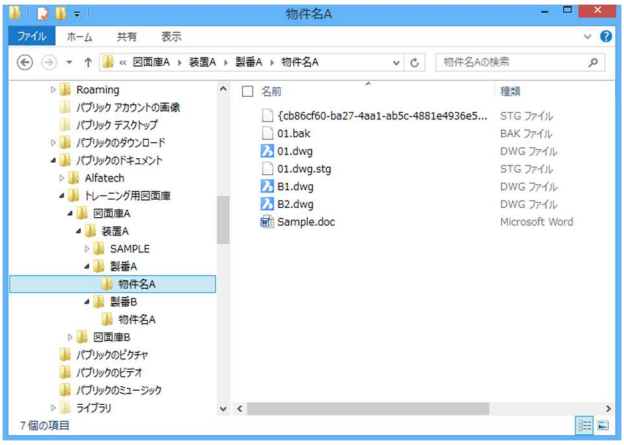


5-1-2. ファイルのインポート

1. エクスプローラなどで電キャビに登録するファイルを電キャビの管理図面庫以下の最下位層フォルダにコピーします。

右図は、「図面庫 A」-「装置 A」-「製番 A」-「物件名 A」以下に"doc，dwg"拡張子のファイルをコピーした例です。

※本例でコピーしたファイルは製品の提供 Sample ではありません。
任意のファイルをコピーしてください。



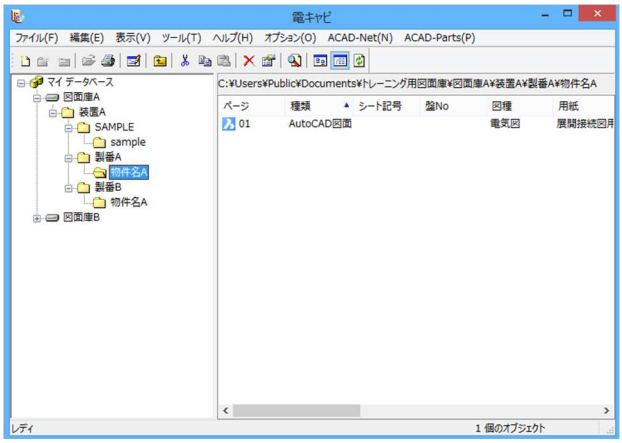
2. 電キャビを起動します。

「物件名 A」を選択します。

※エクスプローラでコピーしただけでは、「物件名 A」以下にあるファイルは電キャビ上に表示されていません。

※インポートできる対象はアプリケーションに関連付けられた拡張子のファイルです。

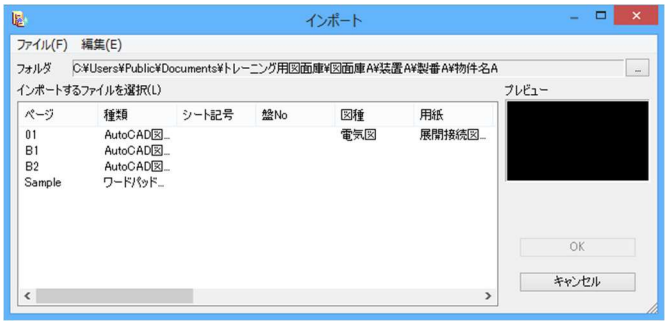
（「2-5. 設定の編集の変更」参照）



3. [ツール]-[インポート]を選択します。

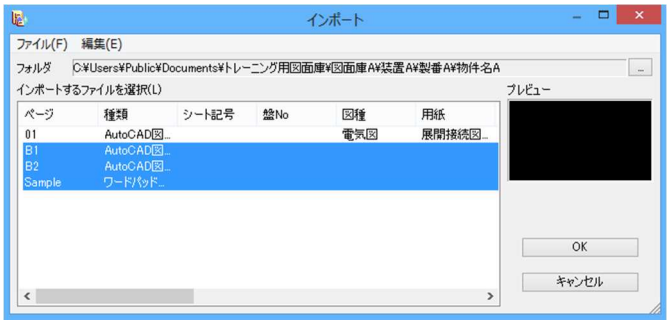
4. インポートダイアログが表示されます。

選択したフォルダにあるファイルがすべて表示されます。



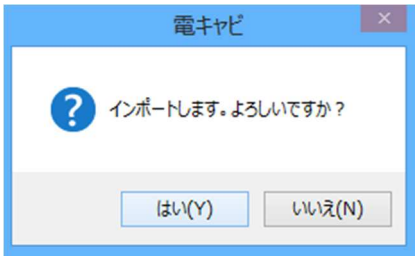
5. B1, B2, Sample ファイルを選択します。

OK をクリックします。



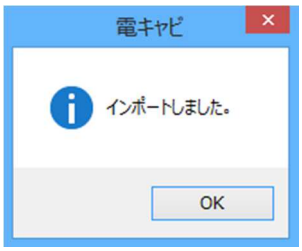
6. 確認のダイアログが表示されます。

はい(Y) をクリックします。



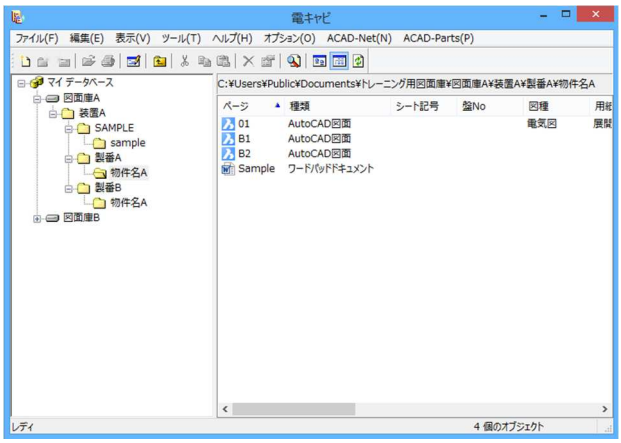
7. 確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。



8. 電キャビの画面に戻ります。

「物件名 A」以下に図面が登録されているのが確認できます。

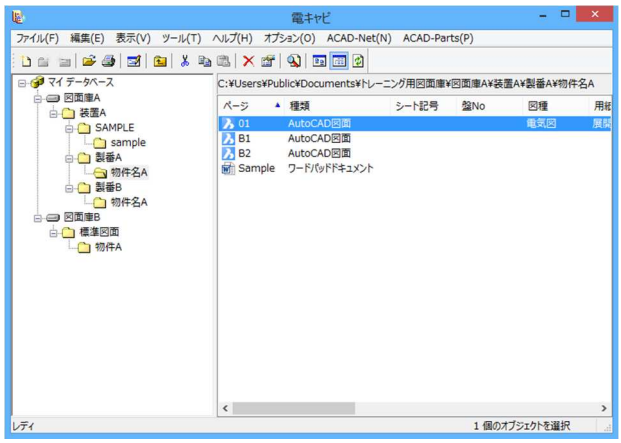


5-1-3. プロパティ一括編集

1. インポートしたファイルに対してプロパティを編集します。

1 行目の"01"を選択します。

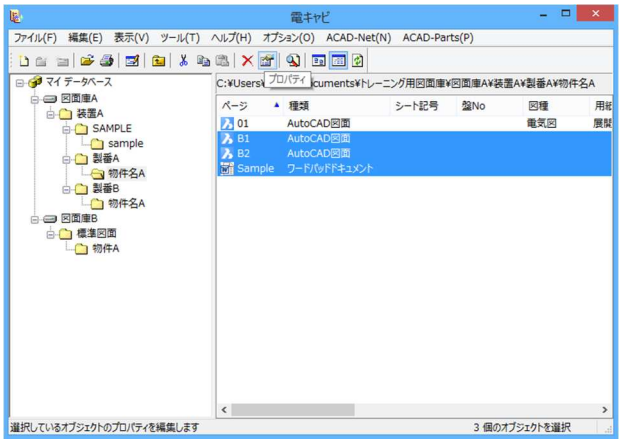
[編集]-[選択の切り替え]を選択します。



2. 選択表示が反転します。

本例の場合は、インポートしたファイルをすべて選択した状態になります。

(プロパティ)をクリックします。



3. 複数ファイルを選択していますので、ファイルのプロパティ(一括)ダイアログが表示されます。

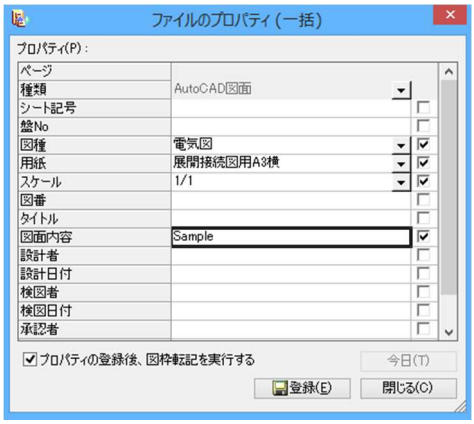
図種・用紙・タイトルなどを選択・入力していきます。

4. 右図を例に選択・入力します。

図種：電気図(選択)
用紙：展開接続図 A3 横(選択)
タイトル：Sample(入力)

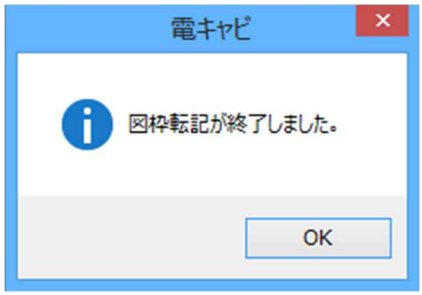
「プロパティの登録後、図枠転記を実行する」にチェックを入力します。

登録(E) をクリックします。



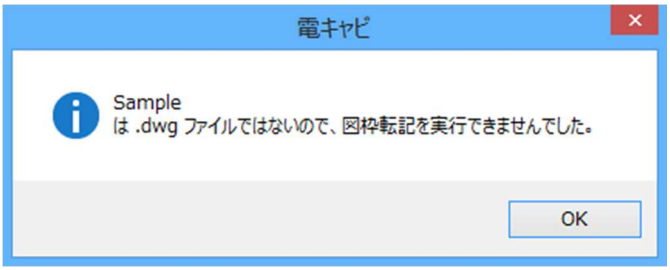
5. プロパティの登録後図枠転記が実行され、確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。



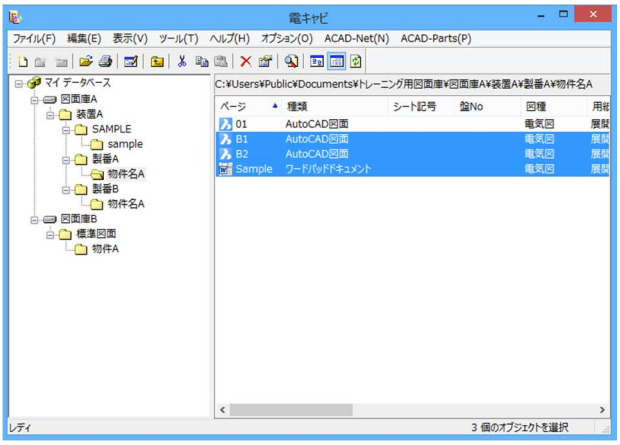
6. 電キャビで選択したファイル内に拡張子.doc がありましたので右図のような確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。



7. 電キャビ画面に戻ります。

プロパティ情報が更新されているのが確認できます。



5-2. 連続印刷

電キャビで管理しているファイルを印刷します。

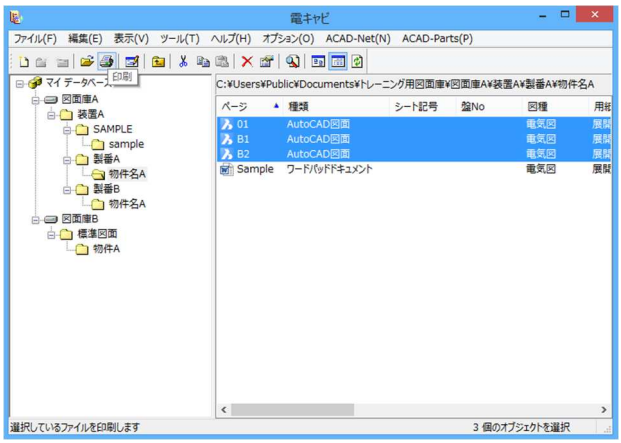
5-2-1. 印刷前のご注意

印刷は、AutoCAD/BricsCADから図面の印刷が正常に出来ること、スクリプトテンプレートファイルの記述が正確であることを前提としています。
また、DWG以外のファイルがある場合、関連付けられた製品で正常に印刷が出来ることをご確認ください。

5-2-2. ファイルを選択して印刷

1. 印刷するファイルを選択します。
右図では DWG ファイルのみを選択しています。

(印刷)をクリックします。



2. 連続印刷ダイアログが表示されます。
Plotscirpt 欄が空の状態になっています。

右側の欄には選択できるプロットスクリプトテンプレートが表示されます。

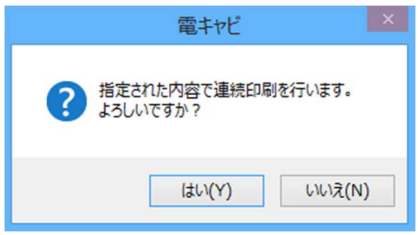
※ここで表示されるのは「2-5-2. 図種・用紙/スケールの設定」で
[ツール]-[スクリプトテンプレート管理]を実行し、追加されたものになります。

3. Plotscirpt 欄を選択し、右側の「Plotscirpt」から"Sample-A3"をダブルクリックします。

4. (印刷)をクリックします。

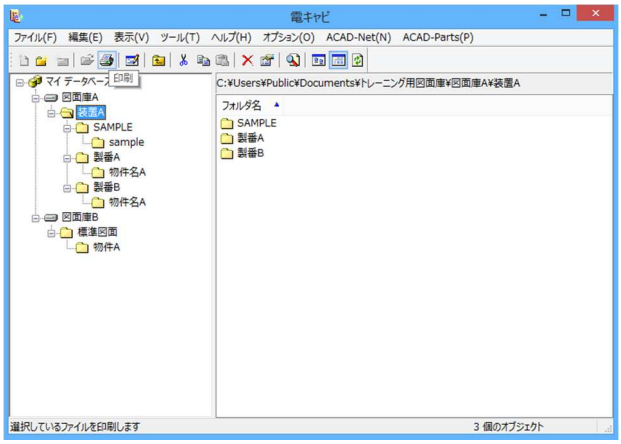
5. 確認のダイアログが表示されます。

はい(Y) をクリックします。
印刷が実行されます。



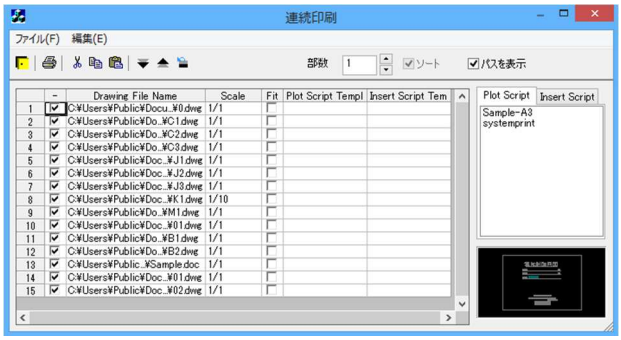
5-2-3. フォルダを選択して印刷

1.印刷するフォルダを選択します。
右図では装置 A を選択しています。
(印刷)をクリックします。

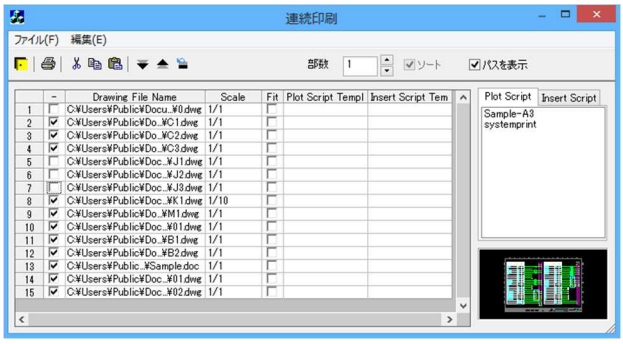


2. 連続印刷ダイアログが表示されます。

選択したフォルダ以下にある、印刷対象ファイルがすべて表示されます。



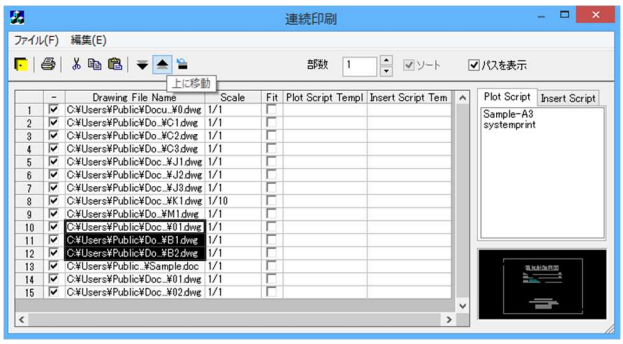
3. 印刷しないファイルは、左側にあるチェックボックスのチェックを外します。



4. 印刷は表示順に行います。

印刷順を変更する場合、変更する行を選択し（上に移動）/（下に移動）をクリックして行の順番を入れ替えます。

右図は"01.B1, B2"ファイルを選択し上に移動している例です。

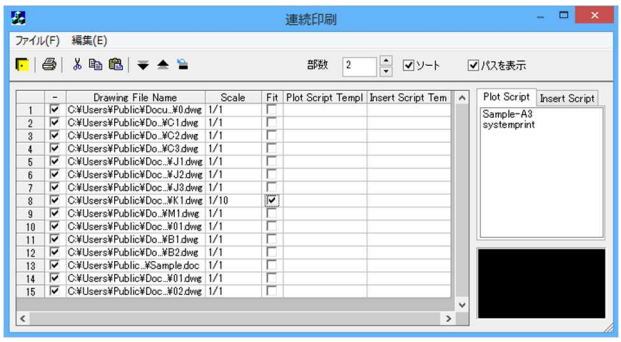


5. すべて同じ用紙サイズに印刷する時、スケールの不明な図面は"Fit"にチェックを入力します。

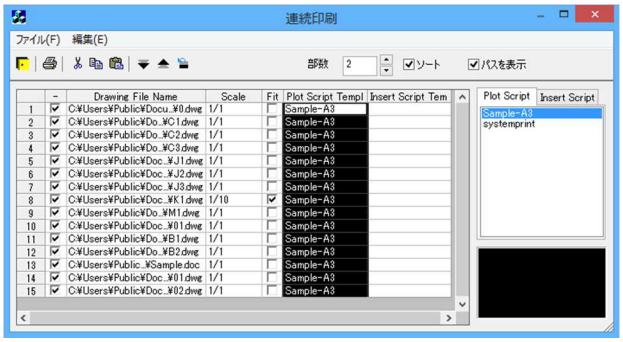
Fit にチェックを入力した場合、その図面は用紙（本例の場合"A3 横"）に収まるように自動スケールがかけられます。

また、部数を印刷する場合、部数と印刷ソートの設定を行うことが出来ます。

右図例では、2 部印刷し、ソートする設定となります。

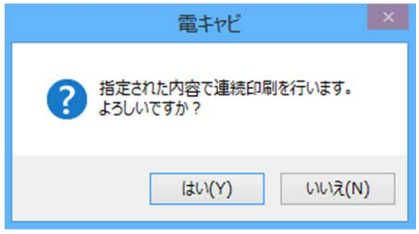


6.「5-2-2.ファイルを選択して印刷」と同様に、印刷するためのスクリプトテンプレートをしています。



7. (印刷)をクリックします。

8. 確認のダイアログが表示されます。



はい(Y) をクリックします。

印刷が実行されます。

6 章.補足

階層設定のサンプル環境をインポートする方法について説明します。

6-1. サンプル環境

電キャビの階層設定サンプル環境は、ACAD-DENKIのメディア以下の"MISC¥DENCABI"フォルダの中にあります。
・dencabi-denki.pak(電キャビ用サンプル環境ファイル)

6-1-1. サンプル環境について

提供サンプル環境は、電キャビの運用設定をまだ決められていない、どのような形にするか検討中の場合など、設定のサンプルとしてご参考にしていただく為のものです。
ご使用の場合は、既存の電キャビ環境へ「更新インポート」します。
※電キャビ環境がまったく無い場合は、「新規インポート」で環境を作成します。
電キャビではACAD-DENKIなどの使用されている製品環境を必要としますので、本サンプルをインポートしていただくと新たに、ACAD-DENKIの環境も新規インポートされます。

6-1-2. 環境の更新インポート

【操作手順】

1. アルファテックランチャーで
「Alfatech」-「管理ツール」-「電キャビ」を表示し「環境管理」を選択します。
環境管理ダイアログが表示されます。
※表示される環境は、使用中の環境です。

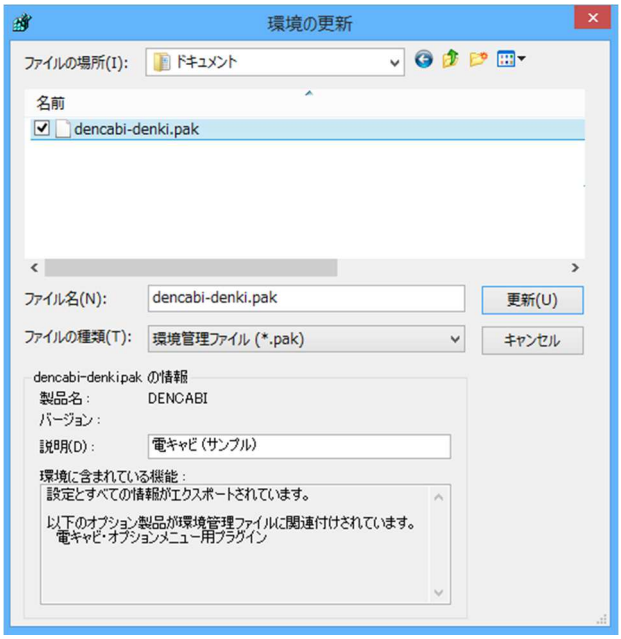
電キャビ(階層設定)を 1 度も起動していない・環境を作成されていない場合は空の状態で表示されます。

2. 環境が選択されていることを確認し、
更新インポート(U)... をクリックします。

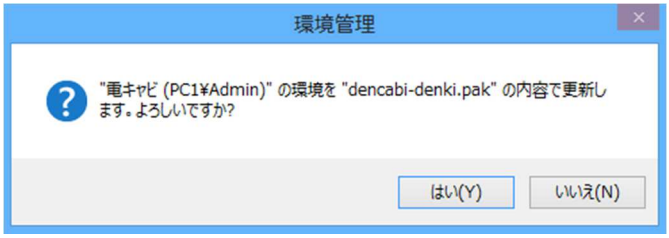
環境が作成されていない場合は、
「新規インポート」を行ってください。

3. 環境の更新ダイアログが表示されます。
「ファイルの場所」はサンプルを事前にコピーしておいた場所に変更します。

ファイル名 : dencabi-denki.pak
を選択します。
(バージョンには作成された製品のバージョンが表示されます)



4. 更新(U) をクリックします。

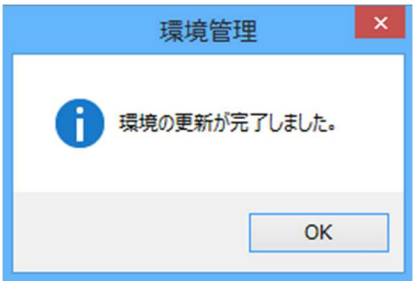


5. 確認のダイアログが表示されます。

はい(Y) をクリックします。

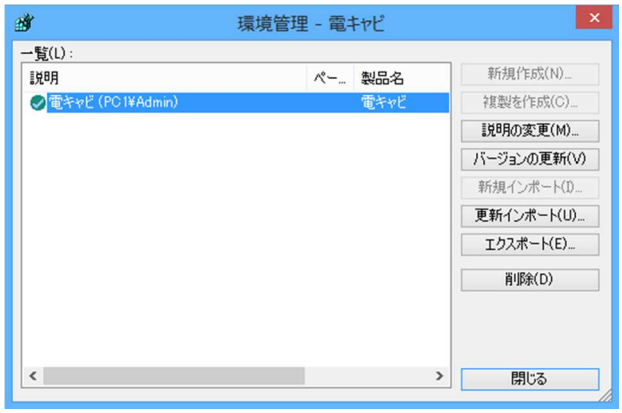
6. 確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。



7. 環境管理ダイアログに戻ります。

閉じる をクリックします。



6-1-3. インポートされた環境の確認

【操作手順】

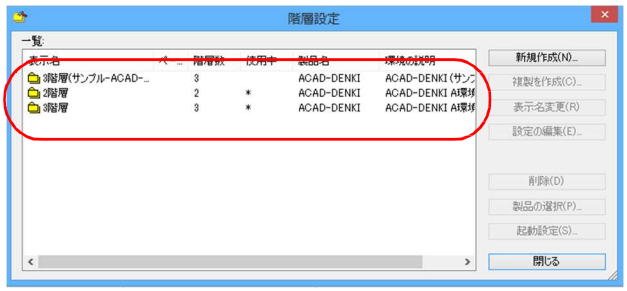
1. 「スタート」-「アルファテックランチャー」-「Alfatech」-「管理ツール」-「ACAD-DENKI」-「環境管理」を選択します。
環境管理ダイアログが表示されます。

※「ACAD-DENKI(サンプル)」が、電キャビの階層設定で使用するためにインポートされたACAD-DENKI の環境です。

2. ここでは確認のみです。

閉じる をクリックします。

3. 「スタート」-「アルファテックランチャー」-
「管理ツール」-「電キャビ」-「階層設定」を選択します。
階層設定ダイアログが表示されます。



※表示名：3 階層(サンプル-ACAD-DENKI)
　環境の説明：ACAD-DENKI(サンプル)
上記の内容がインポートされます。

インポートされた環境は、前章と同様の手順で、ボリューム(基点フォルダ)の階層設定で指定することが出来ます。

電キャビ(2017)トレーニングマニュアル(入門編)

2016 年 6 月　第 1 版発行

発行者 アルファテック株式会社

TEL06-6300-0306(代表)

URL : http://www.alfatech.jp/